萌えロリータファッションの描き方

基本となるボディからコスチュームまで



（萌）表現探求サークル
／角丸つぶら
著

ホビージャパン
Hobby JAPAN

萌えロリータファッションの描き方
基本となるボディからコスチュームまで

萌えロリータファッションの描き方



基本となるボディから
コスチュームまで

(萌)表現探求サークル
／角丸つぶら 著

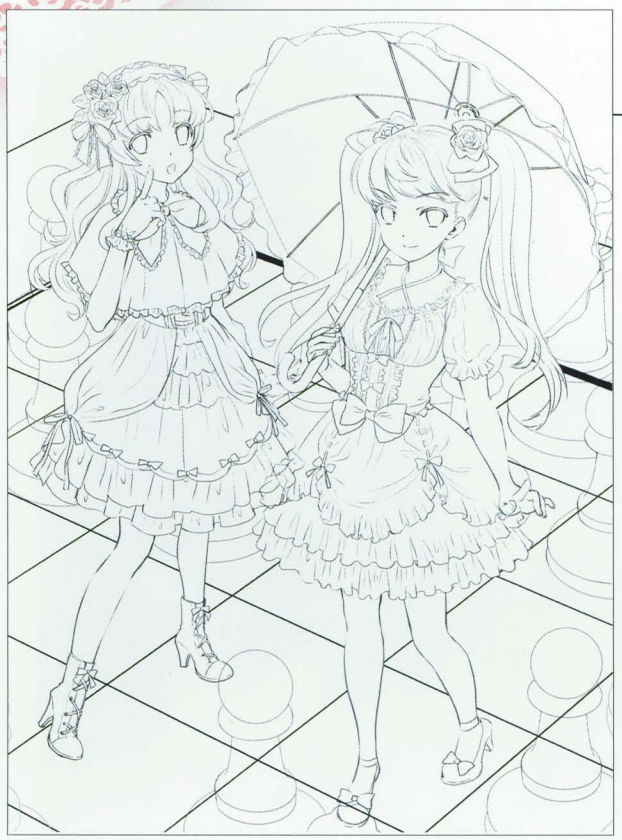


萌えロリータファッションの描き方

基本となるボディからコスチュームまで

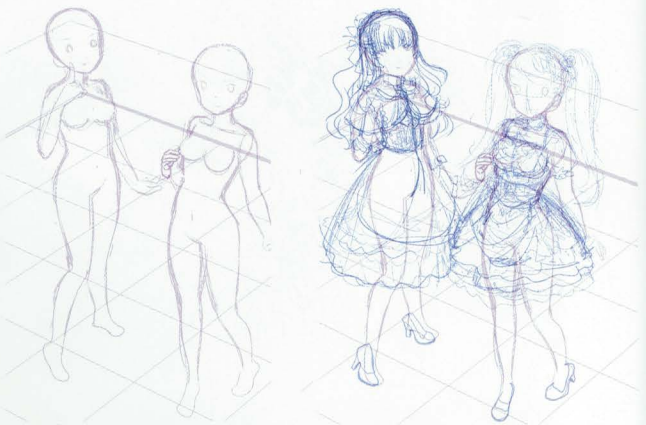
(萌)表現探求サークル／角丸つぶら 著

白と黒のコスチュームを描く



1ページに掲載したイラストの線画です。修正が楽なように、背景と人物は別々のレイヤーに分けます。

1 線画



洋服で体のラインがわからなくならないように、体と洋服の下書きを別レイヤーにして色を変えたりすると確認がしやすいです。

2 配色

黒と白の対比ですので、配色のバランスを見ながら色分けをします。黒に赤、白に紫を差し色にしました。



上から見た構図ですので、フリルの見え方に気をつけました。ハンカチなどで形をつくってみるとわかりやすいです。





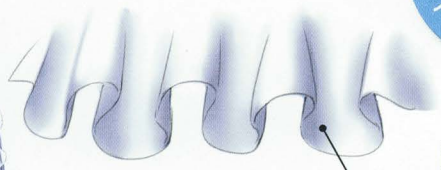
白と黒に



光

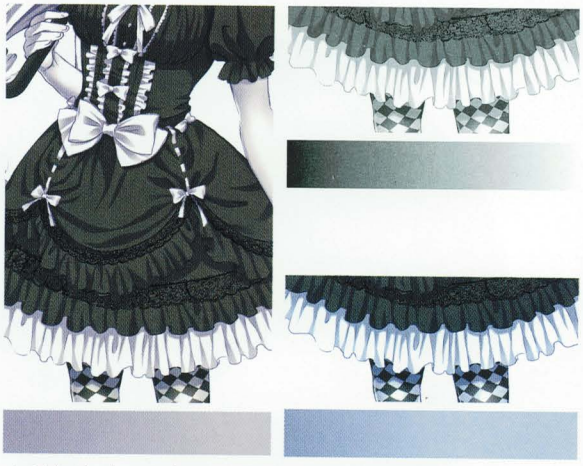
光源に気をつけながらカゲを塗ります。

3 カゲ色



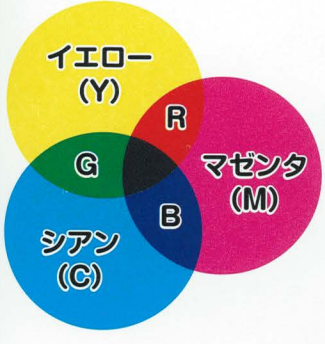
C44
M36
Y13

カゲのみを別レイヤーに塗ると、色を自由に変更できます。例えば、向かって右の白い洋服を黒い洋服へ変更するということが簡単にできます。



カゲ色やベース色を明度の変化だけではなく、色相の変化を持たせることで絵に魅力が生まれます。

白と黒に共通する色味のあるグレーのつくり方



＋



スミに１色の場合

例

スミのみ 30%	イエローをプラス	マゼンタをプラス	シアンをプラス
K30	Y20 K30	M20 K30	C20 K30

３色混合の場合

例

シアン・マゼンタ・イエローが同量	イエローをプラス	マゼンタをプラス	シアンをプラス
C20 M20 Y20	C20 M20 Y30	C20 M30 Y20	C30 M20 Y20

スミ１色の場合



＊印刷用語でブラックのことを「スミ」と呼びます。

黒を黒で描くと形がわからない！



✖ ヒダが等間隔で不自然な感じ。



✖ 黒くしすぎて立体的に見えません。





ラフ

カゲはシンプルに、多く入れすぎないのがポイントです。また、地の色も少し明るくしても、カゲ色が濃いため、充分黒いスカートを表現できます。

白は他の色で描かないと形にならない！



✕ 白くしすぎて形がわかりません。



✕ 紫色のスカートに見えます。



✕ 明るい部分が多くて光の方向がはっきりしません。





ラフ

光源に合わせて、シンプルにカゲを入れます。カゲは紫などの色を使っても、多用しなければ、白い服の効果的なカゲ色とすることができます。

コスチュームを立体的に描こう①…大きな面

白い場合





反射光は照り返しとも呼ばれます。光が周囲のもの（壁など）に当たってはね返り、形を照らすことをいいます。







例えば、屋外自然光（太陽）強い光のとき、コントラストが強い表現がピッタリです。キャラの顔については、モデル撮影でレフ板を使うようによけいなカゲを消して、肌をきれいに見せます。

黒い場合



コントラストを弱くするとおだやかな光、コントラストを強くすると強烈な光を表現できます。

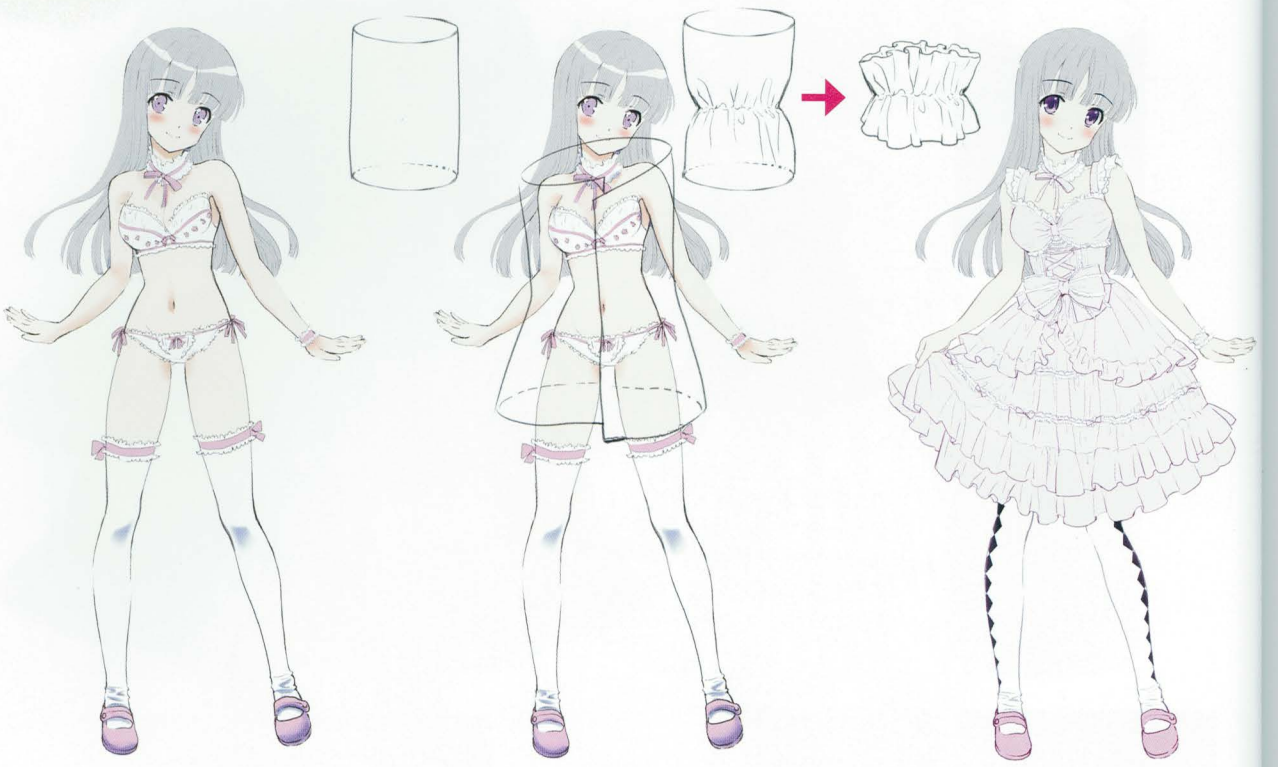




例えば、屋内人工光（電灯や蛍光灯）のとき、コントラストを少し弱めた表現でムードをつくります。



コスチュームを立体的に描こう②
…大きな面からシワなどの細部へ

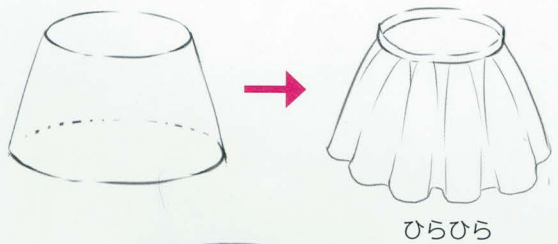


例えば１枚の布を筒状にして、
くるっと巻いてみます。

ウエストで絞るとワンピースの
原型になります。

ギャザーを寄せます。

布の筒からギャザースカートへ



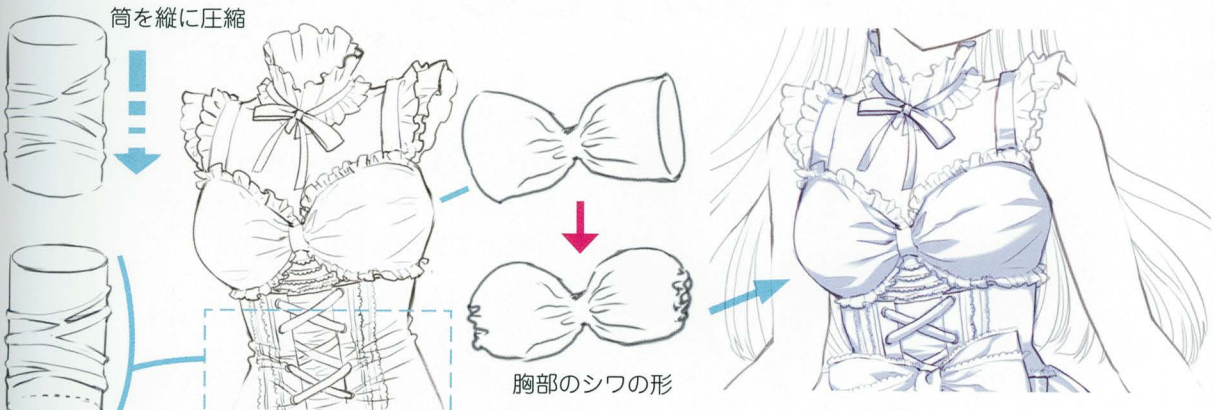
ひらひら



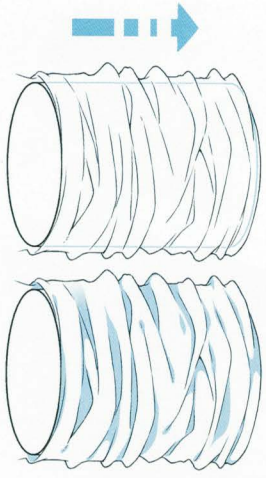
フリルつき



ギャザースカート



応用すると、ギャザーのシワ表現になります。







カゲ色をつけた例

白色を表わすあの手この手



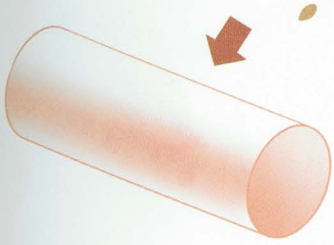
白は、カゲの色を青や紫の色合いで表わすことが多いです。カゲの暗さを出すために、カゲの色は比較的彩度が低めになります。



青いカゲ色で表現した例

すことが
ゲの色は

夕方の日差し
（ややナナメ）





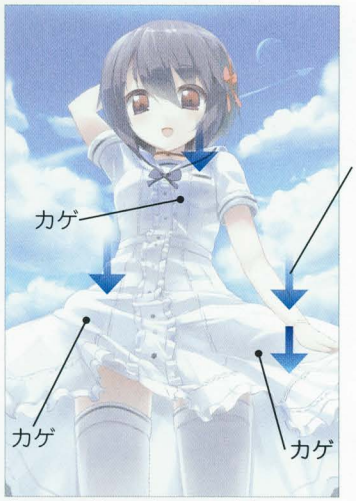
オレンジのカゲ色で表現した例





日中の日差し
（ほぼま上）

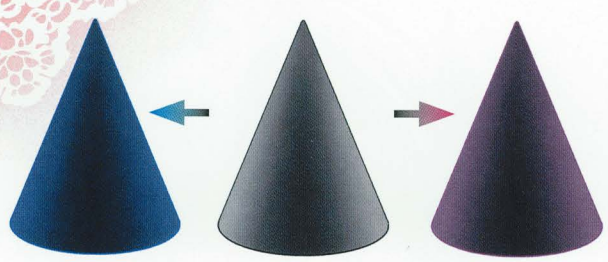




紫のカゲ色で表現した例

カゲ色で
った例

黒色を表わすあの手この手



青みの黒　　赤みの黒

黒は濃淡のグレーで表わすことが多いですが、１色を加えると絵に多様な表情を出すことができます。



青みの黒で表現した例



エナメル手
青い光の反
います。

舞台に立つ
から強い光
た光）を当
演出しまし
ポットライ
き生きと見



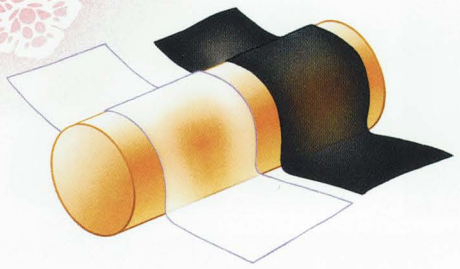


エナメル手袋のツヤ感を青い光の反射で表現しています。



舞台に立つキャラの背後から強い光（青みを帯びた光）を当て、月の光を演出しました。顔はスポットライトを使って生き生きと見せます。

肌が透ける透明表現…シースルーを描く



薄い布地の場合、洋服を着たときに、下の肌の色が透けて見えます。白い服の場合は、肌の色が強めに出ます。黒い服の場合は、肌色も少し濁った色として見えます。布地自体の色は服と直接触れ合っていない、シワでふくらんでいるところなどに着色し、肌が見えるところは肌の色を薄めに入れて表現します。



ヘッドドレス、ブラウスの袖、スカートのフリルをそれぞれ透けた表現にしています。レースを描く場合も同様の表現方法を使います。







が透けて
す。黒い
。布地自
らんでい
色を薄め







黒い服の場合は、白に比べて透明度が低くなります。肌色も、上に黒い布地を着ているので実際には肌色のついたグレーのような色になりますが、それでも他の部分との差で、シースルーのように見えます。

シースルーのカゲ



物体とシースルーの間に距離があると、シースルーはあまり透けません。

物体とシースルーが触れると、物体の色がシースルー越しにぼんやりと見えます。

シワができると物体とシースルーの間に距離ができ、シースルー自体のカゲができます。

色の輪郭効果



黒い服を描くときは、着色ではなく線画に工夫を加えることで、黒の色を際立たせることができます。ここでは、線画に光を加える手法と、線画の色をあえて黒以外のもので描く手法を紹介します。

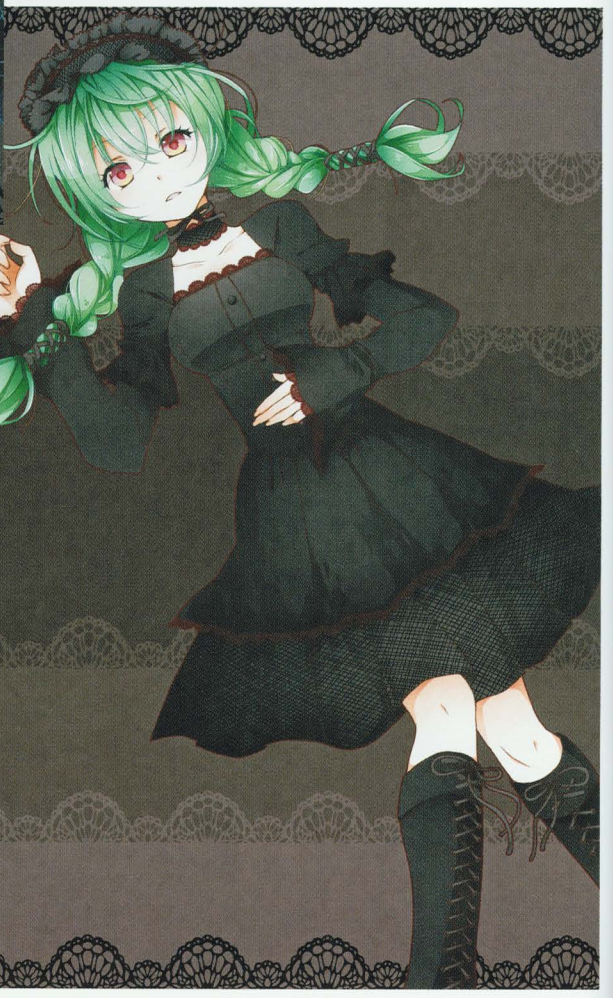






青い輪郭

一種の逆光表現。エッジが光ります。色を光として扱ったもの。







赤い輪郭

服の縁取り効果。レースなどを赤くすることで質感表現が望めます。色をものの固有色として扱ったもの。



少女のあどけなさを併せ持つ、
ロリータファッションの魅力とは——

萌える美少女イラストの中には、フリルが豪華に描かれ、スカートがひらひらとなびくものに、見た瞬間目を奪われることがあります。見るだけなら見栄えが抜群なフリルやリボン、レースのついたファッションですが、実際に描くとなると、その難しさに投げ出したくなることもあるでしょう。

本書はそのような、フリルがたくさんで、かわいらしい女の子のファッションを「ロリータファッション」として、その構造や描き方を１冊にまとめました。

第１章では、ボディの描き方とボディに合わせた服の描き方などのほか、ロリータファッションの基本の要素について多くを学びます。

その中でも、「フリル」「レース」「リボン」「花」を「基本の４大パーツ」として紹介しています。まずこれらの４つを練習しましょう。ファッションとしては、ワンピースやジャンパースカートからヘッドドレス、ボンネットなど、普段の服ではなじみの薄いものも含めて、構造とその描き方を見ていきます。

第２章では、ロリータファッションを用いたイラストの魅せ方を解説します。スカートとフリルは、ひらひらとなびかせて描くことがポイントです。

第３章では、通常のファッションを少しアレンジし、ロリータファッションに変化させるパターンを紹介しています。

最後に第４章では、オリジナルイラストを描く資料となる、カラーイラストのメイキングと、絵師による作例集となっています。イラストのテーマは「基本の４大パーツが入った女の子」です。

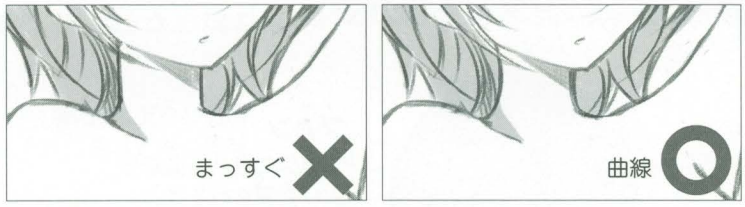
本書の場合、「甘ロリ」と「ゴスロリ」のファッションをもとにしていますが、ロリータファッションはこのパターンだけではありません。普通の服にロリータ要素が入っているものもあれば、簡単につけ加えることもでき、いろいろなファッションに応用がきくものです。もちろん創作デザインのファッションを描くときの素材にもなることでしょう。

この本でロリータファッションをもっと身近に感じて、新たな女の子の魅力を引き出したイラストを探求していただければ幸いです。

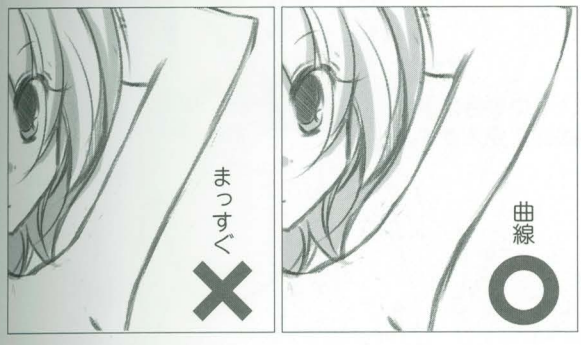
Pick up!

一見直線に見えるようなところも、実際には曲線になっています。

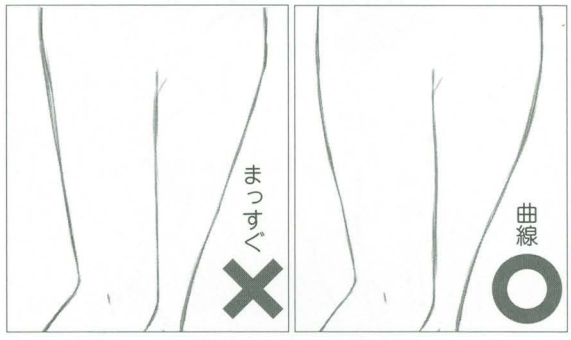
首 首は細めで少し反り気味に。



腕 腕はポーズによって違った曲線になります。



太もも 柔らかさを強調します。



横



後ろ

後ろから見てももちろん曲線になっています。曲線で描くことによって立体感を表現できます。



曲線とフカン・アオリ

女の子の体が曲線なのはフカンとアオリの場合も適用されます。ただし、見え方が正面のときとは異なります。



フカン

フカンの場合は曲線がより強調されます。

特に胸やお尻の丸さが強くなります。

フカンの場合は比較的直線ラインの首と胴が省略されるので、より曲線的に見えます。



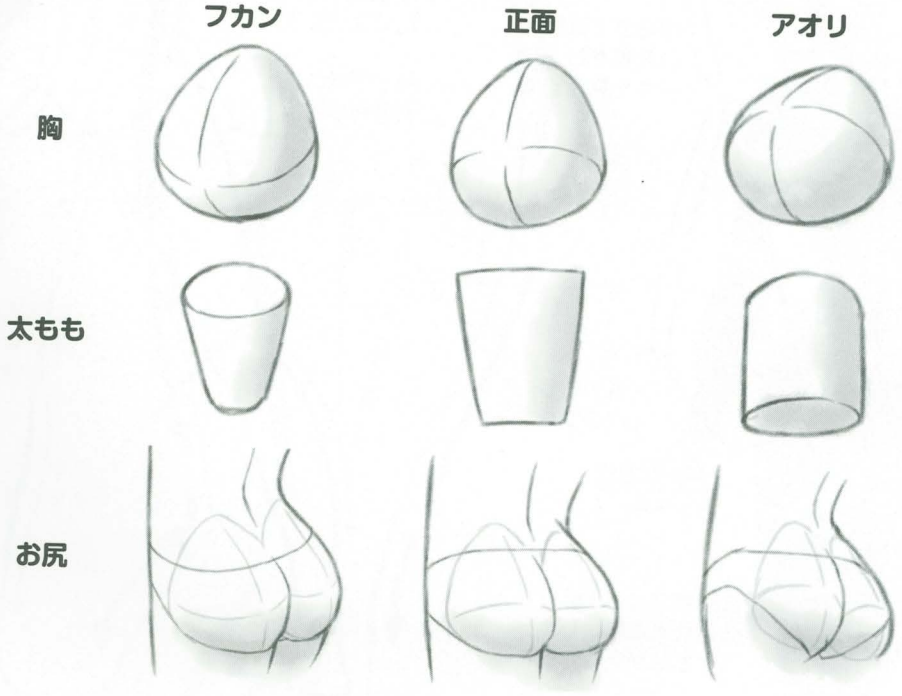
アオリ

アオリの場合は少し直線的に見えます。

ただしボディラインにメリハリをつけるためにも、バストやウエストの曲線はしっかり描きます。

Pick up!

体のパーツ別 フカンとアオリの見え方



曲線に鋭角を加える

曲線のボディに１割程度、鋭角になる部分を加えるとメリハリがついてアクセントになります。

形に鋭角



手 指は反らし気味、先はとがり気味。



ひじ

実際には骨があるのでゴツゴツしていますが、萌え女の子の場合は無視してとがらせてもOK！

見せ方で鋭角

首

首を傾けて角度をつくります。



足





わき

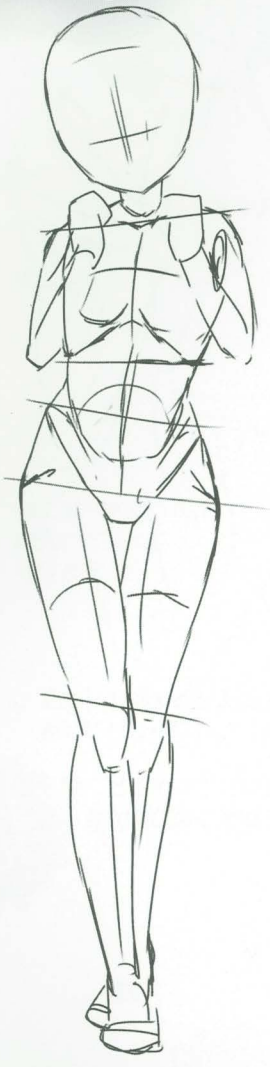
わきは少し締めましょう。



鋭角になる部分は少し太く描くと、やや立体感が出ます。

ロリータボディの上に服を描く

女の子のイラストを描くときには、まずボディのアタリを描いてから、服を描き加えます。ロリータファッションの場合、肌の露出が少ないですが、それでも裸の状態を描いておくと、体のバランスがくずれにくくなります。



1. 体のアタリを描きます。ポーズなどもこの時点で決めておきます。



2. 服に覆われて見えない部分はアタリのままでも大丈夫ですが、露出部分はしっかり描きます。顔もここで描き込みます。



3. 体のラインに合わせて服を描きます。上半身は特に体のラインにフィットさせるように描くと、スタイルの良さが保てます。

Check!

体のアタリを描かないと起きるミス

×



足が変なところから出てくる

○



×



胴が長くなる

○



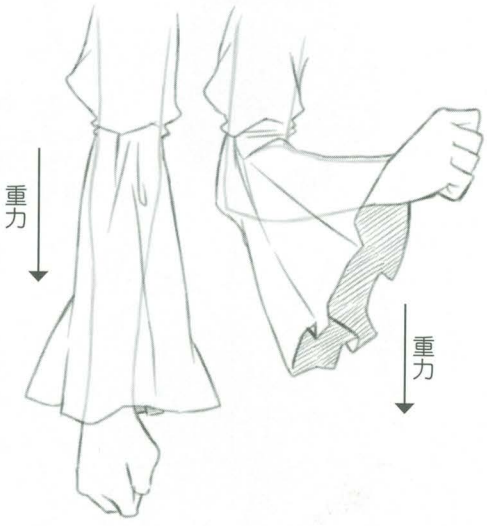


4. 服で隠れるボディのアタリ線を消して完成です。

Pick up!

服を着せるときに以下の点を注意しましょう。

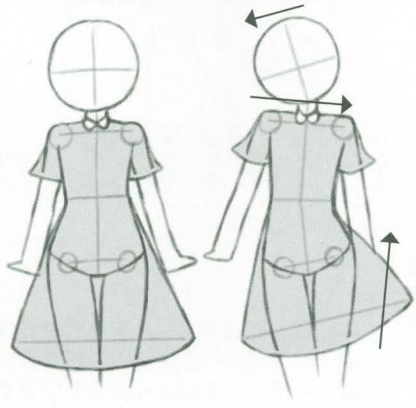
①服にかかる重力を意識する



②服のすき間をつくる



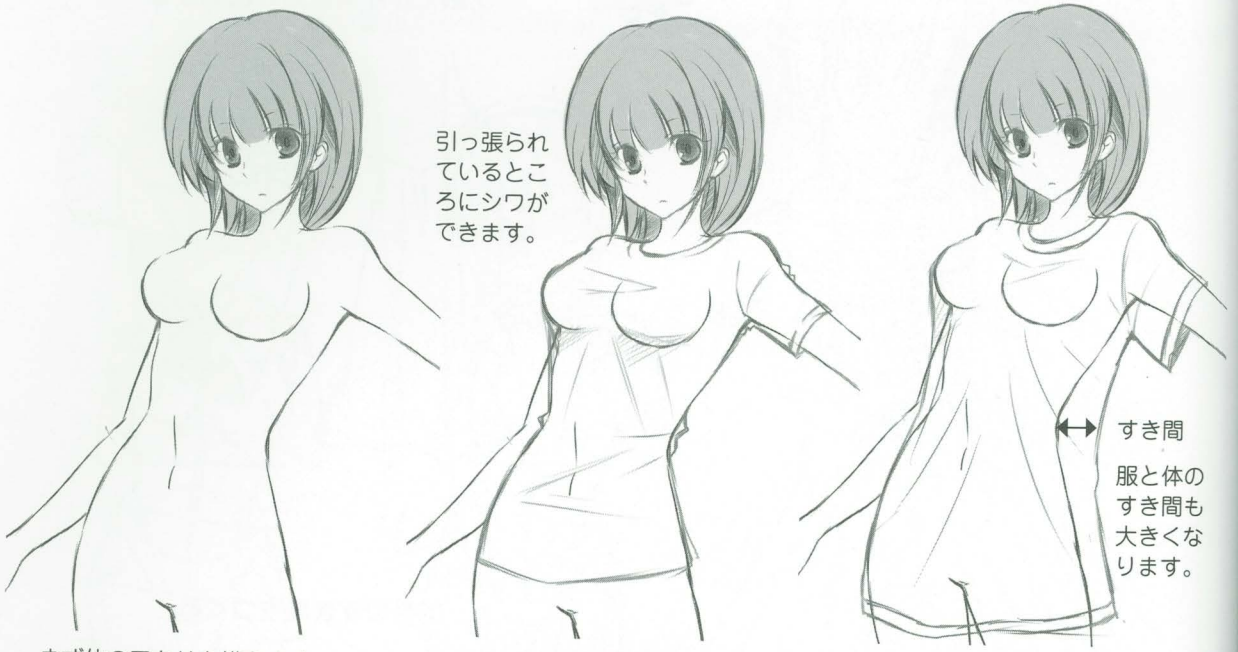
③体が動くと服も体に合わせて動く



服のシワの原理

ボディは曲線、服は直線でできているので、着たときにすき間やシワができます（布が足りない部分がピンと伸び、布が余るところにシワができます）。

服の大きさとシワ

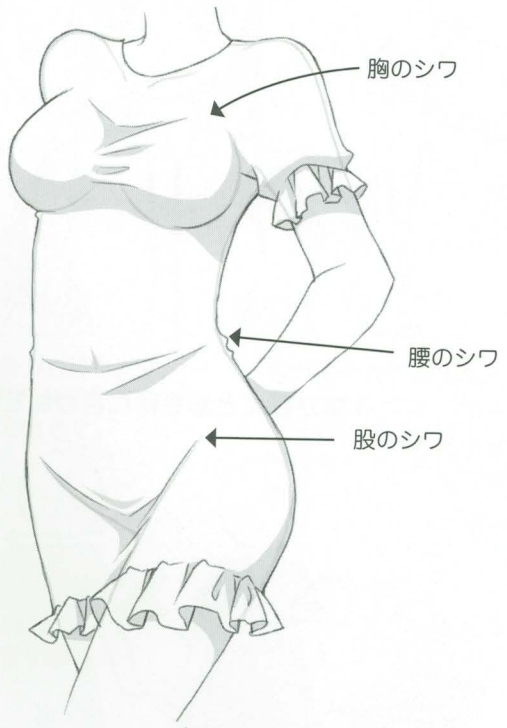


まず体のアタリを描きます。

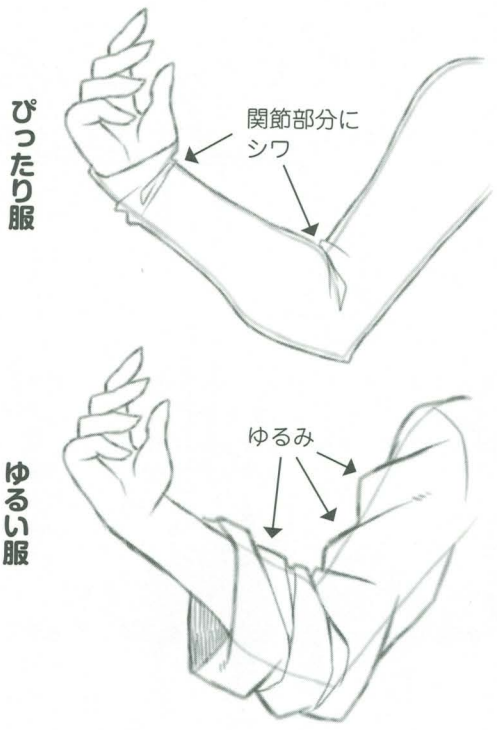
小さめの服は直線的でピンと張ったシワができます。

大きめの服はゆったりと曲線的なシワができます。

ぴったりとした服のシワ



体にぴったりフィットする服の場合、ボディラインに忠実にシワができます。萌えイラストではよく見るシワです。

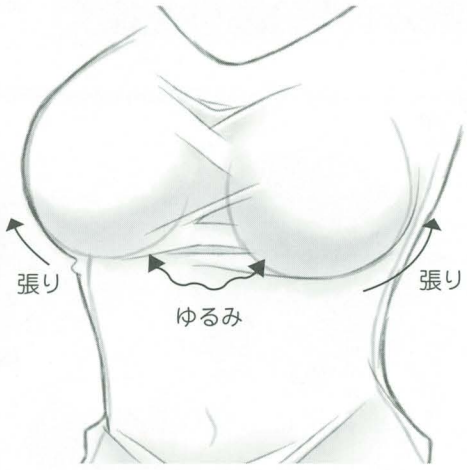


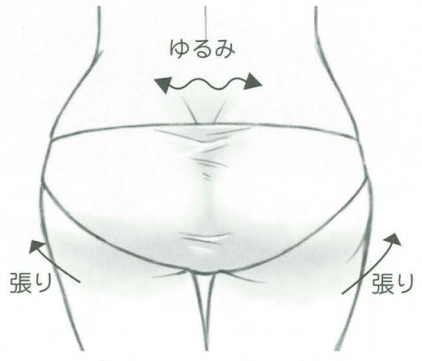
袖口が広い場合は腕を曲げると袖が落ちてくるので、内ひじや外ひじにもシワができます。

服の張りとゆるみによるシワ

体の張りの部分には布が引っ張られるためシワはできず、引っ張られている部分の間は布がゆるむため、そこにシワができます。



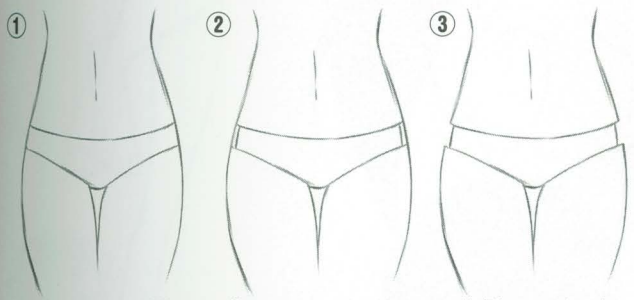




お尻も胸と同様です。

肌への食い込み

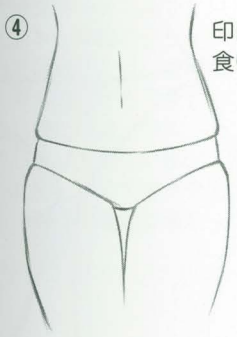
ゴム部分やきつめの布は肌に食い込みます。この食い込みを描くと体の肉感を表現できます。



①ボディラインを描き、それに沿って服のラインを描きます。

②体のラインよりほんの少し内側に印をつけます。

③外側のラインを消します。



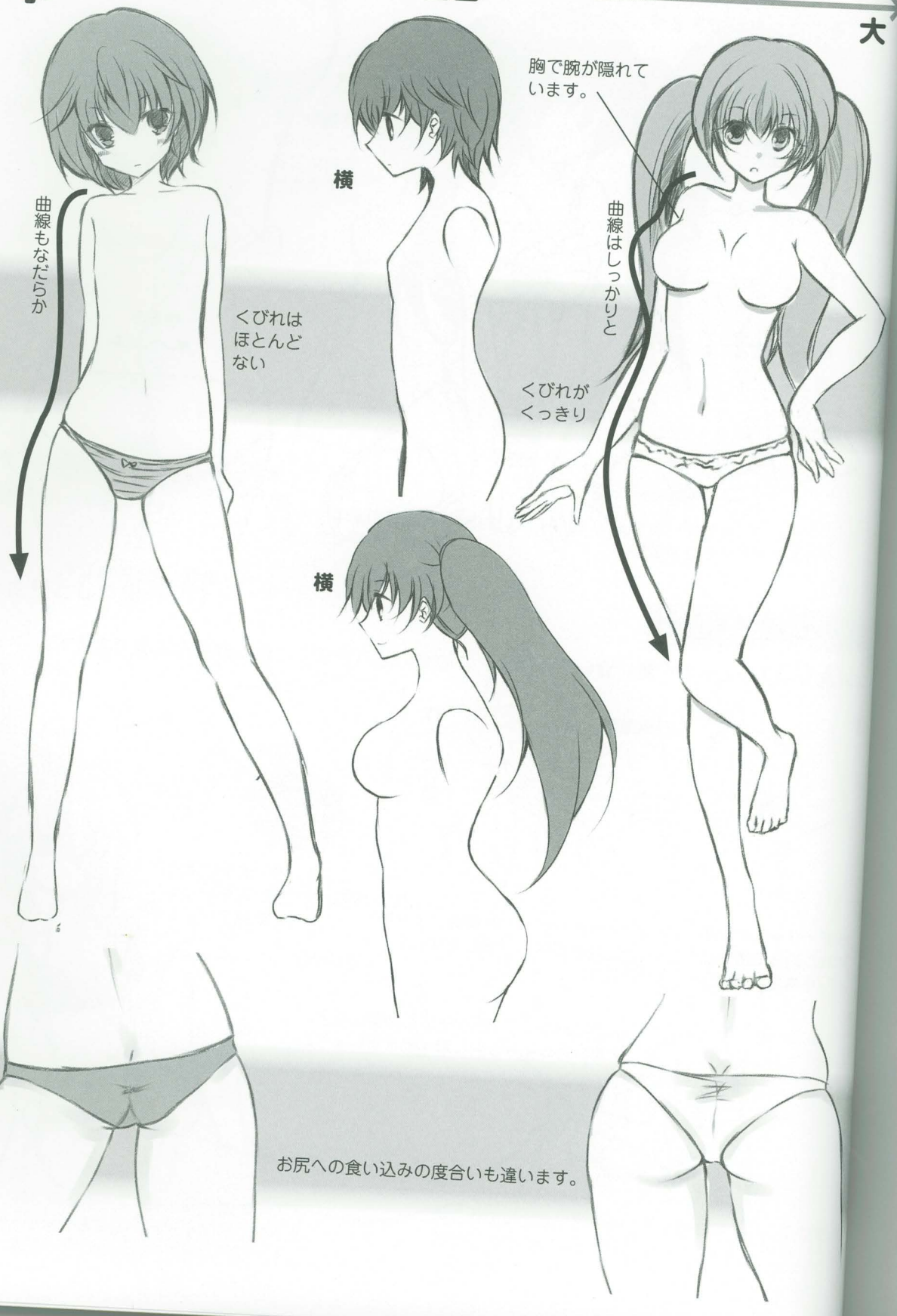
印に向かってラインを丸く調整します。
食い込み部分は少し濃く描きましょう。



スタイルの違いを描く

細い体や子どもらしい体つきの場合は曲線がなだらかになり、セクシーな体つきの場合は曲線も強く出ます。

小 ← 凹凸 → 大



スタイルの違いとコーディネート

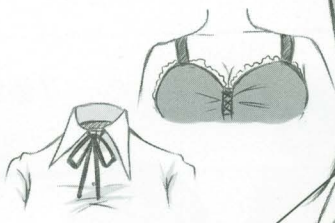
小 ← 凹凸 → 大

女の子らしさを出すため、胸元に大きなリボンや豪華なレースなどをデコレーションします。

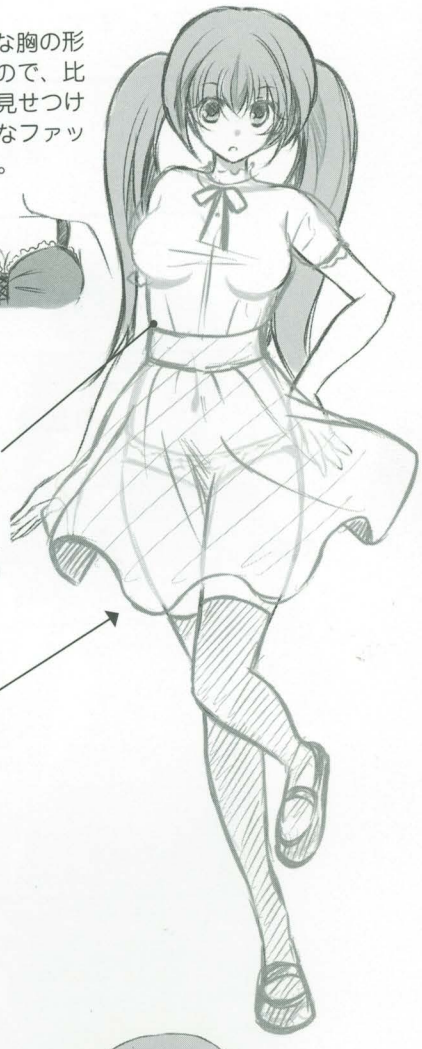


体の凹凸が少ない分、丸みが出ないので、その分を服のふくらみやしぼりで表現します。

服を着せるときれいな胸の形がなくなってしまうので、比較的ボディラインを見せつけるような、セクシーなファッションが似合います。



ハイウエストの服装はくびれが見せられないため、太って見えることもあるので注意。



服を着るとお尻の大きさはわからなくなります。

Check!

胸のふくらみは つくれない、隠せない

お尻はスカートで隠せたり、ウエストも洋服のデザインによっては隠せたり、着重ねて太く見せることもできます。しかし胸だけは、つくったり、なくしたりできない部分です。そのため、胸の大きさを活かすような洋服を着せましょう。



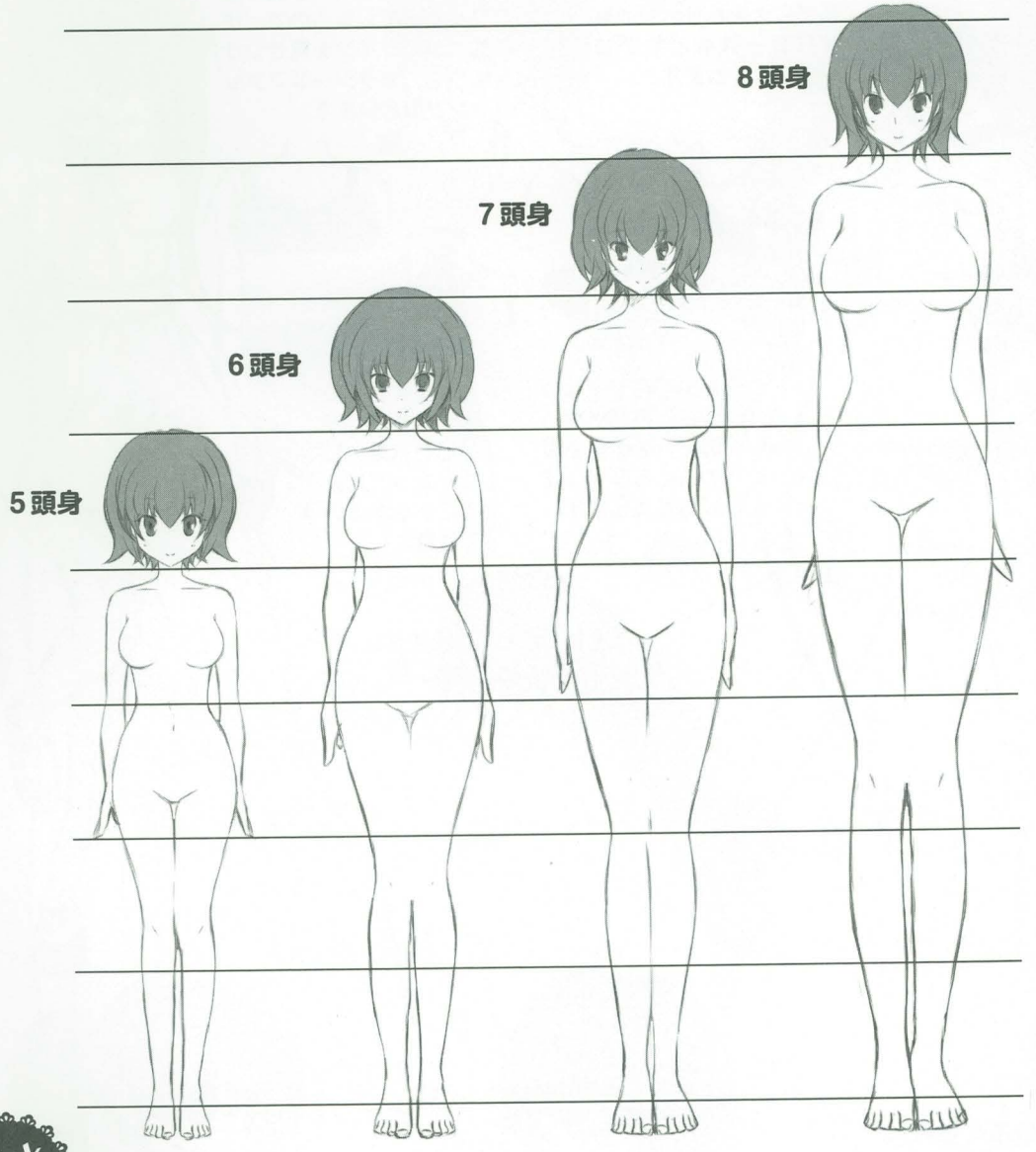
胸元が寂しい……



胸元がごちゃごちゃに！

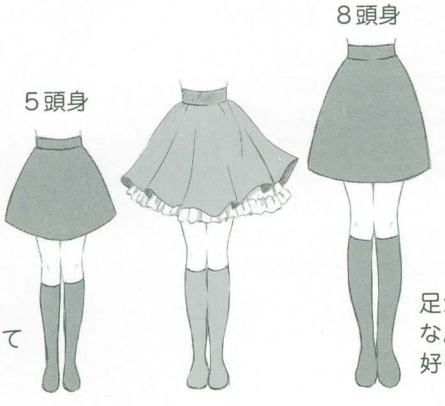
ロリータ服が似合う頭身は……

本書では、ロリータ服が似合う頭身は６～７頭身と設定しています。そもそもロリータ服は幼児性、少女性が強いので、実際の少女よりも少し大人っぽい体の女の子が着ることで、そのアンバランスなギャップがかわいく見えます。また、スカートやフリルのなびきをきれいに見せるには、ある程度足が長いほうが見栄えします。



Pick up!

ロリータ服のスカート丈は膝上までで、太ももはほとんど隠れます。６～７頭身の場合は、スカートもある程度の長さがあるので、フリルがなびいてきれいなラインを描きます。５頭身の場合はスカート丈が短くなり、８頭身の場合は逆に足が長すぎてスカートとのバランスがくずれてしまいます。



頭身の違いとコーディネート　5頭身や8頭身の女の子でロリータファッションを描くときは、スカートの長さを変えてみるといいでしょう。



5頭身の女の子

5頭身の女の子には七分丈のスカート。足首を見せて子どもらしさや体つきの細さを強調できます。



8頭身の女の子

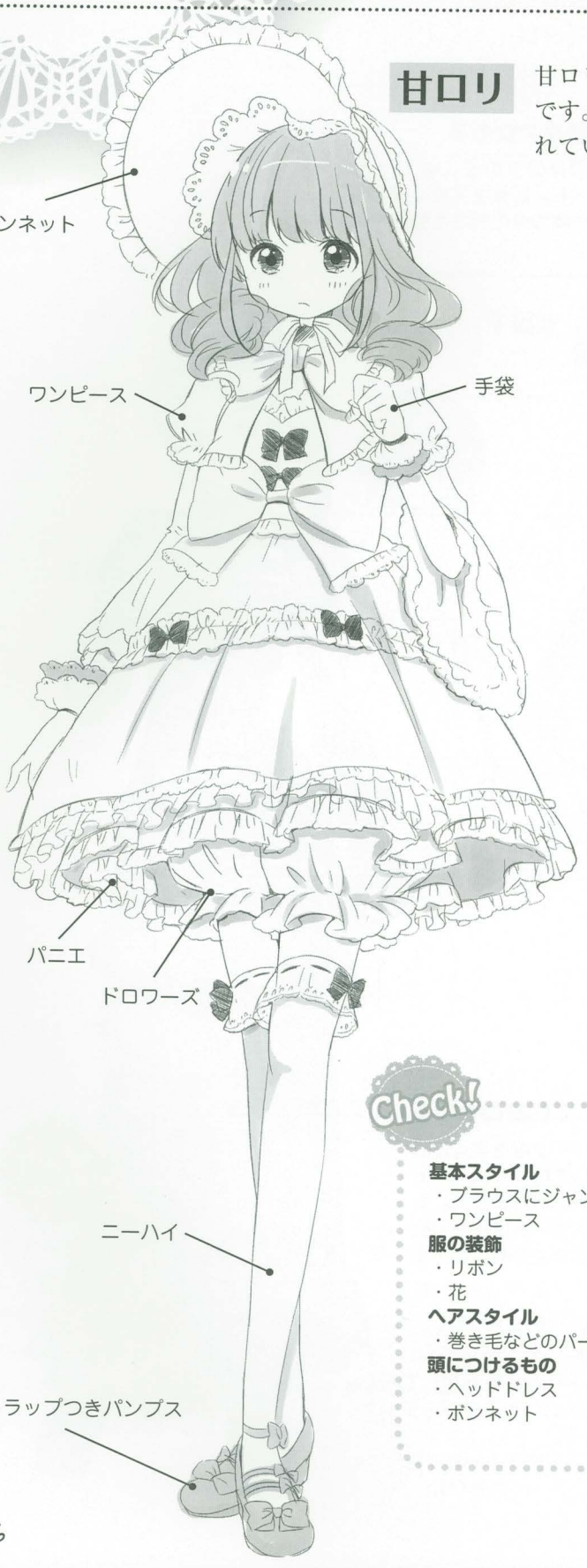
大人っぽい体型でロリータ服を描くときは、足の長さを利用してロングスカートにしてみるのもいいかもしれません。ただ、ハイウエストのスカートはあまり似合わないので、その場合くびれをしっかり見せます。

スカートの長さを利用して裾のフリルはいつもよりゴージャスにします。

基本の2大ロリータ

甘ロリ

甘ロリとは、ふわふわのお姫様スタイルのロリータです。色は基本的に白やピンクなど淡い色で構成されています。





Check!

基本スタイル
・ブラウスにジャンパースカート
・ワンピース

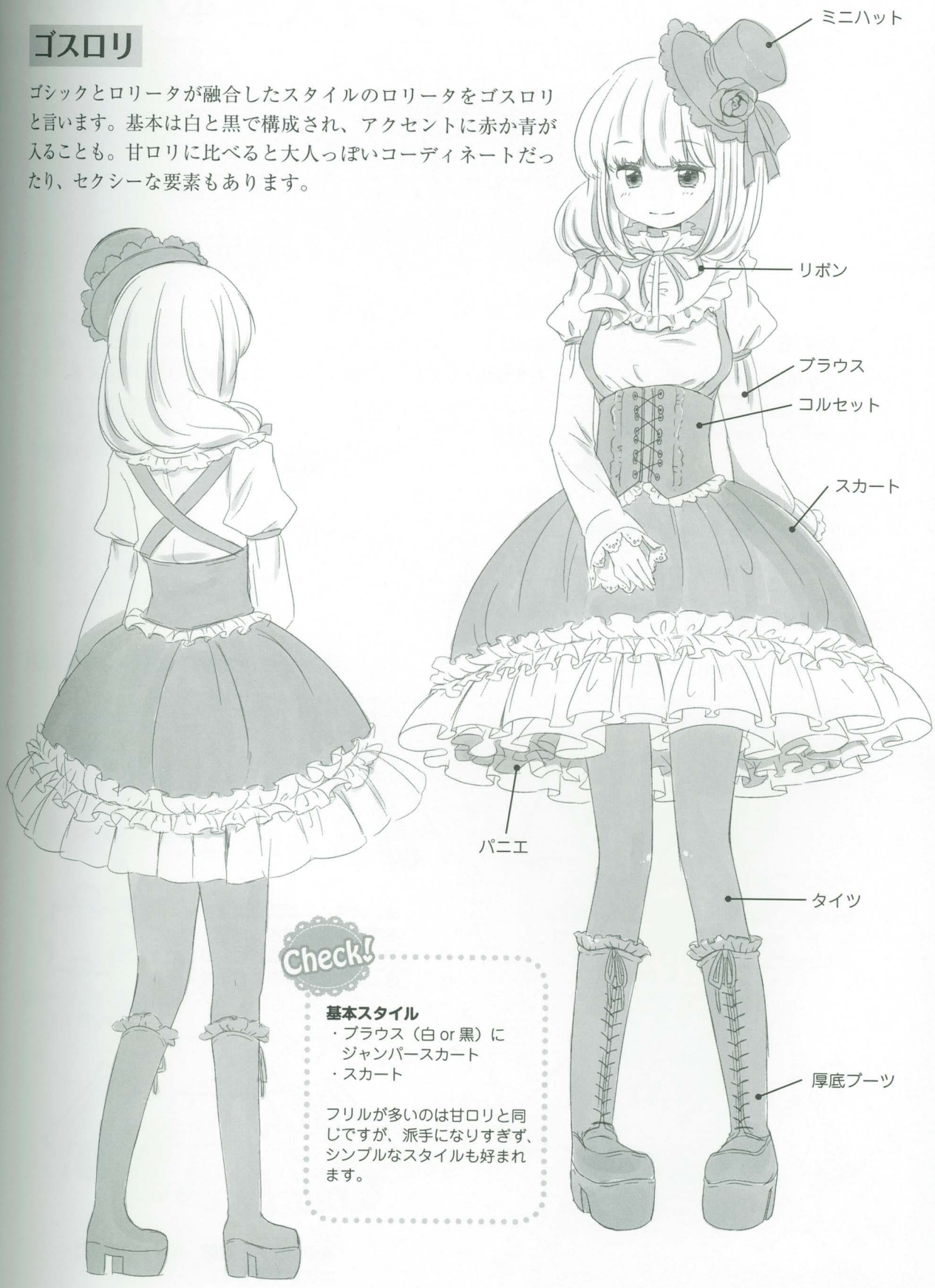
服の装飾
・リボン
・花

ヘアスタイル
・巻き毛などのパーマスタイル

頭につけるもの
・ヘッドドレス
・ボンネット

ゴスロリ

ゴシックとロリータが融合したスタイルのロリータをゴスロリと言います。基本は白と黒で構成され、アクセントに赤か青が入ることも。甘ロリに比べると大人っぽいコーディネートだったり、セクシーな要素もあります。

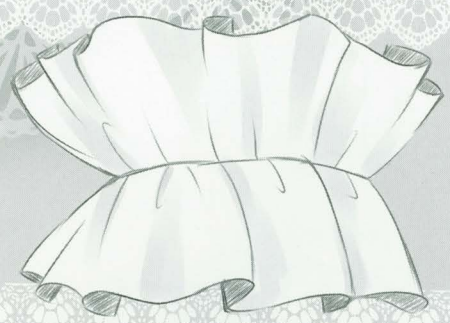


Check!

基本スタイル
・ブラウス（白 or 黒）に
ジャンパースカート
・スカート

フリルが多いのは甘ロリと同じですが、派手になりすぎず、シンプルなスタイルも好まれます。

ロリータファッション4大基本パーツ

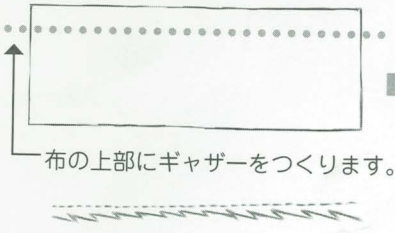


1.フリル

布や大きさ、ギャザーの多さによって、フリルの形は変わります。表面と裏面を意識して描くのが一番のポイントです。角度が変わると見え方も変わります。

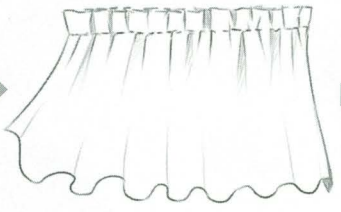
フリルの構造

長方形の布を用意します。



布の上部にギャザーをつくります。

布を縮めてヒダをつくります。



すると裾がひらひらします。



こうしてフリルができます。

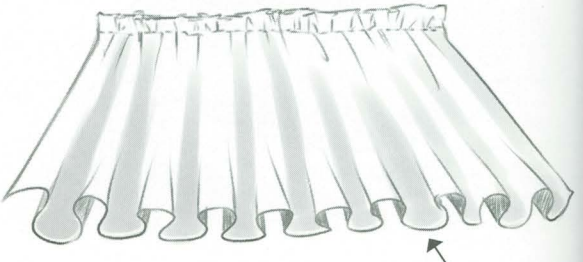
ギャザーが小さい場合



波

波は弱く、裏面は見えません。規則的に波打ち、ギャザーを寄せたところにシワができます。

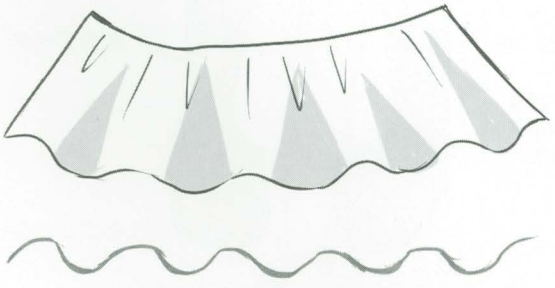
ギャザーが大きい場合



波が大きく、裏面が見えます。不規則な波の場合もあり、ギャザーを寄せたところにシワができ、裾にもシワができます。



パズルのピースのような形です。

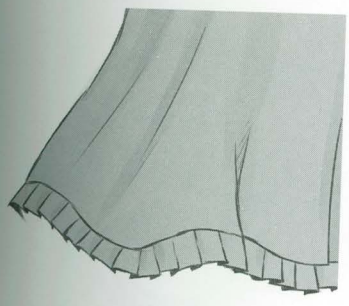


波の凹部分にカゲができます。

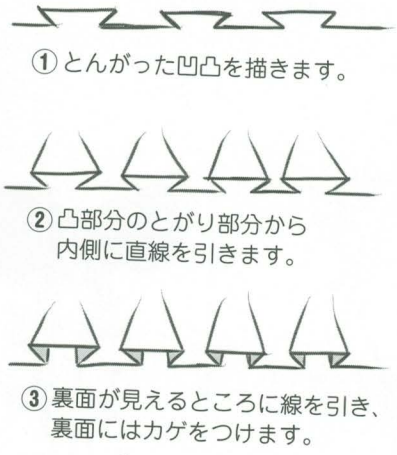


波の凹部分と裏面、ギャザー部分にカゲができます。

固めの布の場合



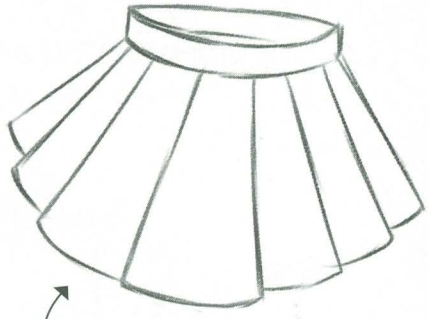
曲線ではなく、直線だらけで成り立ちます。波を大きく描くとプリーツスカートになるので注意です。



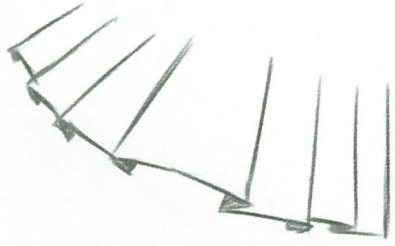
①とんがった凹凸を描きます。

②凸部分のとがり部分から内側に直線を引きます。

③裏面が見えるところに線を引き、裏面にはカゲをつけます。



同じ要領でプリーツスカートができます。



不規則なギャザーの場合（スカートの裾など）



不規則な波を描きます。

出っ張り部分に線を入れます。

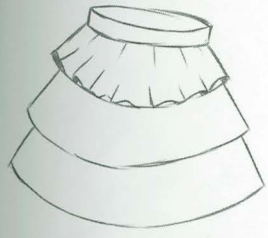
裏面を描きます。

表面と裏面を意識して描くと立体的に見えます。

段状フリルの描き方



段状のアタリを描きます。



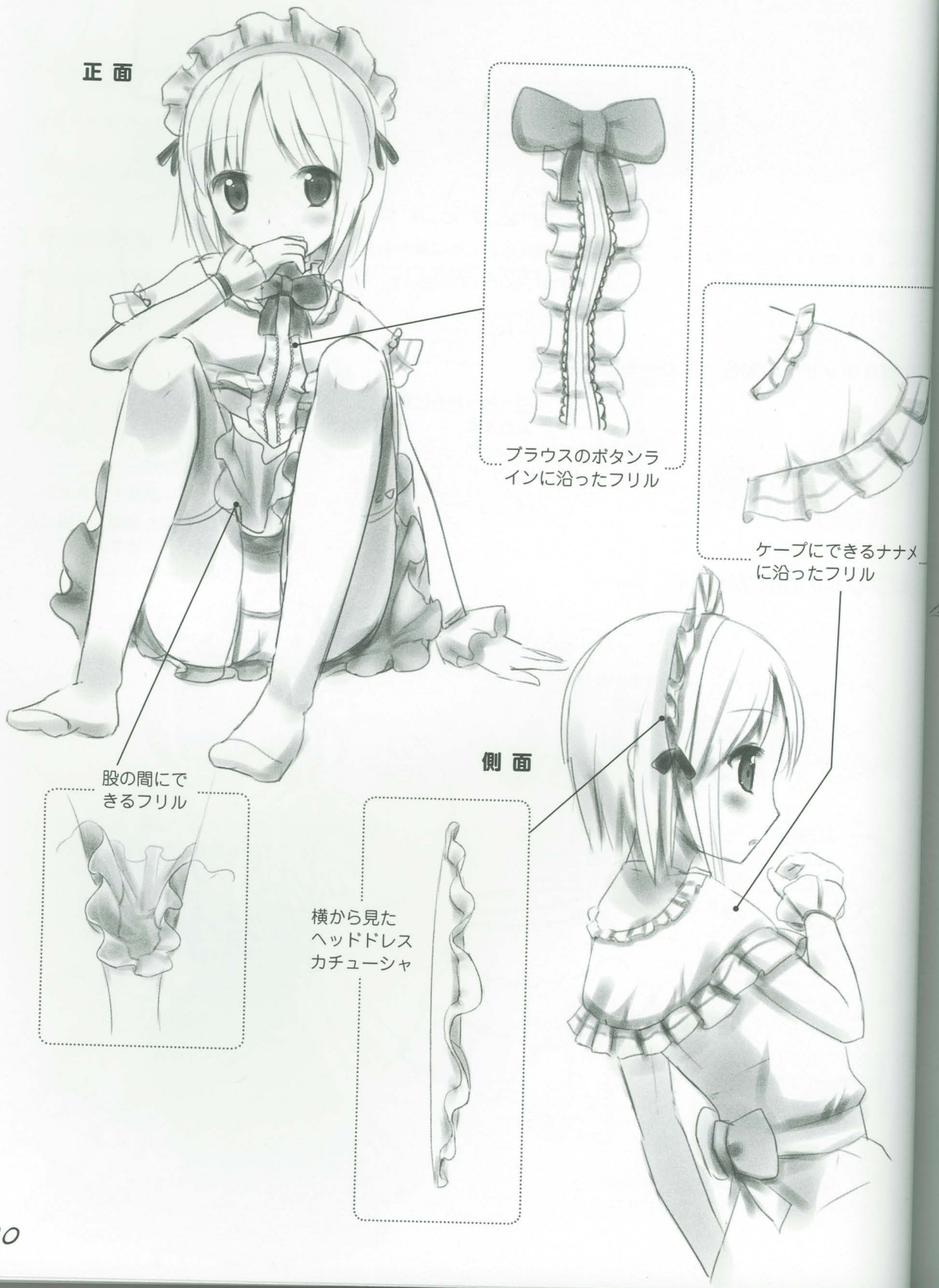
アタリに沿って、上から1段ずつフリルをつけていきます。





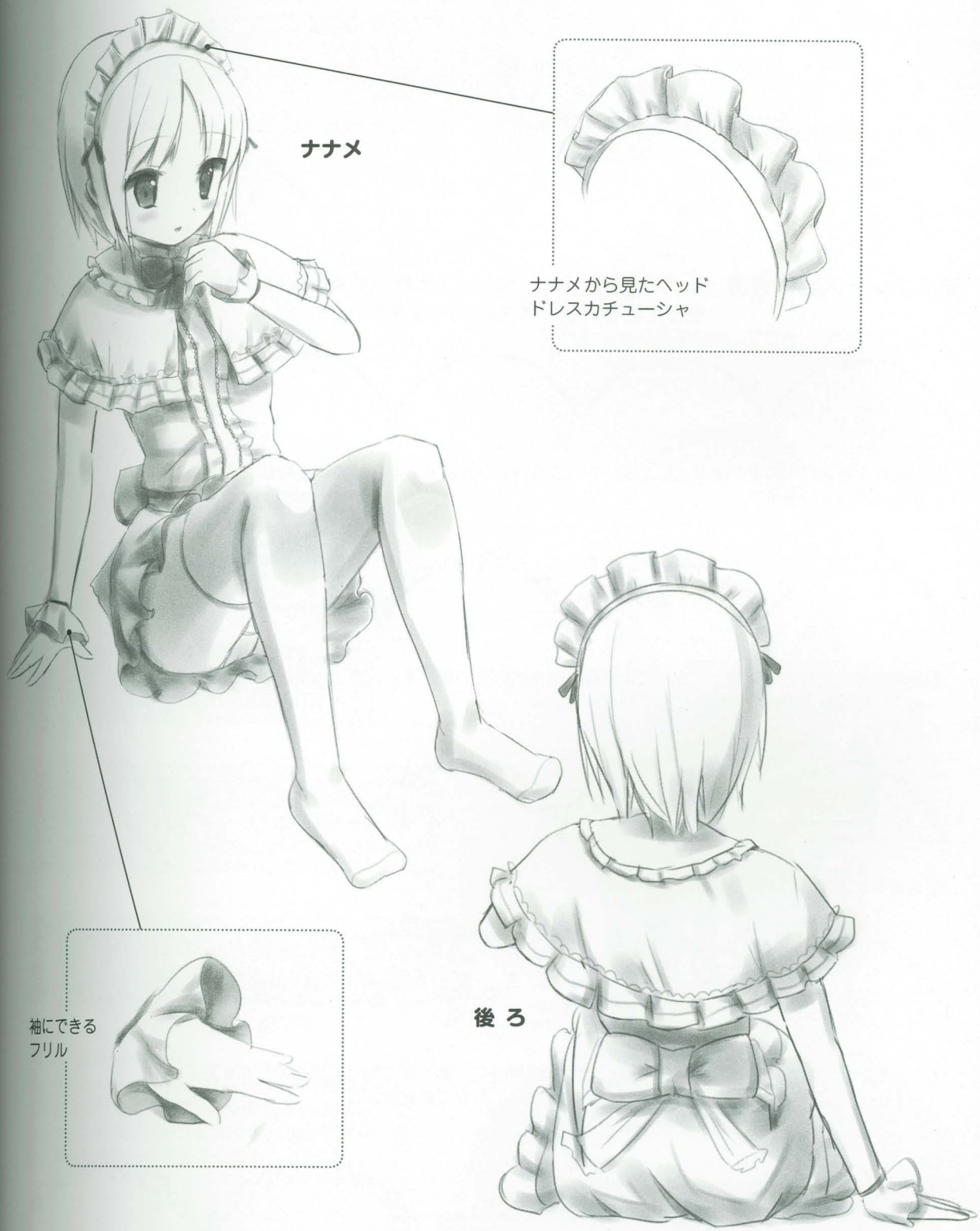
いろいろな角度からのフリルのつき方

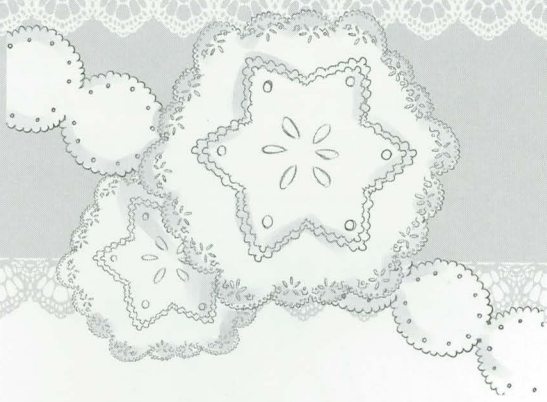
フリルは、大きさや見る角度によってその形が変わります。いろいろな角度からフリルを描けるようにしておくと便利です。



るように

るナナメ
ル

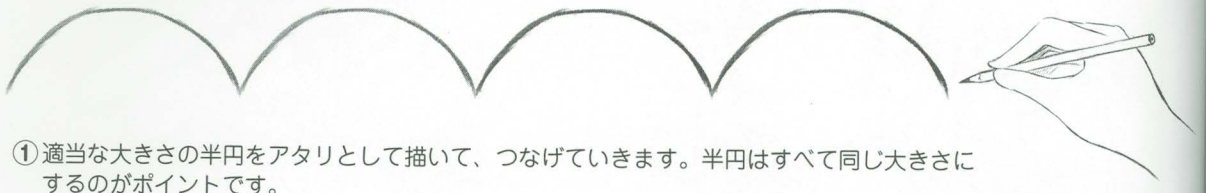




2.レース

レースにもいろいろな模様や種類があるので、いくつかのパターンを描けるようになると、ぐんとデザインの幅が広がります。

簡単なレースの描き方　ここでのレースは、綿レースと呼ばれる、主にコットンや綿の生地を使ってできるレーステープの描き方です。



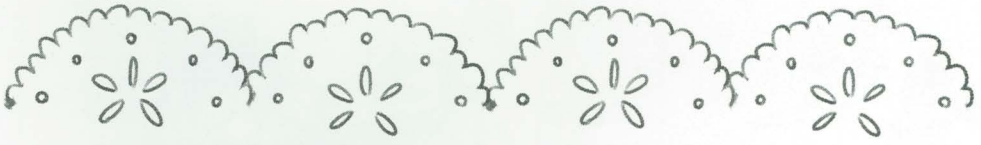
①適当な大きさの半円をアタリとして描いて、つなげていきます。半円はすべて同じ大きさにするのがポイントです。



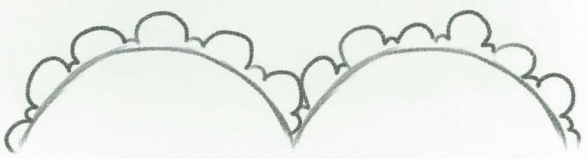
②半円の線に沿って、外周上にさらに小さな半円を描いていきます。こちらも半円の大きさや高さ、密度などはすべて均一にしていきます。



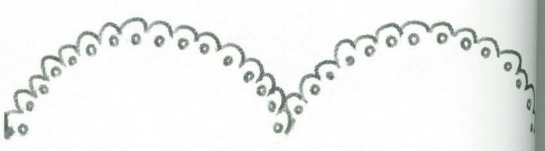
③大きな半円のほうの線を消します。



④穴を開けたり、模様を描いてでき上がりです。機械的に、あくまで均一に描くのが大事です。アレンジの仕方によって、いろいろなレースを描くことができます。

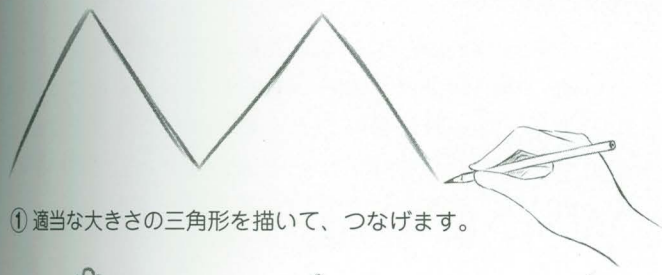


小さな半円の大きさを変えてみる



穴の数を変えてみる

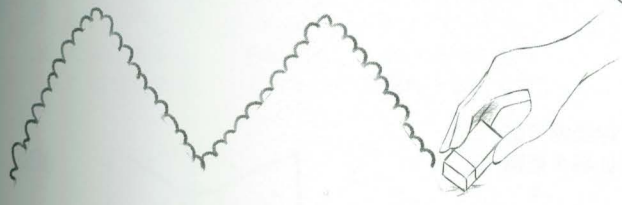
三角形バージョンのレースも、丸型レースと同じように描いていきます。



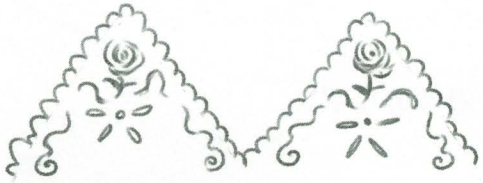
① 適当な大きさの三角形を描いて、つなげます。



② 三角形の線に沿って、半円を描いていきます。

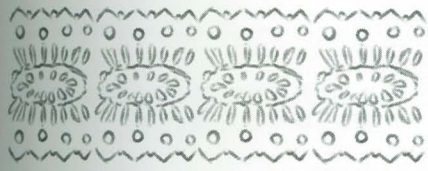


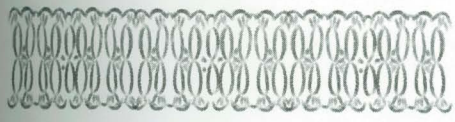
③ 三角形のアタリ線を消します。

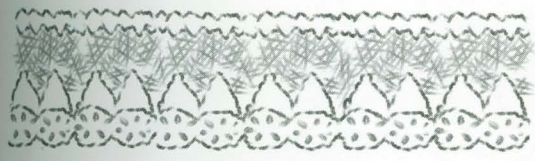


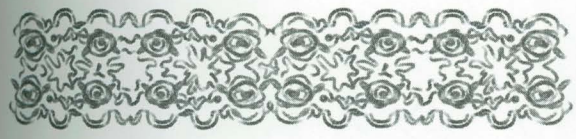
④ 適当な模様を描いてでき上がりです。
丸型と同じように、均一の模様をひたすらつないでいきます。

トーションレースのサンプル



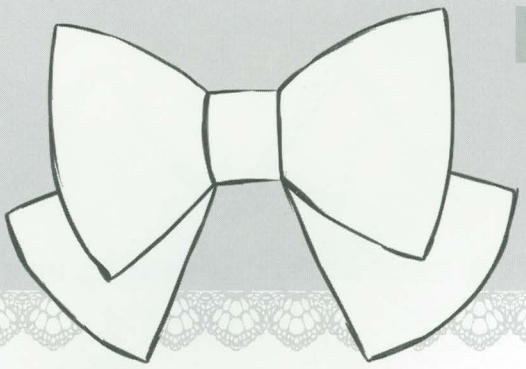






他にも、編み方や布地によって、ラッセルレースやチュールレース、モチーフレースなどの種類もありますが、モノクロで違いを表現するのは難しいでしょう。これらのレースを描くのは複雑ですが、自分の好みの柄を創作するのもおもしろいでしょう。





3.リボン

ロリータといえばリボン！　ということで大きいリボンから細いリボンまで、いろいろなパターンを描けるようにしましょう。服の目立つところにつけるリボンは大きく動かないものをつけて、その他にサブとして細いリボンをつけて、組み合わせていきます。

基本のリボン

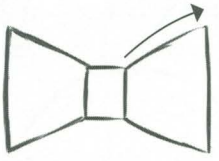
①



長方形を描きます。

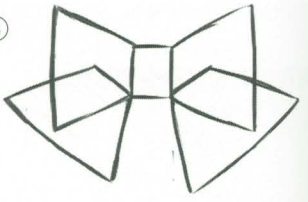
②

ここは直線ではなく曲線を意識



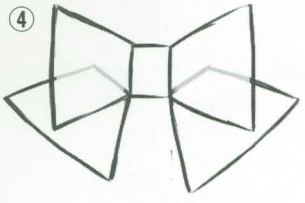
台形を横に２つ描きます。

③



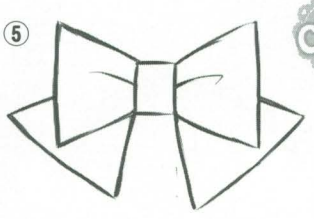
同じ台形をナナメにずらしてもう１つずつ描きます。

④



かぶっている部分を消します。

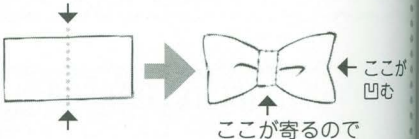
⑤



中央にシワを描きます。

Check!

もともと同じ太さの布をまん中でしばるとリボンっぽくなります。



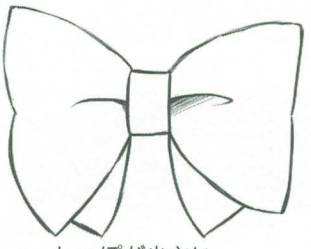
ここが寄るので中央にシワができる

パターン応用

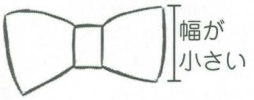
固めの布・素材でつくったりしている場合は、風が当たっても形がくずれません。

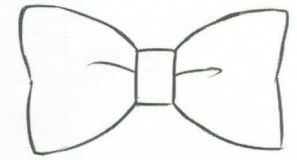


しっぽが大きい



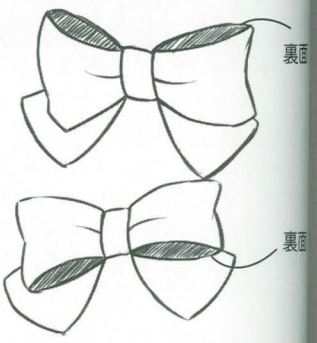
しっぽが小さい





しっぽなし

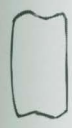
布が薄いリボンは、フカンやアオリになると裏面が見えます。



リボンの直線を曲線に変えるとさらに質感が出せます。

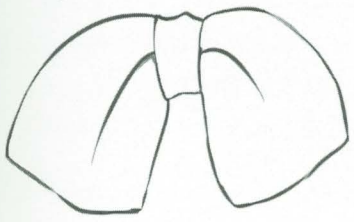
やわらかい布(生地)でリボンを結ぶ場合

①



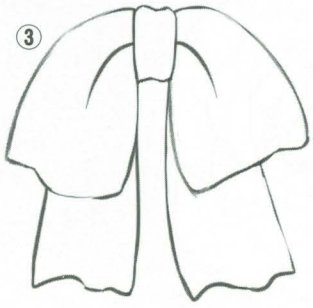
長方形の形も少し
いびつになります

②

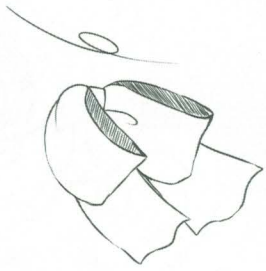


布が重く、リボンの形を維持
できないので垂れ下がります。

③

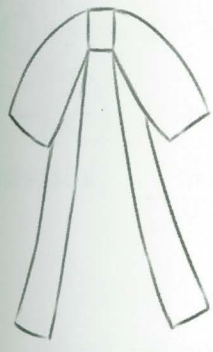


しっぽをつけます。

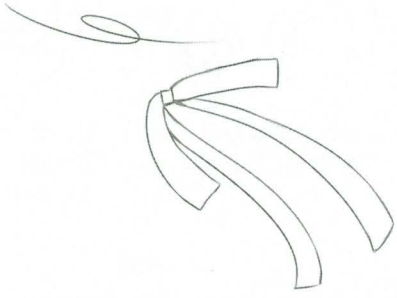


風が吹くと
リボンもなびきます。

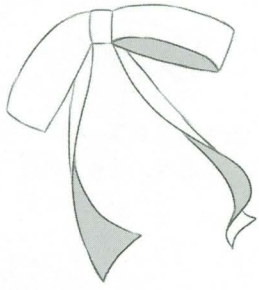
応用



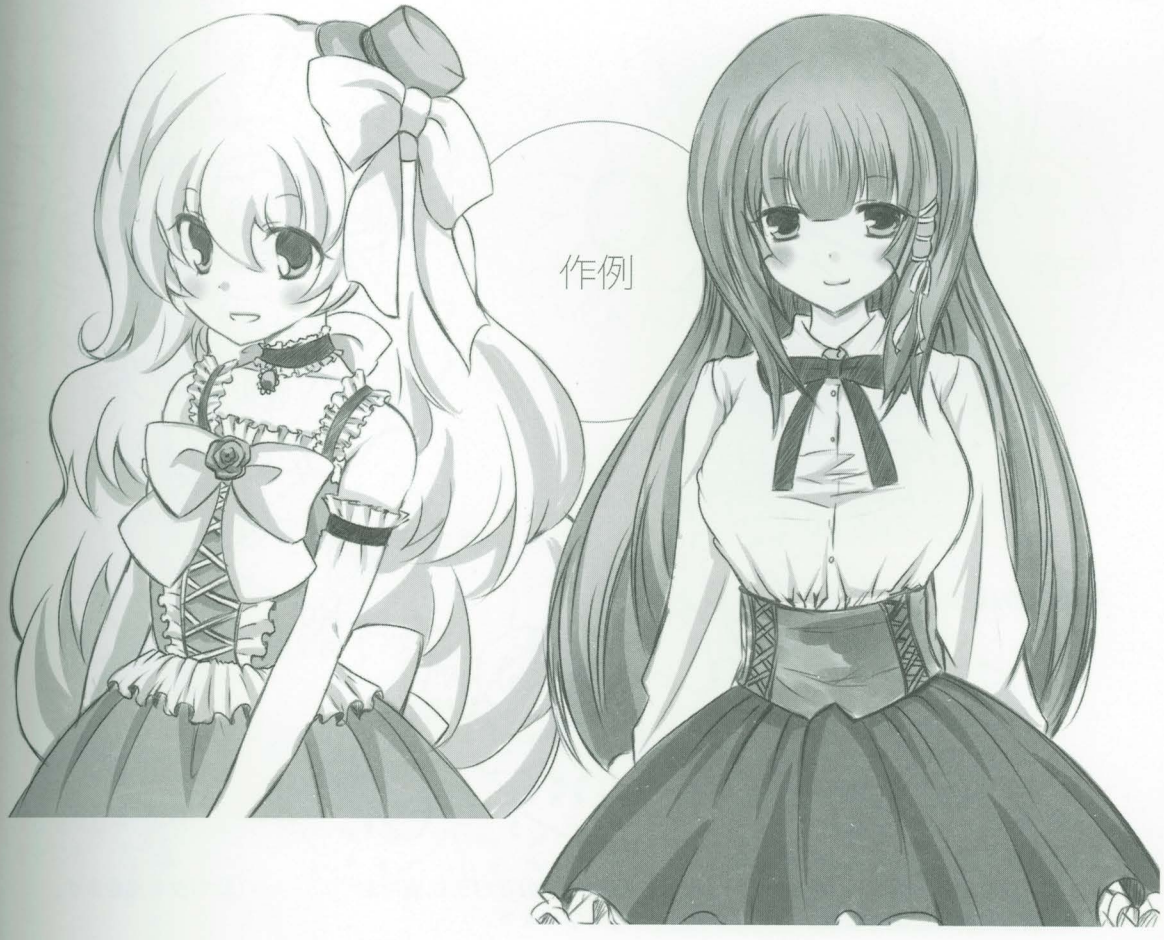
細いリボンを結ぶと
こうなります。

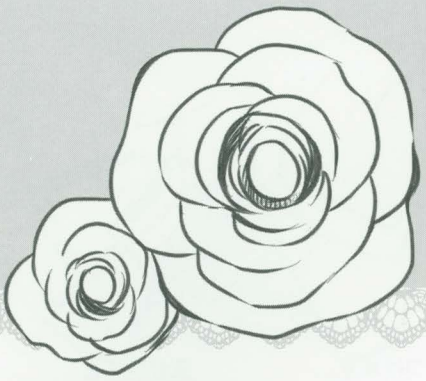


軽いのでひらひらなびきます。



わざと裏面を見せるようにな
びかせると立体的に見えます。





4.花

花はコサージュで使ったり、模様で使ったり、デザインとして出てきたりと使用頻度も高いです。特によく使われるのはバラなので、バラは描けるようにしておくと、どこにでも装飾できて便利です。モチーフがない場合、それっぽい創作の花を描いてもいいでしょう。

簡単なバラの描き方



丸を描きます。

三日月 or 三日月を２つ重ねたようなものを描いて、円を囲んでいきます。

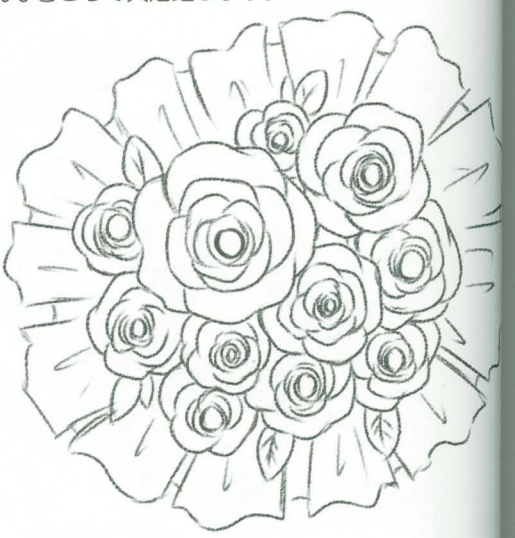
その際、外側にいくにつれ三日月を大きくしていきます。

葉っぱを描きます。

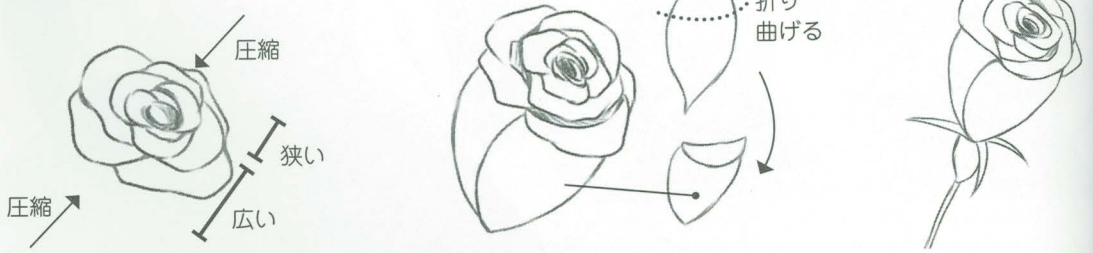


完成

ドレスにつけたり、アクセサリーにつけたり、いろんなところで大活躍します。



半開きのバラ



① 正面からのバラをナナメから圧縮したように描きます。

② 一番外側の花びらに楕円をくっつけます。

③ ガクを描きます。

バラの横、ナナメ

横



ナナメ

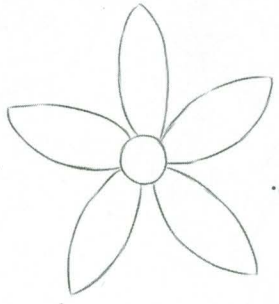


その他の花

① 円を描きます。

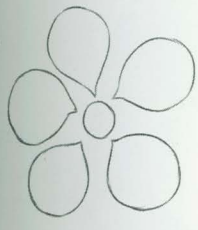


② 楕円形（先がとがっている）の花びらを描きます。

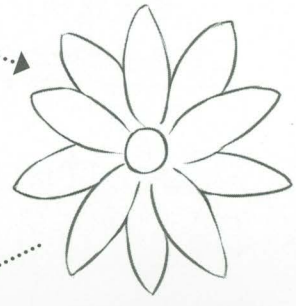




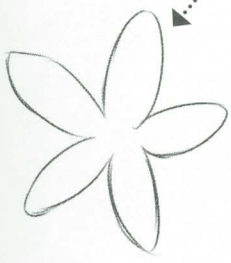
花びらを太くすると違った花に



花びらの形を変えてみると違った花に



花びらを増やすと違った花に

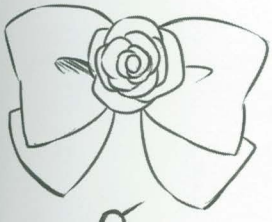


花びらのみで



円を大きくすると違った花に

応用



リボンと組み合わせたり

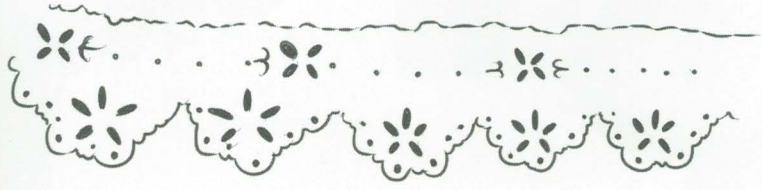


小さい花は集めてひとまとめに



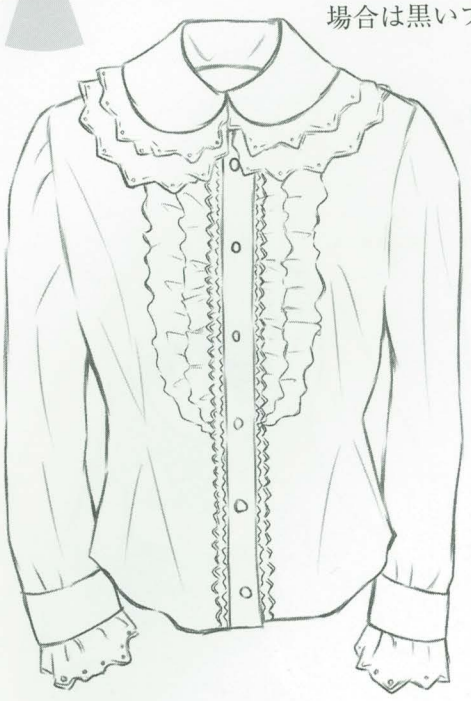
アクセサリーなどにも

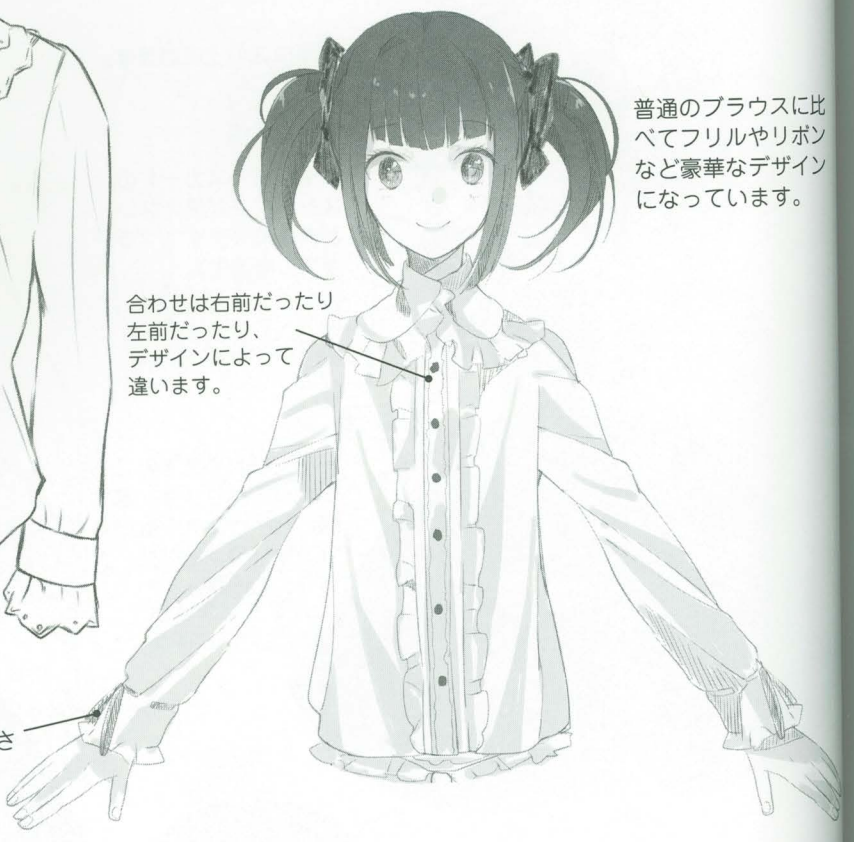
レースの模様にも



ブラウス

ロリータファッションの基本スタイルは、ブラウスにスカートもしくはジャンパースカートをはきます。ブラウスはほとんどが白で、ゴスロリの場合は黒いブラウスを着ることもあります。





普通のブラウスに比べてフリルやリボンなど豪華なデザインになっています。

合わせは右前だったり左前だったり、デザインによって違います。

袖は少し手の甲にかかるくらいの長さ

ブラウスのシワのつき方

女性用ブラウスはウエストが少し絞られた構造なので、裾が広がっています。

前



横



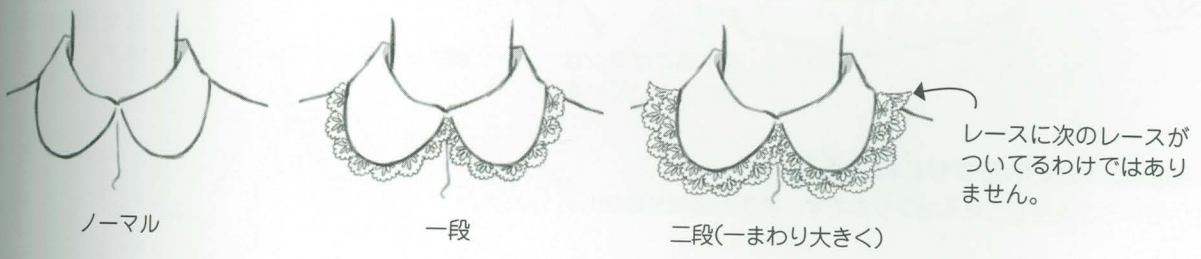
後



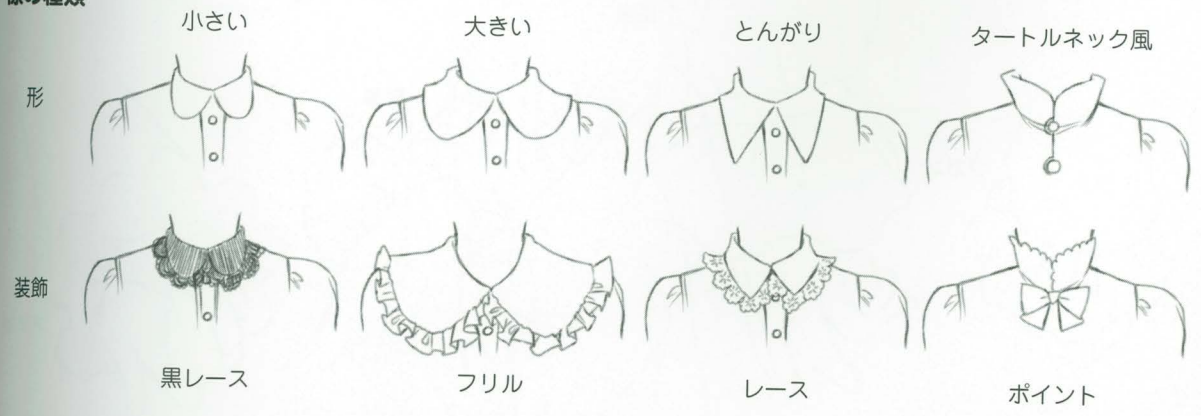
ブラウスの種類　ブラウスはジャンパースカートの下として着ることもありますが、ブラウスだけでも主役になれるようなかわいいデザインのものが多いです。



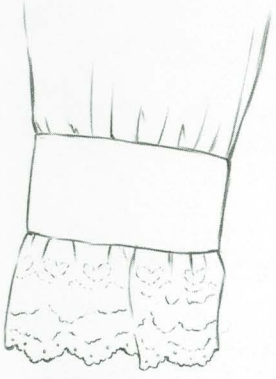
襟部分



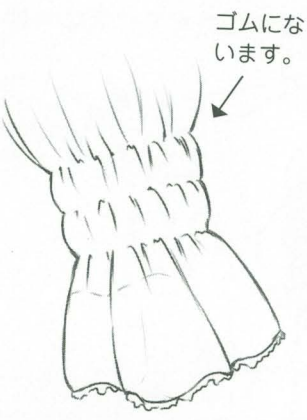
襟の種類

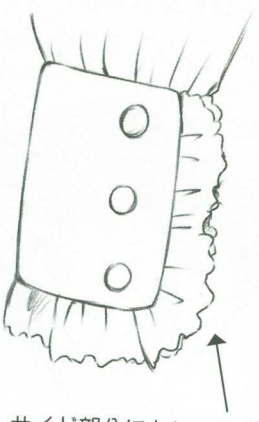


袖口の種類 ロリータのブラウスは袖口のデザインにもこだわります。

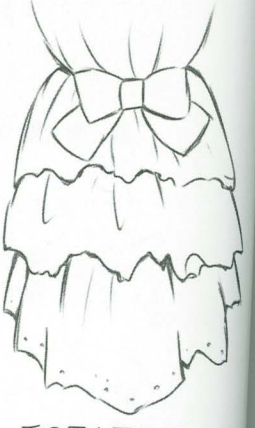


基本は袖口に
フリルかレース。





サイド部分にもレースが
ついています。

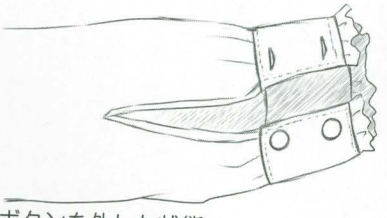


手の甲を覆うぐらい
長めです。

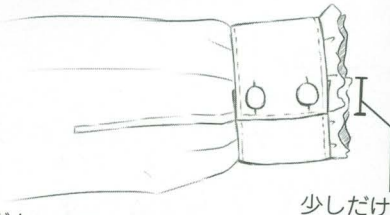
袖口のボタンの位置



基本的にボタンは
裏面についています。



ボタンを外した状態

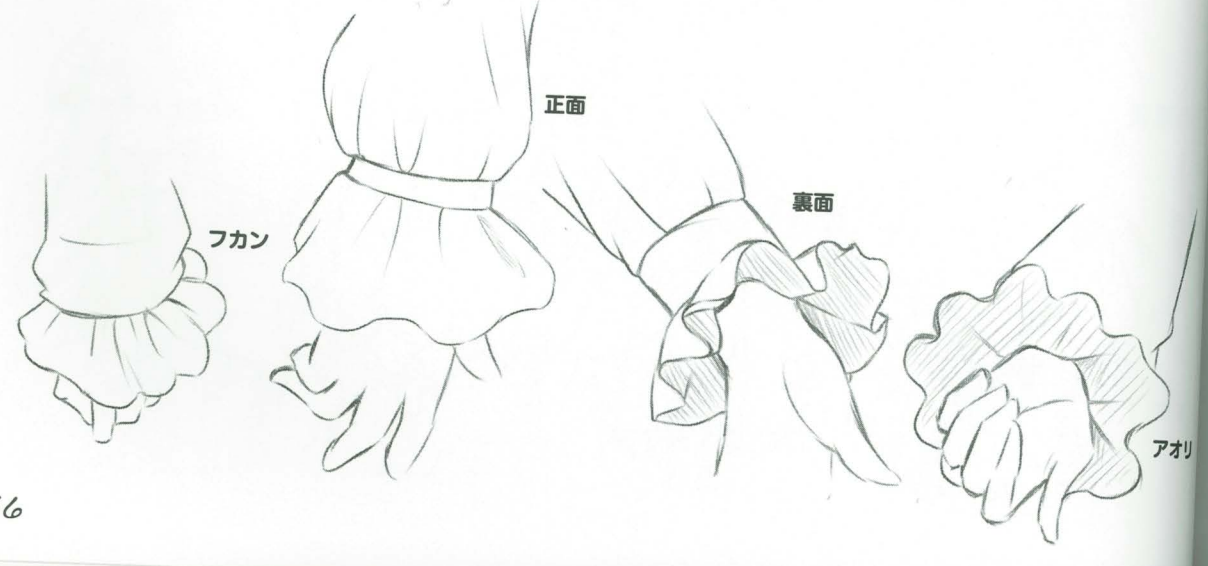


ボタンを留めた状態

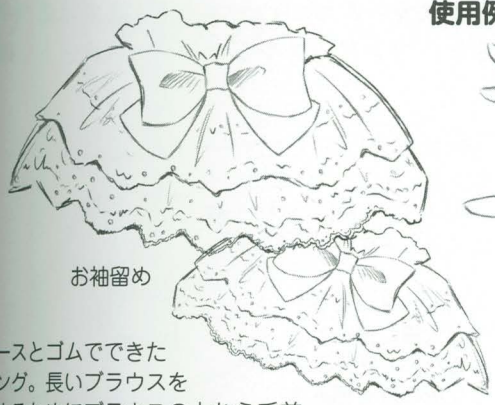
少しだけ重なって
います。

袖口についているフリルの見え方

いろいろな角度から見る袖フリルです。表面と裏面を意識しましょう。



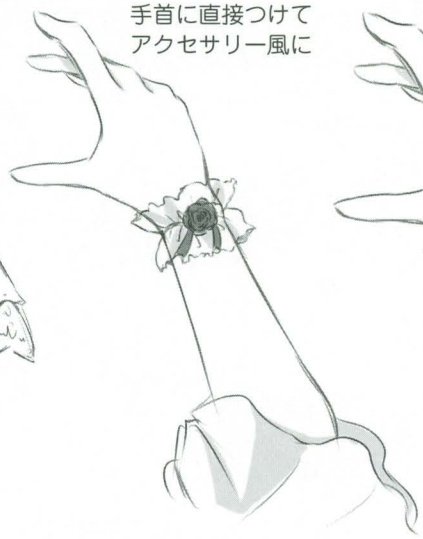
使用例



お袖留め

レースとゴムでできた
リング。長いブラウスを
留めるためにブラウスの上なら手首
あたりにつけます。ただし姫袖の場
合など、手首が露出してさみしいと
きには直接つけることもあります。

手首に直接つけて
アクセサリー風に



袖の長いブラウスを
留めるために





ロリータのブラウスは基本的に男性の
Y シャツなどに比べてやわらかい生地
でつくられています。

作例





スカート

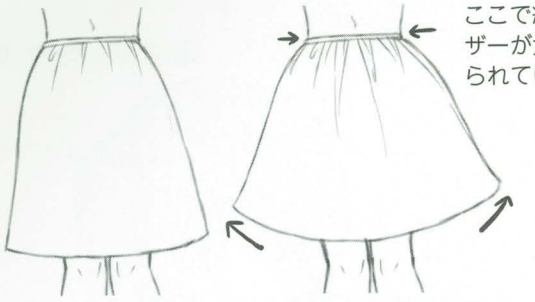
ロリータファッションには必ずスカートがついてきます。まずは基本のスカートを描けるようになると、ワンピースやジャンパースカートを描くときにも役立ちます。

スカートの構造





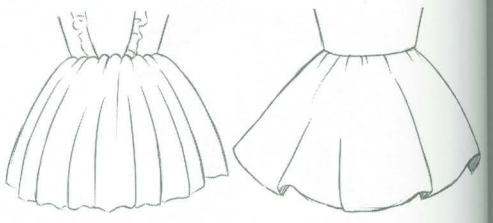
スカートをめくると、布が大量に使われているため、朝顔のような放物線を描きます（中に何もはいていない場合）。



ここで細かいギャザーが大量につくられています。

ギャザーが多いほど、布地を大量に使うので、その分ひらひら広がることになります。

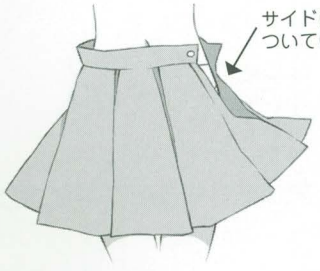
ギャザーの寄り方によって裾の波打ち方も変わっています。



ギャザーが均一の場合　　不均一の場合

スカートの種類

ファスナータイプ



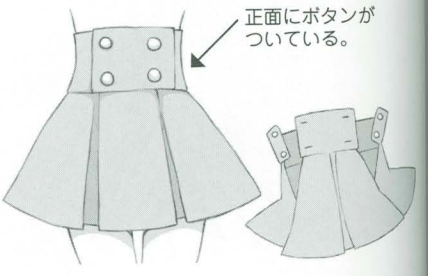
サイドにファスナーがついている。

ゴムタイプ



ゴムの部分は服で隠す

ボタンタイプ



正面にボタンがついている。

スカートの位置

ハイウエストではきます。理由は足を長く見せたいのと、セクシーな女性のボディラインを隠すことができます。



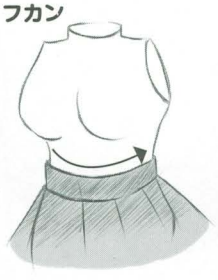
ブラウスはスカートの中に入れます。

おへその上、一番くびれているところではきます。

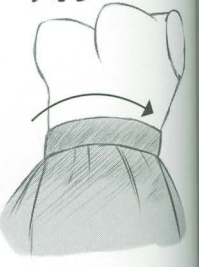


普通のスカートの場合、くびれを見せるためにあえて腰ではいています。

フカン



アオリ

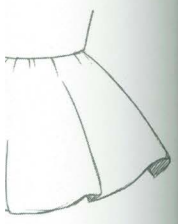


ウエストラインは、正面、フカンの場合は下に弧、アオリの場合は上に弧を描く曲線になります。

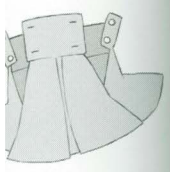
ずは基本の
カートを描



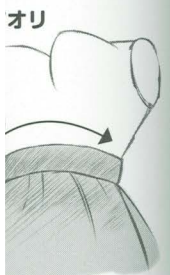
て裾の
す。



均一の場合



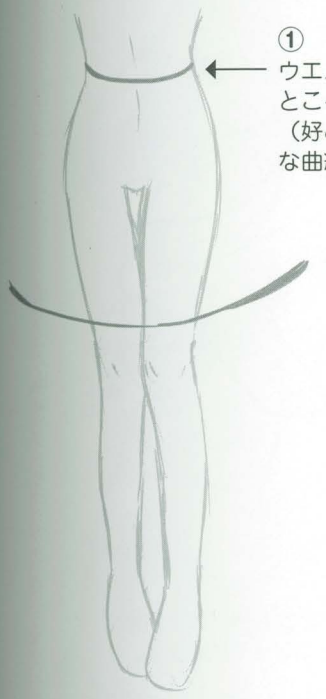
にボタンが
いている。



オリ

フカンの場合は
に弧を描く曲線

スカートの描き方



①
ウエスト（腰の一番細いところ）とスカートの裾（好みの長さで）に並行な曲線を描きます。

好きなスカートの丈の位置



②
端同士をつなぎます。



③
両端に三角形を描き加えます。

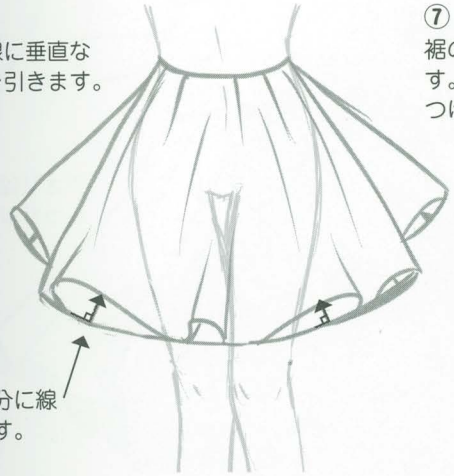


④
シワを描きます。放射状で、不均一なほうがそれっぽくなります。



⑤

こんな形の鉤状の波です。



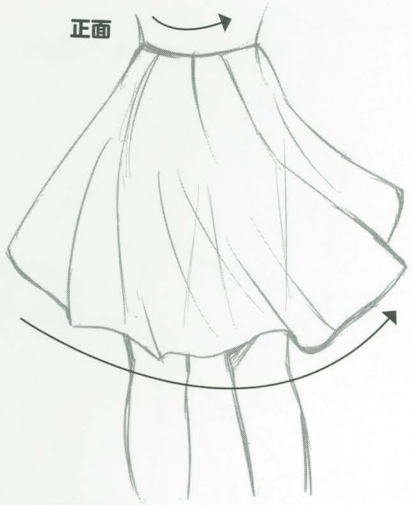
⑥
波線に垂直な線を引きます。

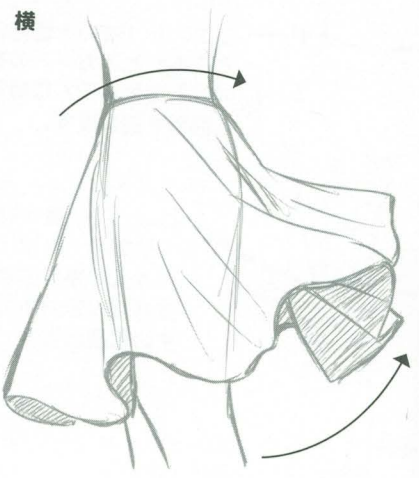
波の凸部分に線を加えます。



⑦
裾の曲線を消します。裏面にカゲをつけると完成です。

スカートの見え方 スカートの裾が広がっていると、見る角度によって、表面と裏面が見えてきます。いろいろな角度から描けるようにしましょう。





正面の場合は下に弧を描く曲線です。





フカンが強いほど円形に近くなっていきます。



正面に比べて円に近くなります。





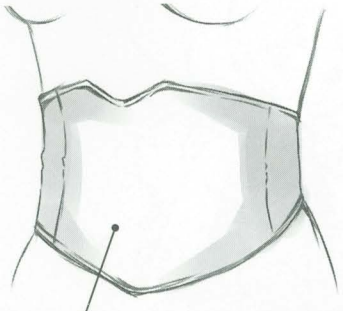
アオリは裏面がしっかり見えます。


コルセットつき。
その場合、コルセットも同じ生地でつくられています。
作例

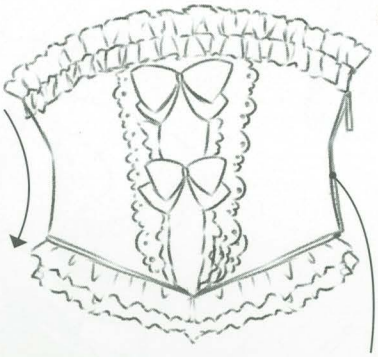
コルセット、ビスチェ

コルセット

コルセットはどちらかというと腰回りのアクセサリーという概念で、中世～近世ヨーロッパのような腰回りを細く締めつけるためにつけるものではありません。しかしその素材や機能上、ウエストを細く見せる役割を持ちます。



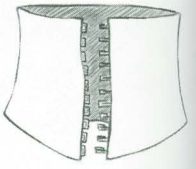
ほとんど伸びません。



ウエストの形に沿ったつくりになっており、簡易版にはわきにファスナーがついています。

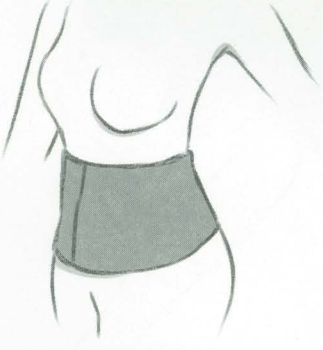


前にリボンで編み上げて着るタイプ



後ろのホックで留めるタイプ





コルセットをつけると、腰回りの自由度がなくなります。



ひねりができない状態です。



Check!

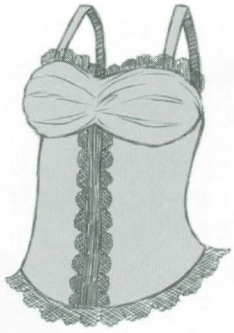


コルセットを身につけると、背中がまっすぐになり姿勢がよくなります。

ビスチェ

コルセットと似ていますが、ビスチェは胸まで覆います。基本的にブラウスの上などにつけます。





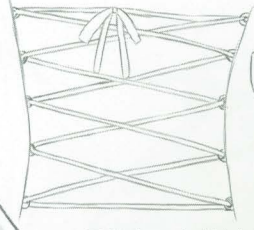


ビスチェはセクシーなデザインのものが多めです。



後ろは肩甲骨くらいまで

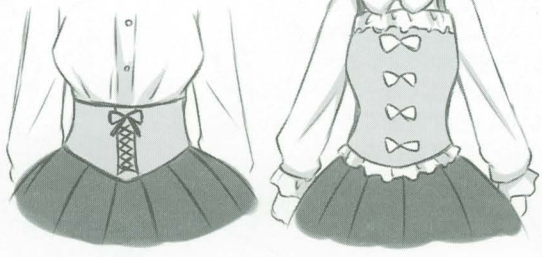




コルセットやビスチェに使用される編み上げの拡大図

Check!

コルセットとビスチェ

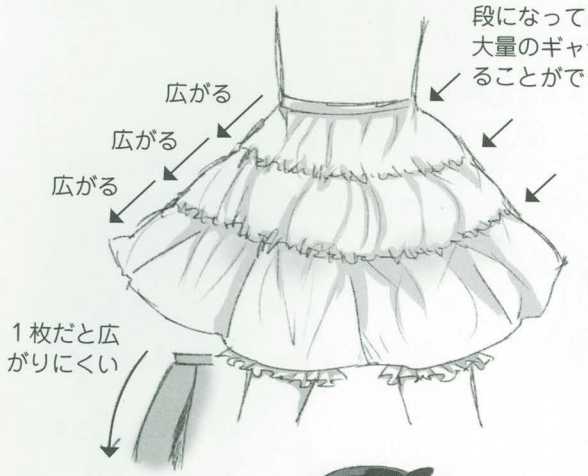


腰回りを締めるのがコルセット、胸まで覆うのがビスチェです（ブラウス、ジャンパースカートの胸元の装飾に合わせて着分けると良い）。

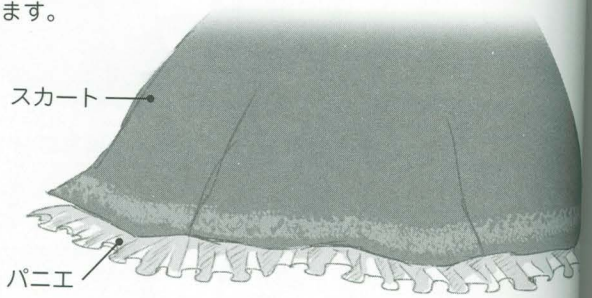
パニエ、ドロワーズ

パニエ

パニエは、スカートを広げるためにスカートの中にはくものです（普通のファッションのペチコートに当たるもの）。ロリータイラストで、スカートの中に白いフリルが描かれているものは基本的にパニエを描いています。



段になっているところで、より大量のギャザーをつくって広げることができます。



パニエは基本的にスカートに隠れて見えませんが、あえて見せるのもかわいいです。



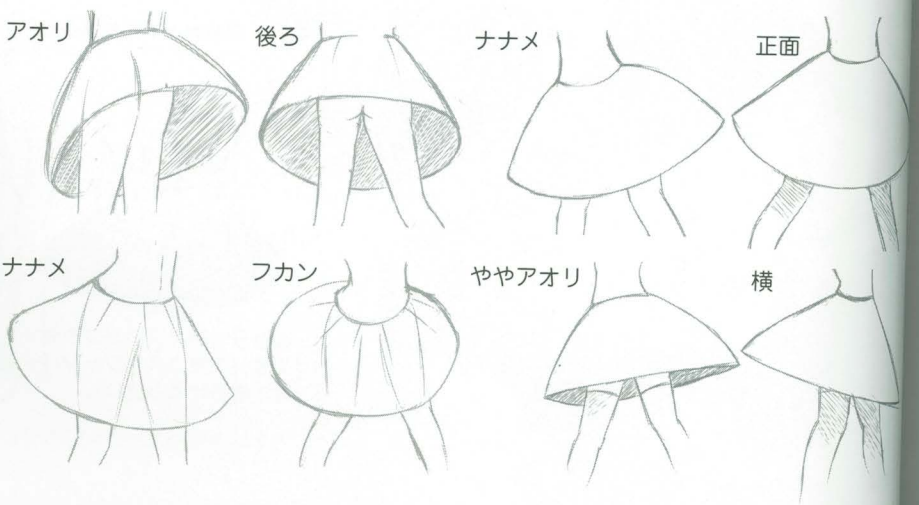
ふわふわパニエはやわらかい素材でつくられているので、風になびきやすく、広がりやすいため、二重にする場合は外側にはくのにも適しています。固めパニエはチュールなどの化学繊維でつくられています。固いので形がくずれにくいのが特徴です。



パニエは二重ではくこともあります。

二重にすると、よりひらひらに。

パニエは末広がりの筒状でできています。実際にパニエをはくと筒状の形を保つので、まずは円筒形のスカートをいろいろな角度で描けるように練習します。



横

③絞る位置に曲線を描き、それぞれをつなぎます。

④裾にフリルを描き加えます。

ドロワーズをスカートの下からちらりと見せる場合もあります。下着の次にはいて、ドロワーズをはいたあとパニエをつけます。

ボンネットの描き方

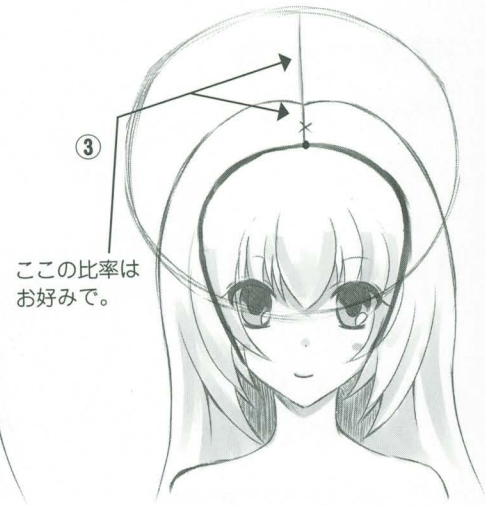
正面



つむじの少し下に、輪郭線の
頂点となる印をつけます。



印に向けて、輪郭線を描きます。



印を中心として円を描きます。



円に沿って波線を加えます。



無駄な線を消します。正面の髪が
見える部分は輪郭線です。



波に沿って中心に向けてシワを描き加えます。
ボンネットの内側にフリルやバラをつけるなど
装飾を施して完成です。

ナナメ



①

お好みの幅で髪ラインに
印をつけます。



②

耳に向かって曲線を描きます。



③

耳を端にして楕円を描きます。



④

楕円に沿って波線を描き、
フリルをつくります。



⑤

頭の後ろ側にも布を加え、
無駄な線を消して整えます。

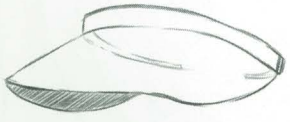


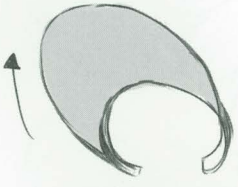
⑥

完成！



Check!





ナナメのボンネットは大きな
サンバイザーをイメージして
ください。



① ギョウザのようなものを頭に乗せ、つむじをまん中にして２本の曲線を耳に向かって描きます。



② ギョウザのヒダ部分を細かいフリルに整えます。顔の奥側にも少し裏面が見えるようにすると立体的です。



③ シワをつけて、リボンを結んで完成です。耳は隠しておきましょう。

ブリムを大きく描きたい場合



① 上に伸びる線を加えます。



② 楕円に沿って曲線をつなげて完成です。



頭部を覆うボンネットの場合



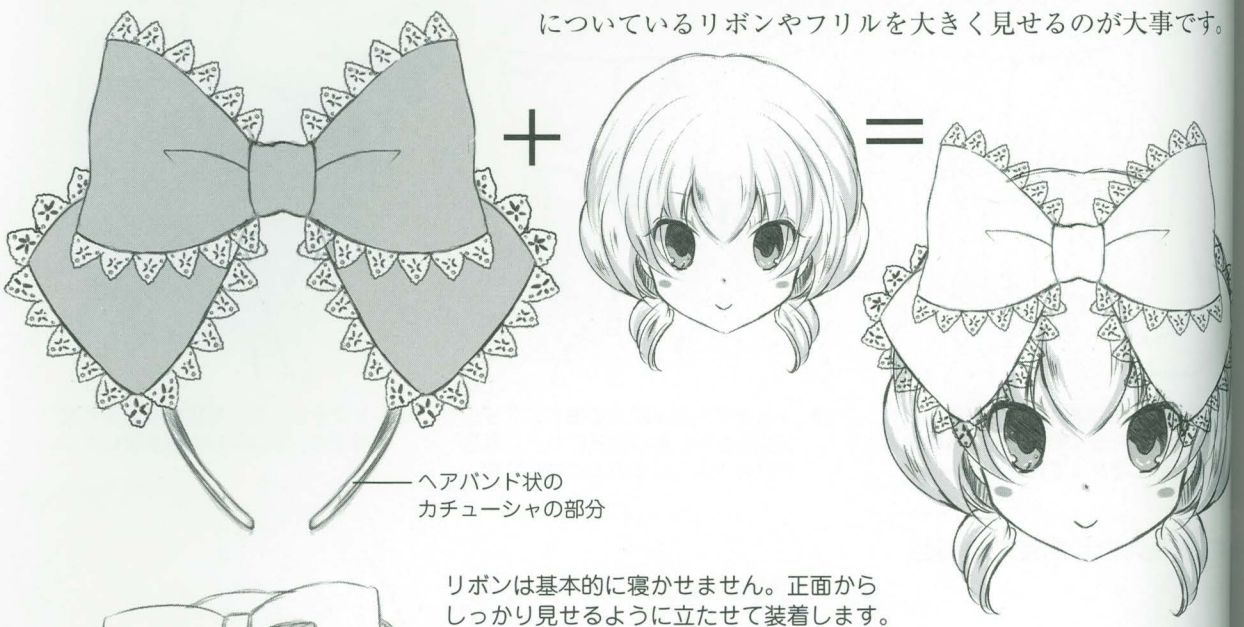
① ボンネットの後頭部を変えます。耳の下あたりからナナメに食い込み、耳まで覆うしっぽを描き加えます。



② 髪の隠れる部分を消して完成です。

リボン、カチューシャ

ヘアスタイルを飾るアイテムでは、比較的着脱が容易です。カチューシャの部分は見せないことが多く、カチューシャについているリボンやフリルを大きく見せるのが大事です。



ヘアバンド状の
カチューシャの部分

リボンは基本的に寝かせません。正面からしっかり見せるように立たせて装着します。大きさは、顔の額と同じくらいのサイズがOK。



正面から形がしっかり見え、
リボンの位置は前髪のつけ
根のま上に置きます。



しっぽは前に垂らし、
カチューシャは髪の
毛で隠します。



前過ぎ



寝かさない！
（ただし、クラシック風の場合はアリ）



小さめリボンのカチューシャを
少しナナメに２つつけます。

ミニハット

ミニハットやクラウンはま上につけず、左右どちらかに傾けてつけます。ヘアスタイルは耳下あたりのボリュームをアップさせるようなサイドアップなどがぴったりです。

ミニハット





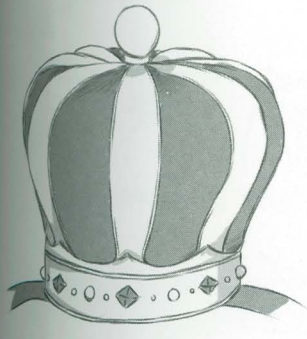
少しナナメにつけます。



ハットの両端についているリボンを結びます（ピンで留めるタイプのものもあります）。

クラウン

小さい王冠





ミニハットと同様ナナメにつけます。



ティアラ





ティアラは中央合わせでつけます。



下着

ロリータファッションでは、下着は見えないことが多いですが、こだわりのパーツです。ロリータファッションに似合うパンツはやはりレースなどがふんだんに使われたものですが、それ以外にもいろいろなデザインがあります。



水玉パンツ

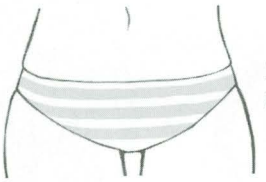
セクシー度 ☆
萌え系度 ☆☆☆
ロリータ度 ☆

ロリータファッションには健全すぎるというか、健康的すぎる印象があります。若さがあふれているので、ギャップを出したいときに効果的かもしれません。

素材：綿、やわらかい生地、伸縮性がある



端にレースや前にリボンがついている場合もあります。



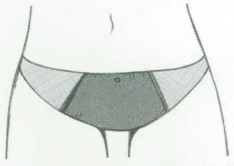
ストライプもあります。いわゆる縞パンです。

レースのパンツ

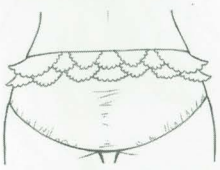
セクシー度 ☆☆
萌え系度 ☆☆
ロリータ度 ☆☆☆

ロリータならパンツもレースでふわっふわに！　ということでロリータの基本パンツ。

素材：サテン、シルク



ミニパールみたいなものがついている場合も



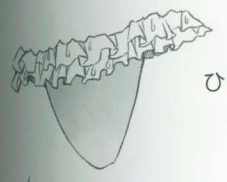
実は後ろはシンプルなことが多い(機能性を考慮している)



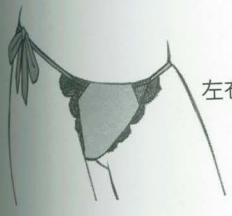
ひもパン

セクシー度 ☆☆☆
萌え系度 ☆
ロリータ度 ☆☆

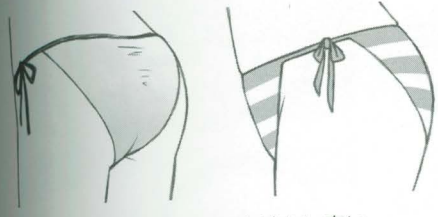
中央の段部分以外はひもというセクシーさあふれるパンツです。見せパンにしたいならこれかも！　ロリータの中でも、ゴスロリ狙いならイチオシです。



ひもがゴム製のもの



左右でひもを結ぶもの



後ろは前に比べて面積が少し広い

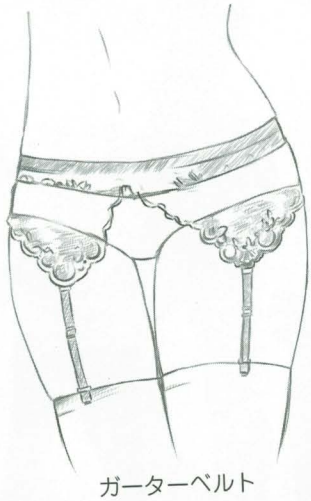


ガーター

ストッキングや靴下がずれるのを留める役割をします。ガーターリングとガーターベルトの２種類があり、どちらも機能性を重視してというよりも、ファッション要素として描かれることが多いです。



ガーターリング



ガーターベルト



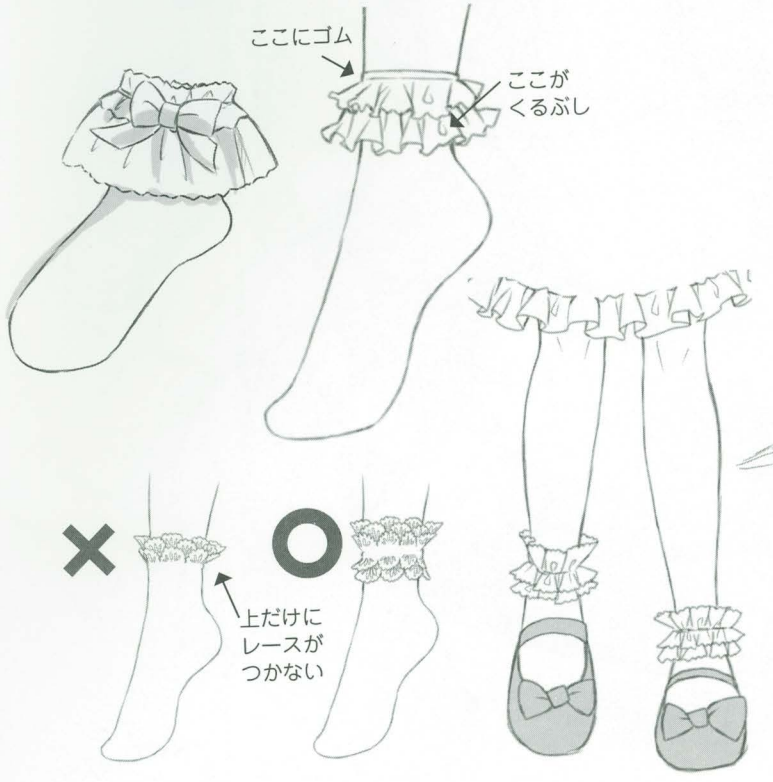
座るとソックスを吊っているストラップはゆるみます。

ソックス

長さによって、ショートソックス、ハイソックス、ニーハイに分かれます。主流はニーハイですが、スカート丈に合わせて選ぶのが◎。

ショートソックス

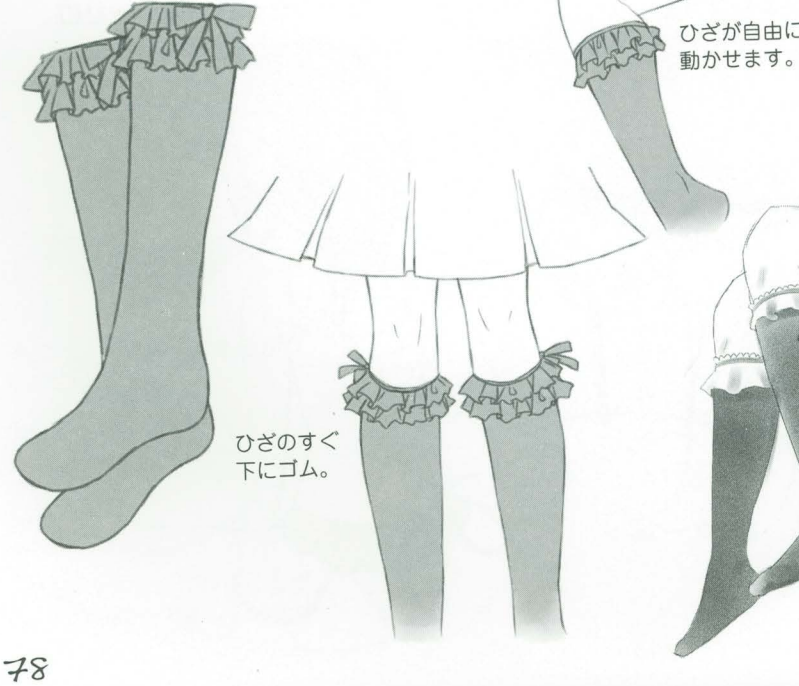
はくのは、もっぱら甘ロリの場合。くるぶしの少し上までの丈で、くるぶしを覆うようにレースがついています。





ハイソックス

ひざ下までの丈。スカートが少し長めの場合や、靴下のトップについているレースや飾りを見せたいときはわざとチョイス。



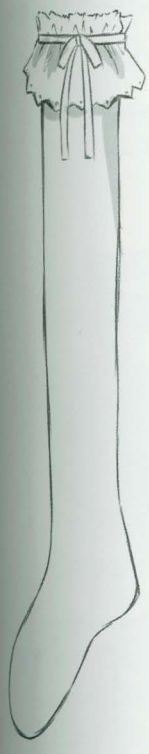


す。主流はニー

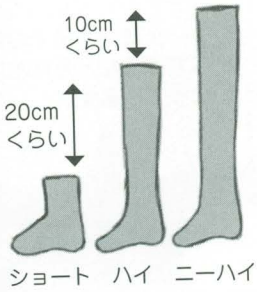


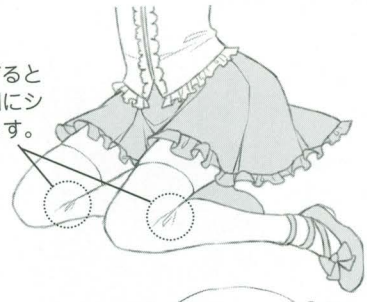


ニーハイ ひざ上までのソックス。ひざが覆われている分、動きに制限ができます（ただしロリータイラストでは無視されることも多い）。ロリータはミニスカートではないので絶対領域はつくりづらくなります。

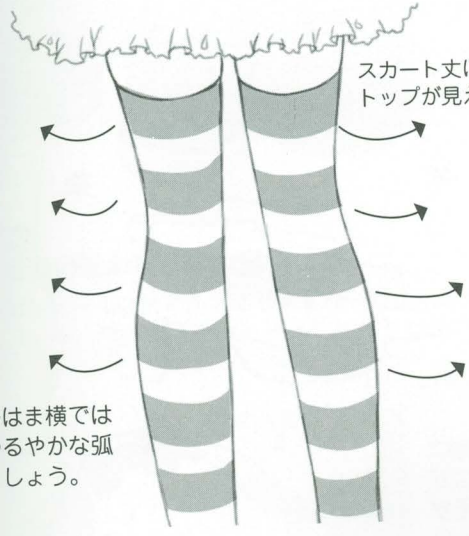


ソックスの長さ比較





ひざを曲げると
足の後ろ側にシ
ワができます。



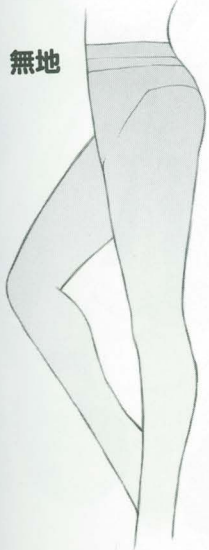
スカート丈によっては
トップが見えません。

ボーダーはま横では
なく、ゆるやかな弧
を描きましょう。

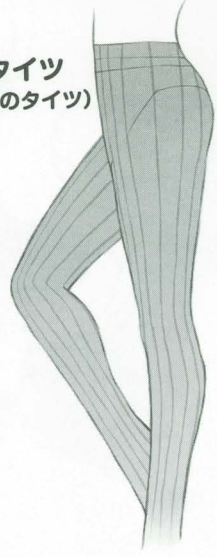


タイツ タイツは模様つきのものもかわいいです。リボンの模様や幾何学模様などが施されています。網タイツはセクシーになりすぎるので、ロリータにはあまり似合いません。

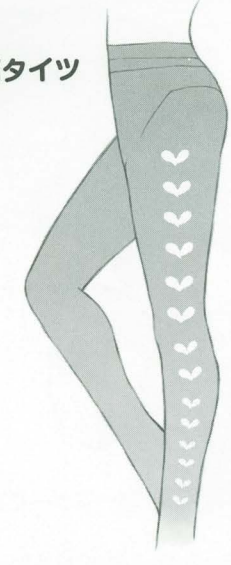
無地



リブタイツ
（リブ編みのタイツ）



柄タイツ



タイツは腰までを
覆うので、パンツ
も見えません。

靴 甘ロリ

甘ロリのパンプスには基本的にストラップなどがついています。高さもゴスロリヒールに比べると低い場合が多いです。



ロリータ靴は、足先のほうがかかとに比べて横幅など全体的に大きなつくりになっています。



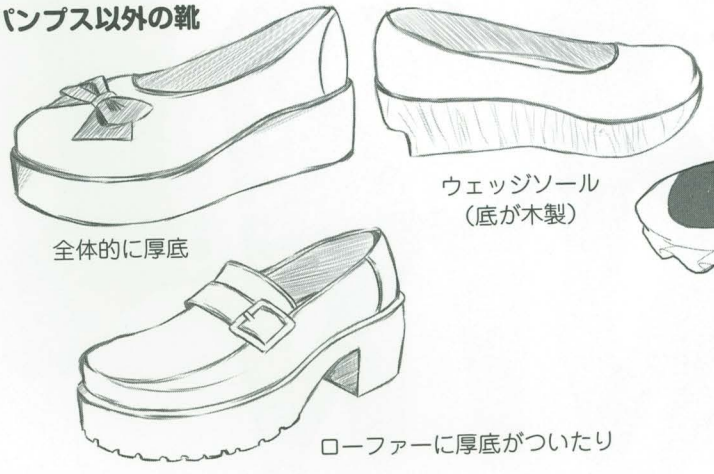


Check!



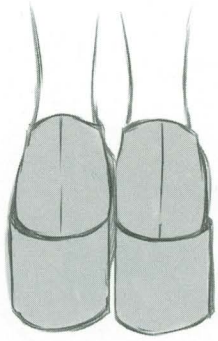
ロリータ靴は全体的に厚底のつくりのものが多いです。理由は足が長く見えるから、というのと靴を大きくすることによって相対的に体を小さく見せようとしている……などいろいろな理由はあるようです。

パンプス以外の靴



ゴスロリ ゴスロリのパンプスは、チェーンや刺繍などが施されているものも多くあります。ヒールの高さは4.5cm、9cm、11cmなどパターンがあり、最高では15～20cmなんてものも。ただし、ロリータイラストを描く場合には、あまり高すぎると不恰好なので、高くても10cmくらいがベターです。





ゴスロリ靴は、甘ロリ靴に比べて、少し大きめのデザインになっています。チェーンなどの装飾も甘ロリ靴に比べて派手なものが多いです。

ロリータ靴と普通の靴のヒールの違い

ロリータ靴ではピンヒールはほとんどありません（理由は大人っぽく見えるから）。また、ヒールが高くてもハイヒールに比べて安定感があります。





普通のパンプスは先細りでつくられていますが、ロリータ靴は足よりも大きな形です。



厚底靴はヒールが高く見えますが、実際にはハイヒールに比べるとそんなにしんどくないのです。



ブーツ

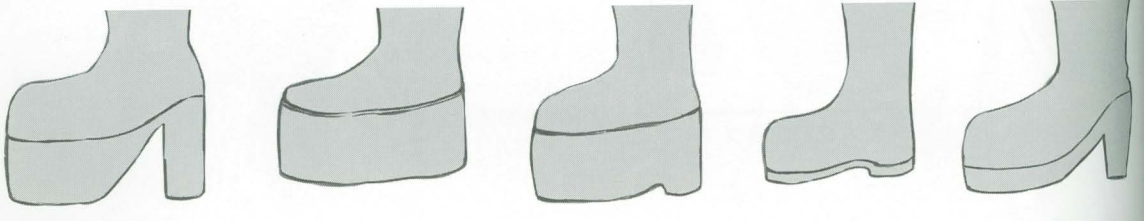
ブーツは長さによってショートブーツ、ロングブーツと分類されます。ロングブーツを描く場合は、足の太さがくずれないように注意しましょう。



ヒモで編み上げていますが、実際は
内側のファスナーで着脱します。



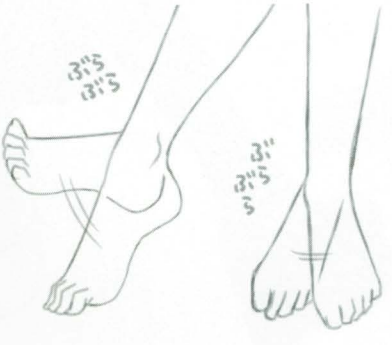
ヒールの種類

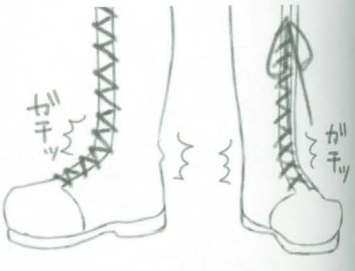


Check!

ブーツと足首の動き

ブーツをはいていると、普通の靴に比べて足の自由度が格段に落ちます。
常にL字型に固定されているので、ブーツのヒモと足首の動きに注意しましょう。



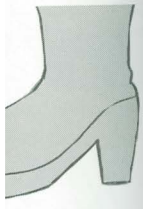


ブーツをはくと足首が固定されて
動かなくなります。

描く場合は、







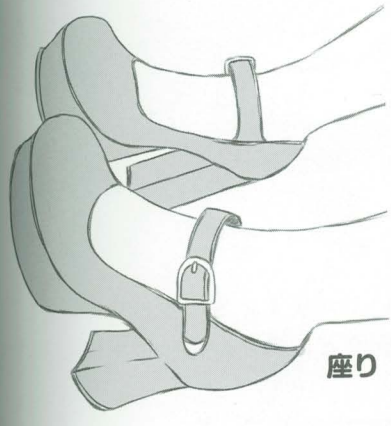


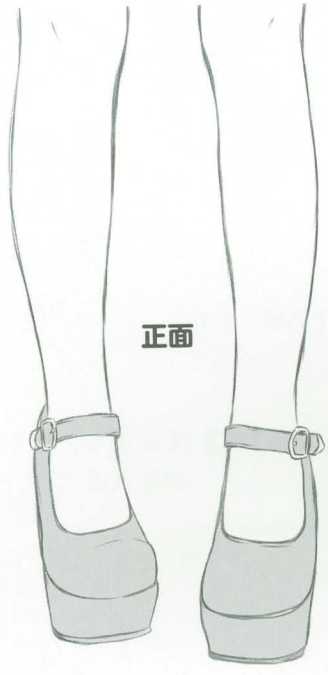
が固定されて

ロリータ靴をいろいろな角度から見てみる















カーディガン、ボレロ、ケープ

カーディガン シンプルなブラウスの上に羽織ります。肩周りがあっさりしているときはカーディガンでゴテゴテさせます。機能性よりも見た目重視。



ゆったりとしたつくりなのでウエストも隠します。





ボレロ 丈が短く、前が開いています。着くずれすることなく羽織れるので、胸元などに飾りがあっても安心です。



ケープ 肩から胸元を覆うマントのような形状です。そのまま上から羽織れるので服が乱れません。赤ずきんちゃんのずきんのイメージです。



後

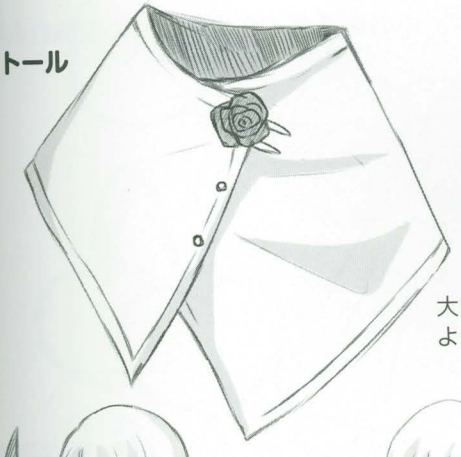


横





ストール



大きな布を巻きつけるように着ます。





背中をカバーして左右の布を手前にもってきます。



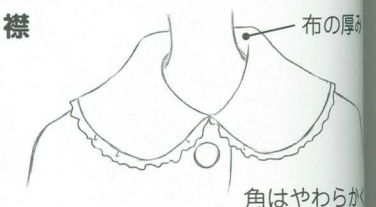
冬のファッション

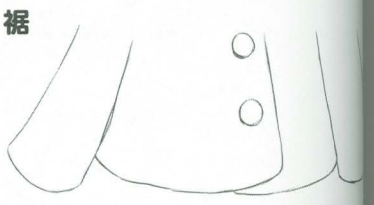
コート 寒い冬はコートが必需品です。ロリータコートは、ワンピースなどと同じくハイウエストなつくりになっているものが多く、裾もスカートのように広がっています。

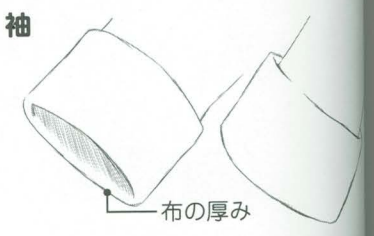




布地の厚みを
意識します。







マント 肩からひざ上あたりまでをすっぽりと覆います。中の服を着くずすことなく羽織れるロリータならではのコートです。



首元はファーがついていたり、
フードになっています。







手を広げるとこんな
感じです。ゆったり
としたデザインでつ
くられています。

細い線をはねるように外に向けて描いていきます。肌ざわりのよさそうなふわふわな感じがでます。

小さな丸い曲線をつなげていく描き方。もこもこした感じになります。

とがらせるように描きます。少し固そうですが、色を塗るときには適した描き方です。

第2章

ロリータファッションの魅せ方

洋服のパーツごとのしくみや構造がわかったら、実際にロリータファッションのイラストを描いてみましょう。ここでは、ロリータファッションの着方を紹介し、１章のファッションパーツをどういうふうに着ていくのかを見ていきます。また、ロリータファッションを描くために欠かせないお約束から、いろいろなポーズでスカートやフリルを描いてみましょう。



ロリータファッション着用次第

ロリータファッションのパーツは、単体で見てもかわいらしくできているので、着替え途中でも絵になるのがいいところです。着替えの途中に、違った表情を見せることができます。





見せブラをしたいのならかわいいストラップのブラジャーを選びましょう。

肩を出したり、オフショルダーのワンピースの場合などは、ブラをつけていると見た目にも邪魔だったりするので、ノーストラップのブラをつけてもいいでしょう。まん中のホックで固定する、カップのみのブラジャーです。



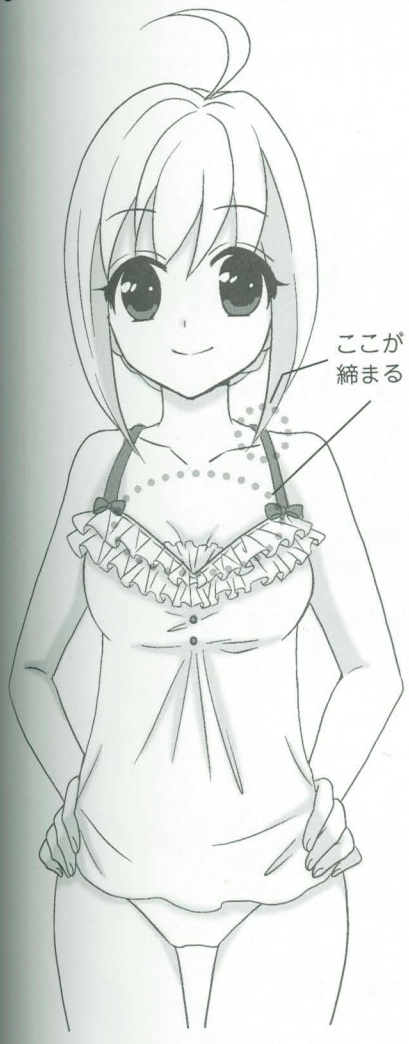


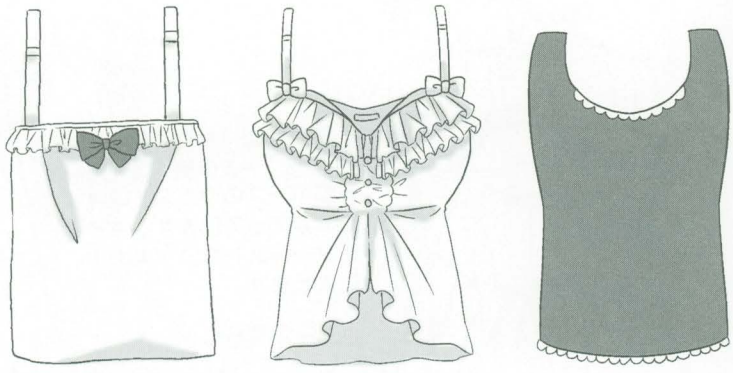
Check!

ロリータファッションはどんどん着飾っていくので、見えないところから身に着けていきます。表に出て見えるところは最後で、着くずれしないことがポイントです。

①キャミソールを着ます

下着、ブラジャー、キャミソール、ロリータの場合は、どれをとってもフリルやレースがついています。見えない部分もしっかりとおしゃれするのが、ロリータファッションの極意です。





キャミソール

キャミソールはドロワーズをはく場合には短めが良いです。パニエしかはかない場合は腰回りがごわごわするので（パニエの生地が固めの合成繊維の場合）、長くても良いかもしれません。

シミーズ

シミーズは薄い生地の長めのタンクトップです。かわいらしいデザインが多く、下着と組み合わせても単体でもロリータらしさを演出できます。長さはウエストからお尻が隠れるくらいです。フリルやレースがついています。



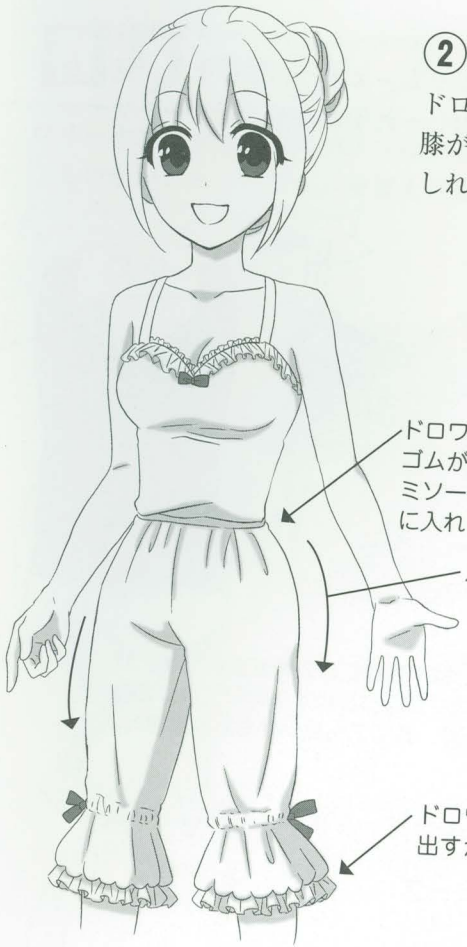
シミーズは薄いので、
若干透けてる感じです。



**ここまででも
しっかり
ロリータ**

②ドロワーズをはきます

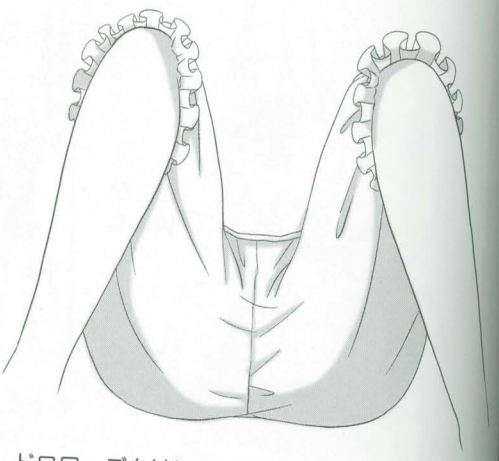
ドロワーズと靴下はどっちが先でも構いませんが、ニーハイをはくと膝が動かしにくくなるため、先にドロワーズをはいておくといいかもしれません。



ドロワーズのウエストにはゴムが入っています。キャミソールはドロワーズの中に入れます。

ふくらむ

ドロワーズの丈はスカートから出すか隠すかで変わってきます。



ドロワーズをはいているとパンツは透けません。

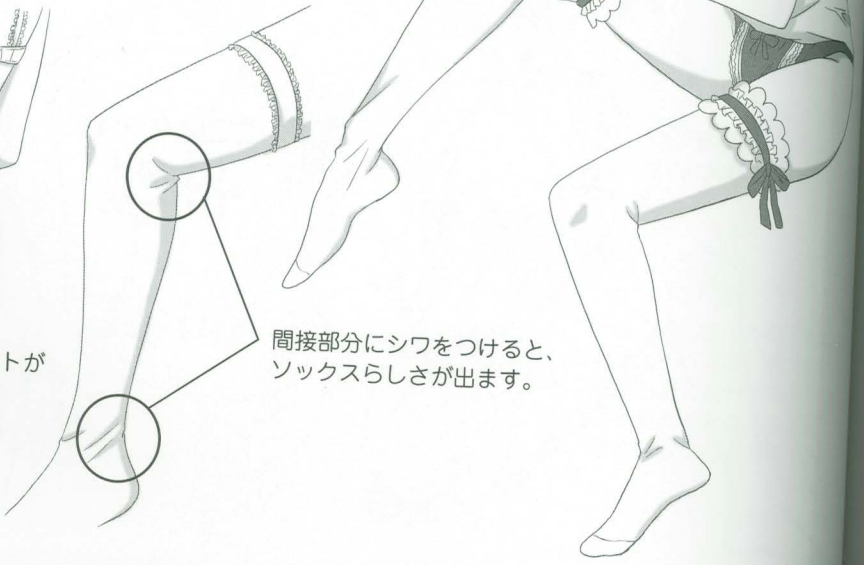
③ソックスをはきます

ハイソックス、ニーソックス、ストッキング、どれにしても生地は薄めです。描くときには足のラインに沿って、ぶかぶかにならないようにします。

ニーハイをはく場合は、ずり落ちないようトップの締めつけも強めに、ぷにっと感を表現しましょう。また、ニーハイをはくとひざが布に覆われてしまうので、動きにくくなります。



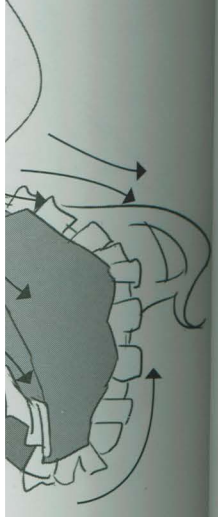
ガーターをつけていると、ベルトが太ももに沿って曲がります。



間接部分にシワをつけると、ソックスらしさが出ます。


ボタンはすべて
留める
ここまででも
しっかり
ロリータ
姫袖の場合、腕を
曲げるとひじ部分
までずり落ちます。

アーの場
地面につ
から房ご
描くよう
ます。



寝そべりとスカートの広がり

足を曲げる寝そべり

髪は放射線状に
広がります。

足を曲げるのでスカートも引っ
張られます。シワも引っ張られ
た流れに沿ってできます。

スカートは円形になる
ように広がります。

あお向けに寝そべると髪の
毛が縦横無尽に広がります。

あお向けの寝そべり

スカートは円形に
大きく広がります。

イラストならではのロリータファッション

イラストの場合では、実際には着れないようなデザインの服でもロリータファッションならではのデコレーションで画面を華やかに見せられます。フリルを重ねたり、リボンをたくさんつけたりしてオリジナルロリータファッションをつくってみましょう。



自分の体よりはるかに大きなスカートと、中にはたくさんのフリルが隠されています。リボンも大きめにあしらい、アクセントの役割を果たしています。



フリルが段状になったスカートで、中にクリノリン（スカートをふくらませるための骨組み）を身につけているようなきれいな形を保っています。



スカートを何重にも重ねて、フリルのようにまとめています。キャラクターの身長よりもずっと大きいですが、ジャンプポーズなら自然に見せられます。

間違ったロリータ服の添削

ロリータ服はそのつくりが複雑なので、つい見栄え重視でフリルやスカートを盛って描いてしまいがちです。しかし、服の構造を知っていると、そのような間違いを防ぐことができます。



スカートをつまむとパニエまで一緒に浮き上がっています。

つまんだ部分が不自然にボリュームが大きくなっています。

つまんだ部分とそれ以外のスカートの長さが異なっています。



①スカートと分離させます

②ボリューム調節

③スカートの長さを統一します。

完成！

な服にロリータ、和服にロリータなど、ちょっと意外な組み合わせが面白い味を出すかもしれません。

カートとパニエを離させます。



②ボリューム調節





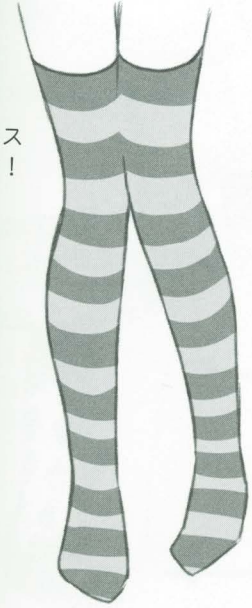
髪型



おさげ



髪はおろして
ふんわりさせます。



靴下
ニーハイソックス
でアクセントを！



完成！

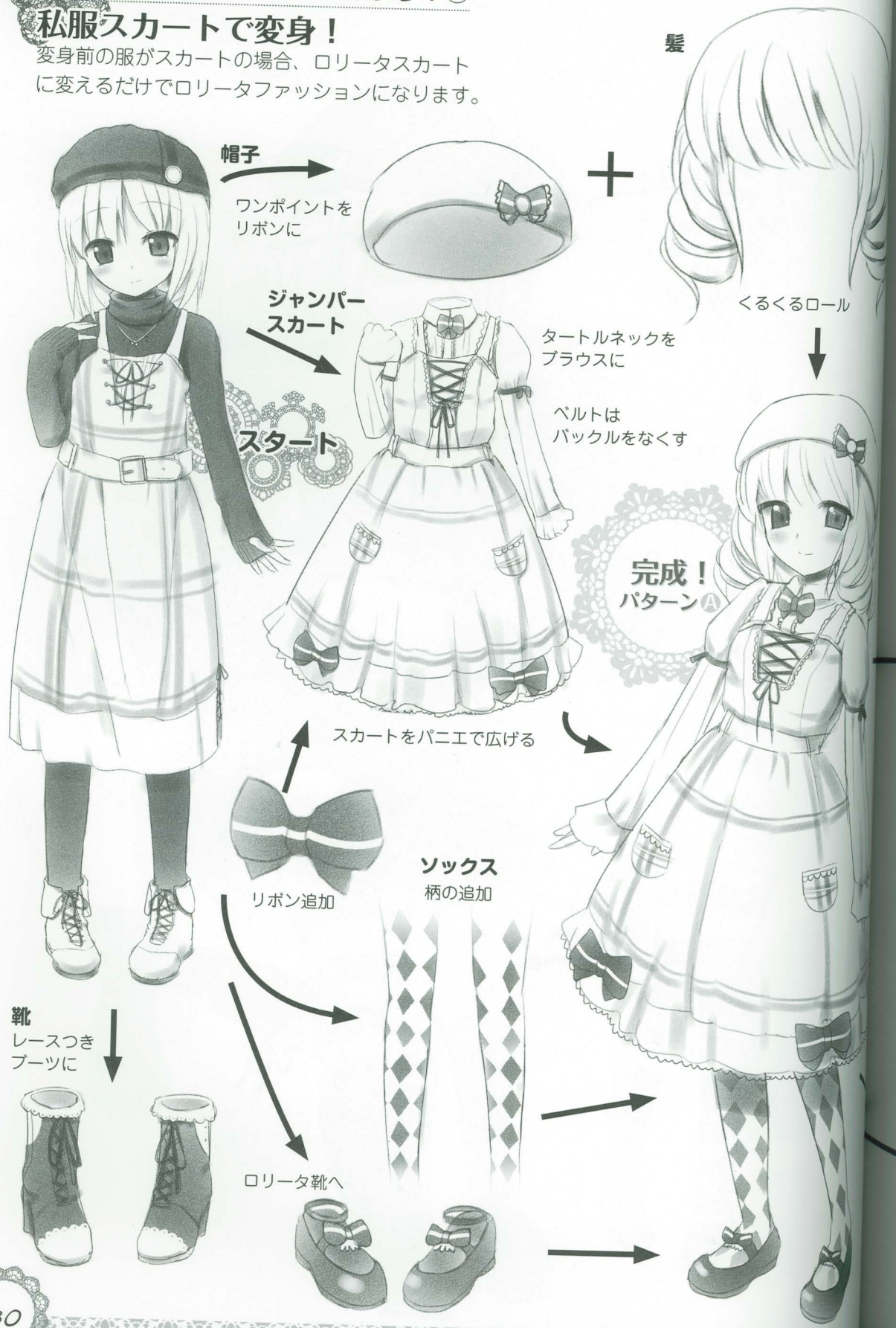
おまけ

フードを被っても
かわいい！

普通の服をロリータ化してみよう！④

私服スカートで変身！

変身前の服がスカートの場合、ロリータスカートに変えるだけでロリータファッションになります。





ネック部をチョーカーに



ケープを追加

帽子 小さくして
リボンをたらす



髪

おさげ追加



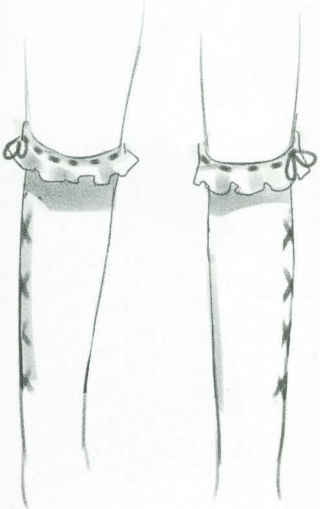
完成！
パターンA



ポケットを
リボンに

**ジャンパー
スカート**
少しスカートを短く
広げてエプロン風に

スカートの丈に
合わせてニーソ化



ソックス
柄を控えめに
して代わりに
フリル追加

普通の服をロリータ化してみよう！⑤

着物で創作！

着物とロリータの組み合わせは、一見合わなさそうに見えますが、実は相性抜群！　直線的な着物のラインにロリータの曲線的なラインを加えて、面白い創作ファッションが完成します。





Ⓑ 髪に大きなリボンをつける



Ⓐ カチューシャ



襟元もフリル



Ⓑ 帯をリボンに



Ⓐ コルセット



袖にフリルを追加





Ⓐ スカートをプラス



ブーツに変更




着物のような直線
ラインの上着に。
完成！
ソックス＆靴
ロリータの厚底と
ショートソックス
足袋と下駄デザイ
ンの厚底サンダル
に変更します。

髪



新規レイヤーをつくり、髪の下塗りレイヤーに乗算にして、髪の流れを意識して、大雑把にカゲを入れていきます。

Check!
髪のカゲは細かく入れすぎない！

大雑把なカゲを削ったりつけ足したり、細かいカゲをつくります。







カゲの色を「色調補正」で髪の毛になじむ色に変えます。そして髪の毛全体にグラデーションを入れます。グラデーションを入れると、髪に立体感が出るような気がします。





顔周りの肌にかかる髪は肌色を加えて、髪に透明感を出します。新規レイヤーをつくり、顔の周りに地の肌の色を塗り、ぼかして不透明度を 80％にします。こうすることで顔の周りが明るくなります。



髪の毛のカゲにグラデーションをつけます。多少髪の毛の色と違った色を加えると鮮やかに見えます。今回は少し緑色を加えました。

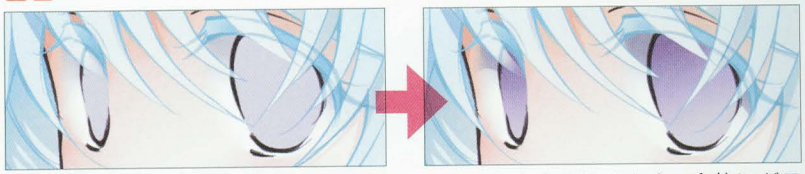
顔

まつ毛



まつ毛は全体にやや濃いめにグラデーションをつけます。

白目

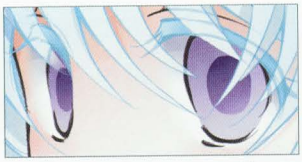


白目のカゲは、瞳の色に似た色でつけるとなじみやすくなります。全体にグラデーションを乗せ、次に丸い眼球にまぶたのカゲが落ちるのを意識して、丸くカゲをつけます。

目



1 上から下にグラデーションをつけます。



2 濃い色で丸く瞳孔を描き、こちらにもグラデーションを加えます。



3 深みを出すために、さらに瞳全体にグラデーションを加えます。



4 まぶたによるカゲを丸くつけます。



5 適当な色で下からグラデーションを加えます。



6 合成モードを「発光」にします。



7 「色調補正」でお好みの色に変更します。



8 適当な色で下に大きく楕円を描きます。



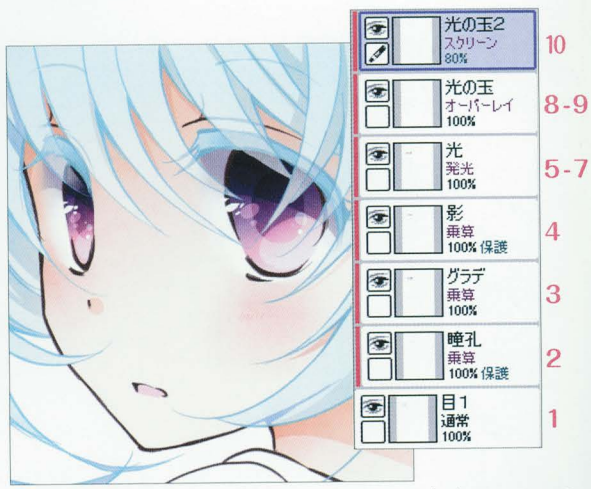
9 合成モードを「オーバーレイ」にし、「色調補正」でお好みの色に変更します。



10 さらに合成モードを「スクリーン」、不透明度は80%で細かい光の玉を描きます。



11 最後に光を加えます。菱形の光を細かく加えると、宝石みたいな輝きに見えます。



これで目の完成です。手順ごとにレイヤーを加えているので、こんな感じです。

頬



頬を染めます。まず、主線をピンク色にします。



新規レイヤーをつくり、乗算をかけ、頬にかかるように円を描きます。

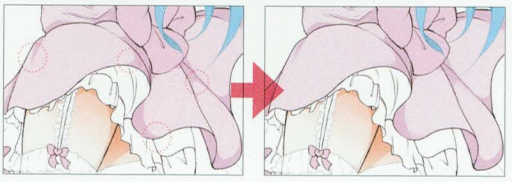


ぼかして肌になじませます。

ワンピース



スカートがふわりと舞い上がっているように、カゲは丸く入れます。



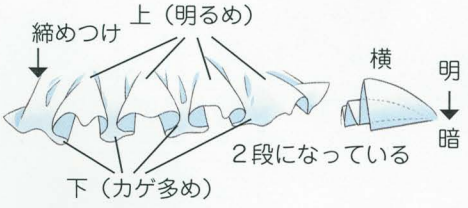
布のやわらかさを出すために、ところどころカゲにぼかしを加えています。



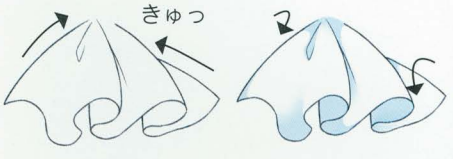
奥行きがあるところにグラデーションを入れます。ワンピースは全体的にシンプルで、カゲを塗りすぎないようにしています。

フリル

フリルは布の上部を締めつけてシワをつくるので、全体的に丸く、やわらかくできています。その際、カゲやグラデーションで明暗をつけると立体的に見えます。







上に引っ張って締めつけているので、直線的にカゲをつけるより、丸みをつけたほうがやわらかく見えます。



左のカゲのつけ方を意識して、フリルにカゲをつけていきます。



立体感UP！

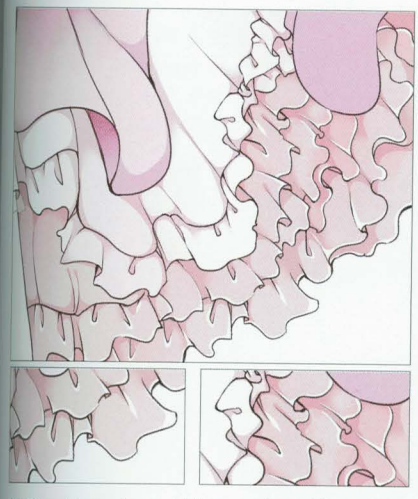
ぼかしを加えてやわらかさを出します。光が接する部分は、照り返しのハイライトを入れます。



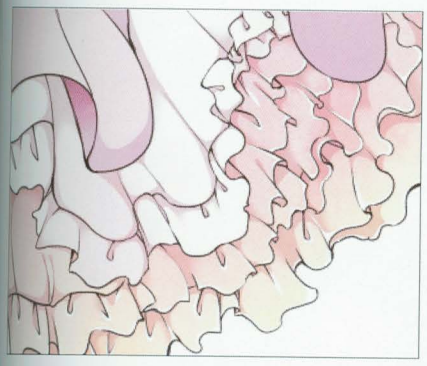
白いフリルですが、ワンピースの色となじませるように、淡いピンク色のグラデーションを加えます。



奥行きを出すために、大きなカゲを入れます。これによって、フリルの表面と裏面がはっきりしました。



新規レイヤーをつくり、ハイライトを入れます。フリルの先やシワのラインに沿ってつけます。



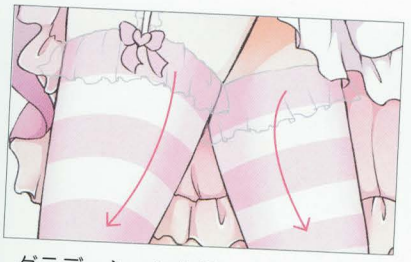
カゲにグラデーションを加えます。色鮮やかにするために、今回は黄色を入れてみました。



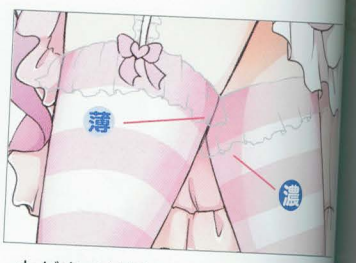
ソックス



ストライプを加えます。立体感を加えるために、曲線でつけます。



グラデーションも足の丸みを出すために丸くつけます。



カゲをつけ足し、グラデーションを加えます。重なりを意識します。

レース



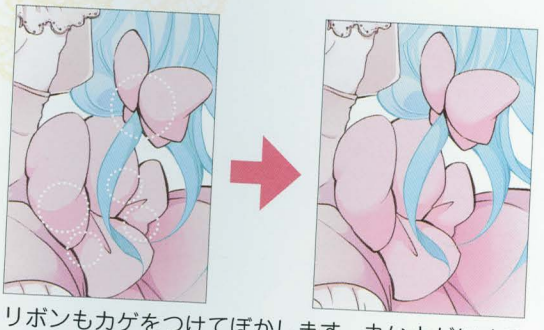
レースはとにかくやわらかくふんわり！　ということで線画の色も変え、カゲも薄めにぼんやりと塗る程度にぼかしておさえます。

ハイライト



髪にハイライトをつけます。白で、髪の流れに沿った短い曲線をちょこっと描きます。

リボン



リボンもカゲをつけてぼかします。丸いカゲにするのがポイントです。



リボンに下からの濃いグラデーションと、フリルと同じような色（この場合は薄い黄色）を上から加えて、ひと通りの色塗りは終了です。



仕上げ（作業環境：Photoshop）

全てのレイヤーを統合

作業A 統合したレイヤーを複製

作業A 複製したレイヤーを ぼかし（ガウス）

作業B レイヤー設定：ソフトライト 不透明度：30%

作業C グループ化して統合

レイヤーを統合

作業A' 統合したレイヤーを複製

作業A' 複製したレイヤーを ぼかし（ガウス）

作業B' レイヤー設定：通常 不透明度：10%

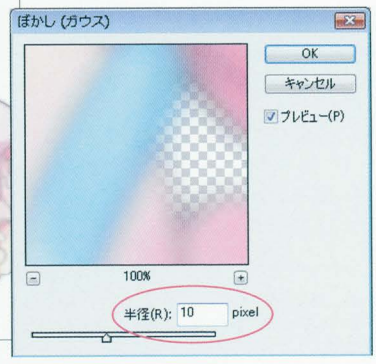
作業C' レイヤーを統合して完成

ここからPhotoshopに移行して仕上げに入ります。仕上げでは主に似た工程を2度くり返します。手間はかかりますが、くり返すことで光の濃さなどの微妙なさじ加減を節約できます。

作業A 作業A' ぼかし（ガウス）



複製したレイヤーをぼかすとこんな感じです。このふんわり感を重ねることで、ふわっとした仕上がりをつくります。



作業B レイヤー設定：ソフトライト／不透明度：30%



先ほどのレイヤーモードをソフトライトに変えると、ぼかしがやわらかい光に変わります。

作業B' レイヤー設定：通常／不透明度：10%



微差ですが、同じ作業をくり返して全体にやわらかみを増して、完成です。





目覚めた先に、
あなたがいて……。
hiroe



はろーれでぃ！
平坂イネ


天使と悪魔といたずらペット
玉之けだま


Rosette
にもし



オリーブのきいろと赤い華
たはるコウスケ


イチゴ
紺野賢護


秘密のお部屋
さがのあおい


うさぎさんといっしょ
森山ししみ

絵師のワンポイント講座

フリル

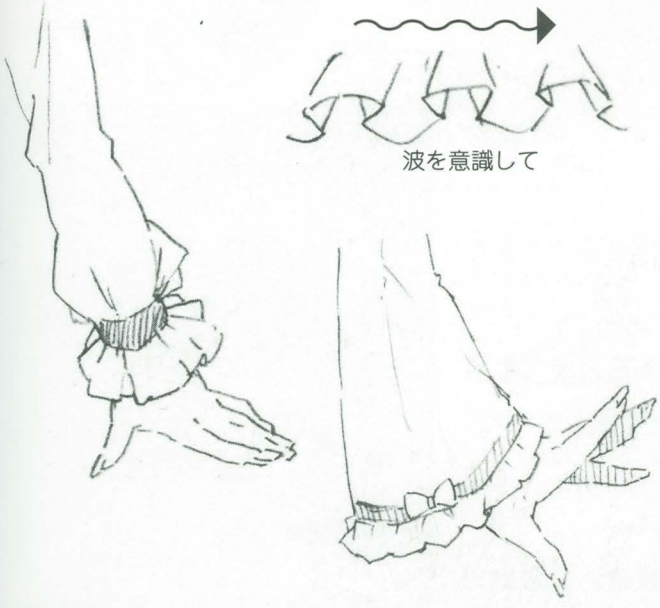
フリルは何よりやわらかさを出すことが重要です。360 度以上布があることを意識すると良いと思います。





袖口

スカートと違って袖口は小さめで描くのがちょうどいいと思います。



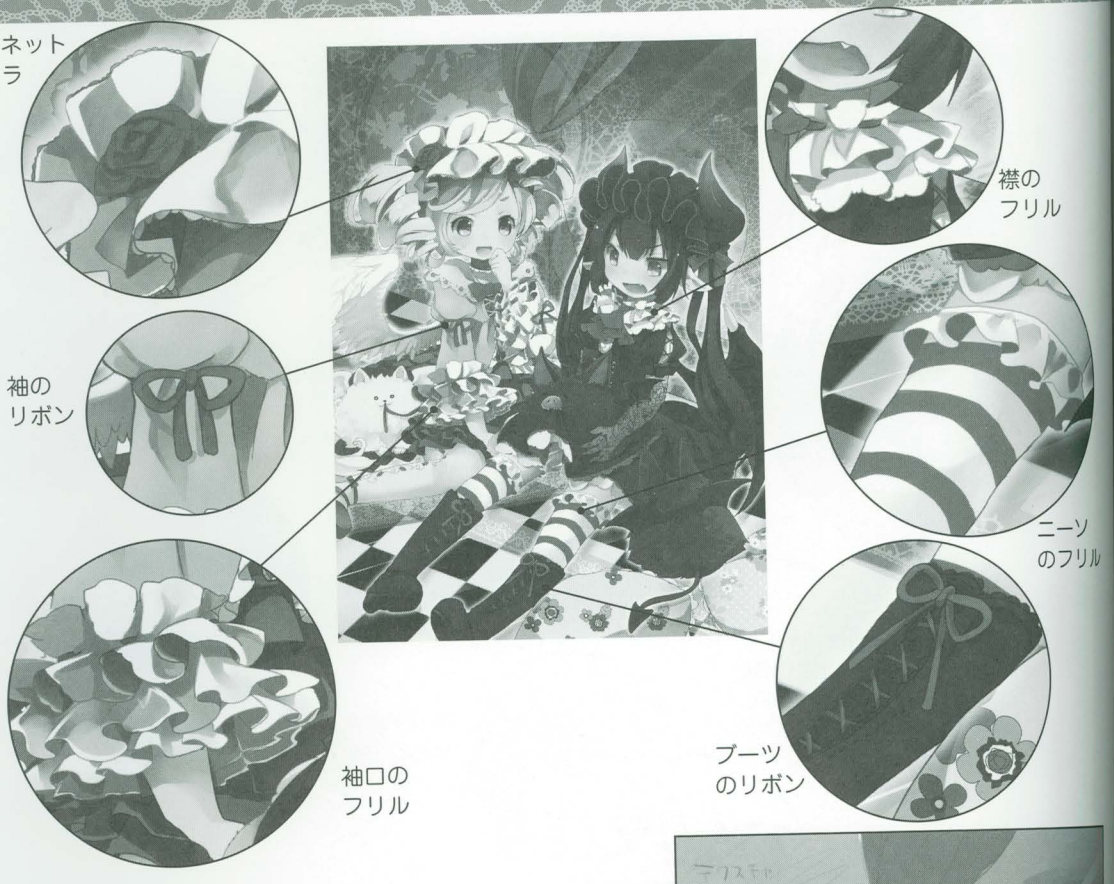


ひとこと

服装をあれこれ考えるのが最近の趣味なのでとても楽しかったです。
ありがとうございました！

Title
天使と悪魔といたずらペット

Illustrator 玉之けだま



イラストのポイントは？

天使は甘いクラシカルロリータ、悪魔は辛いゴシックロリータ風に仕上げました。

ロリータを描く上で気をつけていることは？

線画…フリルは根気で！　フリルが多い場合はフリルだけ別レイヤーにしています。

塗り…細かくて個々の面積が狭いので、カゲはわかりやすく高コントラストで塗っています。

4つのテーマのうち、一番描きやすい（好き）なのはどれですか？　また理由は？

まだまだ修行中ですがフリルが好きです。汎用性が高くて、いろんなところに使えますからね！　もっと使えるフリルの幅を増やしていきたいです。



絵師のワンポイント講座



ラフを起こして

イラストを制作するに当たって

やったりやらなかったりな作業です。人数が多い、背景がある、パーツが多いときは、先に色ラフを作成すると、塗る前に全体のバランスを決めることができるので、やってみるとはかどりますよ！



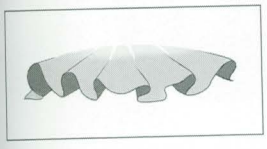
おおまかな色ラフ

個人的フリルの塗り方

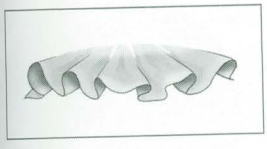
pixiv などで、フリルの描き方はチラホラ見かけますが、塗り方の補足は少ないかなあと思って作成しました。



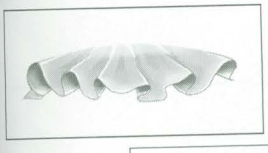
①フリルを用意します。



②色分けをします。
表の生地と裏の生地をレイヤー２枚に分けておくと便利です。

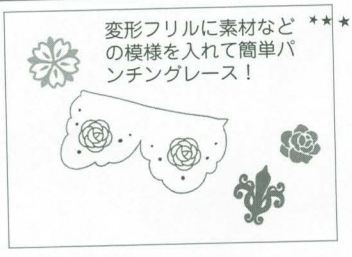


③カゲを入れます。
表生地の先端にハイライトを入れ、ヒダを意識してカゲを入れます。裏生地のめくり返る部分にハイライトを入れます。



④仕上げ
境界線の部分に強いハイライトを入れます。線画の色をフリルになじむ色に変更して完成です。





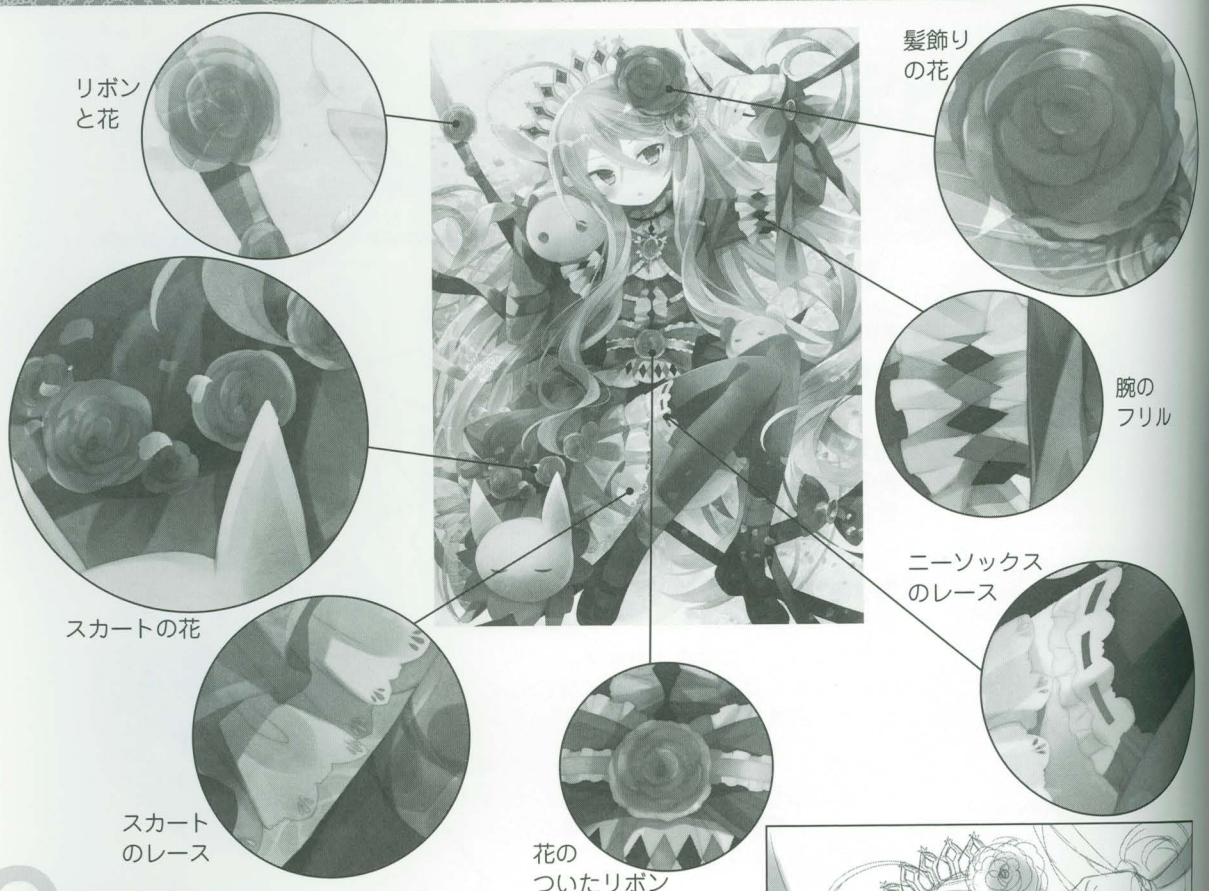


ひとこと

お読み下さりありがとうございます。フリルやレースなどは見ているとわくわくしますね。描くのも、塗るのも、本当に大変なパーツですができ上がると達成感もひとしお大きいモチーフです。絵をかわいく仕上げてくれる、頼もしい縁の下の力持ちなので、フリルちゃんやレースちゃんとはこれからも仲良くしていきたいです。

Title
Rosette

Illustrator にもし



イラストのポイントは？

いろんな形のフリルをもり込んだところです。

ロリータを描く上で気をつけていることは？

線画…全体的にやわらかい線を描くように心掛けています。
塗り…服がゴテゴテしており線が多めなので、密度が詰まりすぎないように、塗りを細かくしないようにしています。

4つのテーマのうち、一番描きやすい（好き）なのはどれですか？　また理由は？

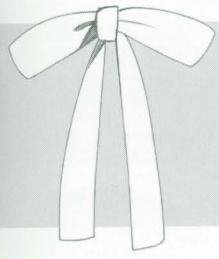
リボンです。デザインにも加えやすく、さまざまな形があり描いていて楽しい小物のひとつです！



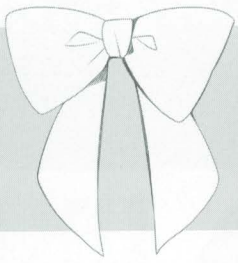
ラフ

絵師のワンポイント講座

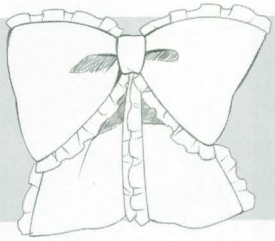
リボンにはさまざまな形があり、着こなしで感じる印象もさまざまです。私がよくイラストで用いることが多いリボンをまとめてみました。



シンプルな形のリボン。クラシックな服に用いることが多いです。大きすぎず圧迫感がないので、清楚なキャラや大人しめのキャラに合わせるといいかもです。



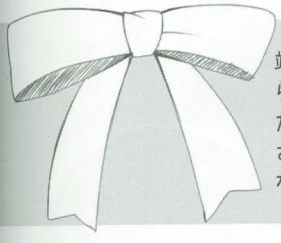
大きめのリボン。幼女や少女の髪を結んだところや胸元に置くことが多いです。



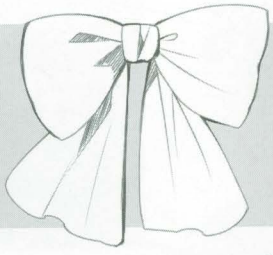
大きめフリルをあしらったリボン。いかにもロリータなリボンな気がします。ひとつでかなり存在感があるので、使いすぎると画面がごちゃごちゃになりやすいです。多用しすぎないよう心掛けています。



紐を結んだタイプのリボン。メインよりもサブでちょっとしたアクセントに使うことが多いです。



端が切れているタイプのリボン。垂らしている部分が短いとすっきりした見栄えになるような。リボンの長さで印象が変わります。ストライプなど柄つきでもかわいいかと。



薄い布地のリボン。かわいいというよりもきれいなイメージ。大人っぽいキャラに用いることが多いです。

使用例としてふたりキャラを描いてみました。



キャラのタイプに合わせてリボンもさまざまなタイプから選びつつデザインしましょう！感じる印象も変わってきますよ！



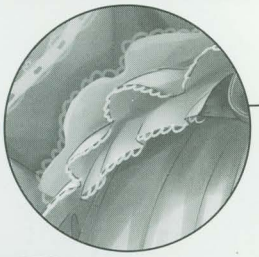
ひとこと

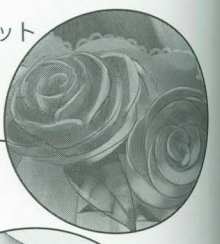
ロリータファッションの女の子ということで、できるだけ華やかな絵にしたいなと思い、人物メインでピンク色をふんだんに使ってみました。
ロリータイラストは赤色で描くことが多いので、青でもいつかちゃんと描いてみたいです！

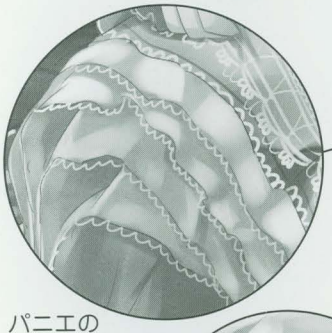
Title
オリーブのきいろと赤い華

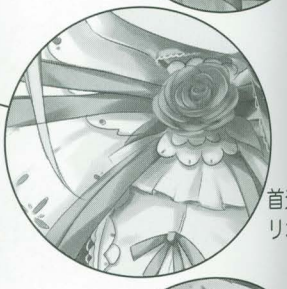
Illustrator たはるコウスケ

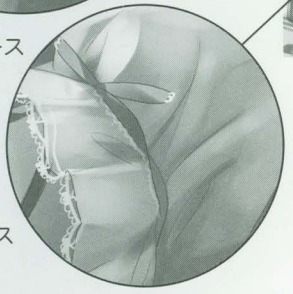


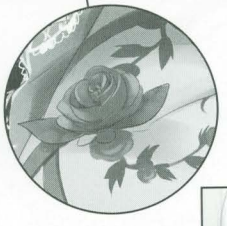

ボンネット
のフリル

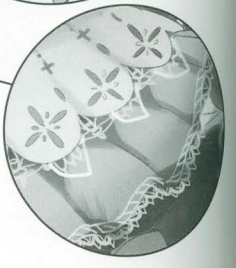

ボンネット
にバラ


パニエの
フリルとレース


首元の
リボン


ドロワーズの
フリルとレース


白タイツ
に花模様


スカート
のレース

イラストのポイントは？

Q&A

レース追加できそうな部分には追加すること。

ロリータを描く上で気をつけていることは？

Q&A

線画…キャラは曲線が多くなるので、背景は直線多めでメリハリをつけます。
塗り…服や背景をこてこてにしても、やっぱり顔が一番目立つよう全体のバランスに配慮してます。

4つのテーマのうち、一番描きやすい（好き）なのはどれですか？　また理由は？

Q&A

レース。パターンさえ掴めばあまり労力を使わずに描き込んだ感じが出るので重宝しています。

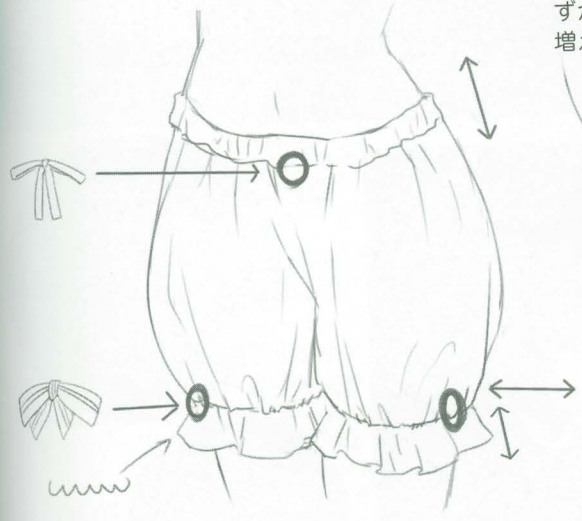


ラフ

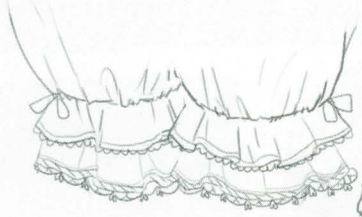
絵師のワンポイント講座

ドロワーズ

1960年代後半、ミニスカートの流行と共に消えていったドロワーズ（当時はズロースと呼ばれていました）ですが、ロリータファッションと萌え要素として現代に蘇りました。またスカートがふんわり広がり、かわいい上に見えても恥ずかしくないということで、スカートの下に着用する人も増えているようです。



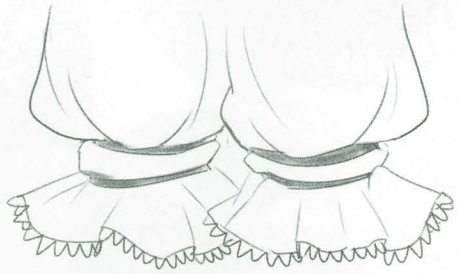
ドロワーズのアタッチメントは自由自在！　リボン、フリル、レースの追加や延長などなど……。絵に合わせて好きなようにカスタムしましょう。



フリルとレースの追加



丈を短くしてかわいらしく。

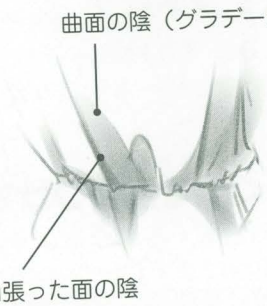


ギャザーをヒモでしばる形に

陰影

ドロワーズだけでなく、女の子の心と体を優しく包み込むロリータファッションのふんわり感を出すことはとても重要です。線画と陰影（カゲ）を的確に使いましょう。





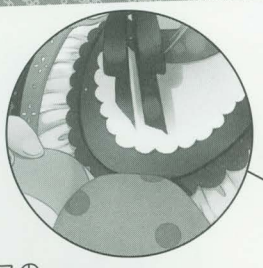
ひとこと

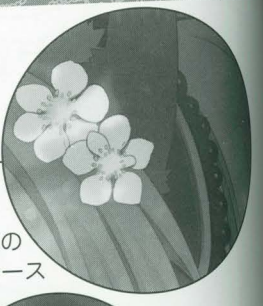
ロリータファッションの要素って萌え界隈に深く浸透していますよね。女性はもちろん、男性にとっても内にある乙女心を刺激されるのだと思います（笑）。すごく不思議で魅力的な存在です。

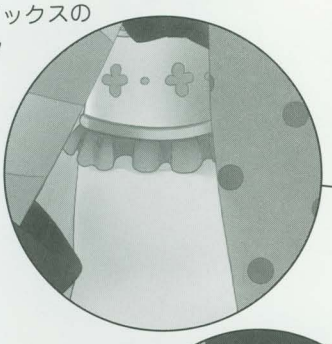
Title イチゴ

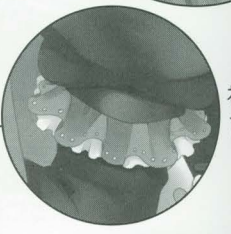
Illustrator 紺野賢護

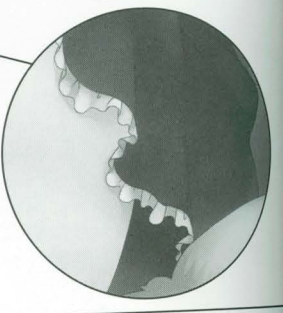


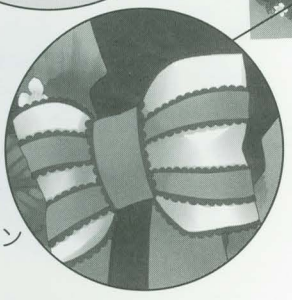

首元のレース


つけ耳の花とレース


ニーソックスのフリル


袖口のフリル


スカートの裾のフリル


靴のリボン

イラストのポイントは？

童話に出てくるようなけもみみロリっこにしてみました。服装も通常のロリータ服より童話調にデザインしました。

ロリータを描く上で気をつけていることは？

線画…ふりふりくるくるになるよう、直線的にならないよう気をつけます。

塗り…今回背景は自然物で緑色なのでキャラは際立つよう赤系でまとめました。イチゴカラーです。

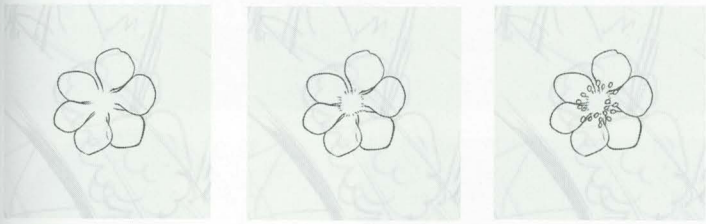
4つのテーマのうち、一番描きやすい（好き）なのはどれですか？　また理由は？

もっとも描きやすいのはリボンです（構造さえわかっていれば単調な形なので）が、画面が華やかになるのでレースと花もなるべく描こうと心がけています。



絵師のワンポイント講座

イチゴの花を描く

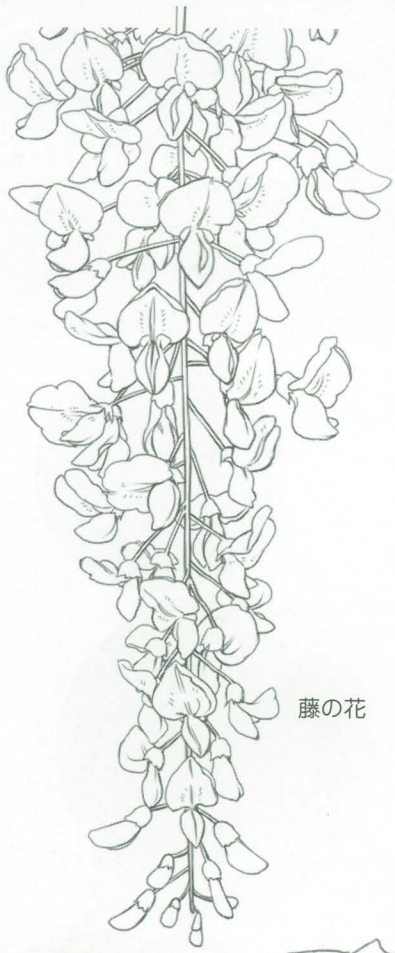


離弁花類（花びらがくっついてない種類の花）を描く手順です。
①まず花びらを描きます。基本イチゴの花びらは５枚ですが、たまに６枚の花びらだったりもするので、見栄えを重視して６枚にしてみました。
②中央の部分を描き込む。リアルに描かなくても形や質感などをシルエットとして捉えれば良いと思います。
③必要に応じておしべを描く。カラーであれば線画で描き込まずとも、点々をオレンジ色で描いたほうが楽かもしれません。



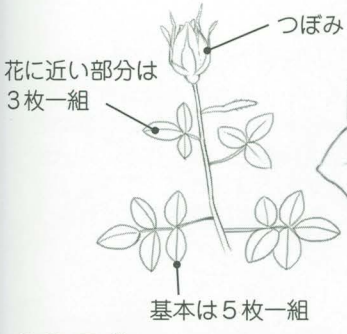
花を描くときはまず特徴を頭に入れておくと描くときに悩まなくてすみます。
花の後ろのガクはイチゴのヘタを考えながら。
葉っぱは「３枚一組」で、大きいの１枚＋横に少し小さめ２枚。
葉脈の流れはその植物により違いが結構あるので、意識して描くと良いと思われます。

ちなみにイチゴは「バラ科」の植物なので、一重の花びらのバラなんかも同じ感じで描けます。バラの葉っぱもイチゴと形は似ていますが、イチゴと違う規則性を持っています。基本は「５枚一組」で、花に近い部分の葉っぱは「３枚一組」になります。
他にバラ科の植物→桜、梅、桃、リンゴなど。



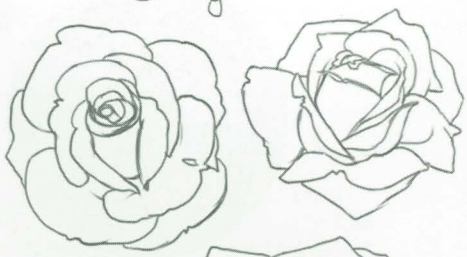
藤の花

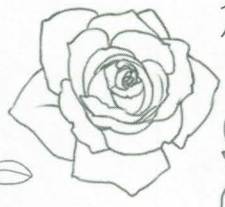
バラ

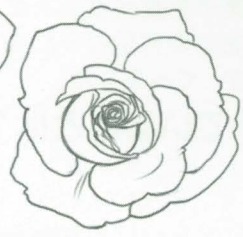




先のとがった花びらがめくれています。
バラ独特の形状（剣弁咲き）

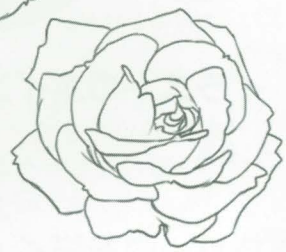












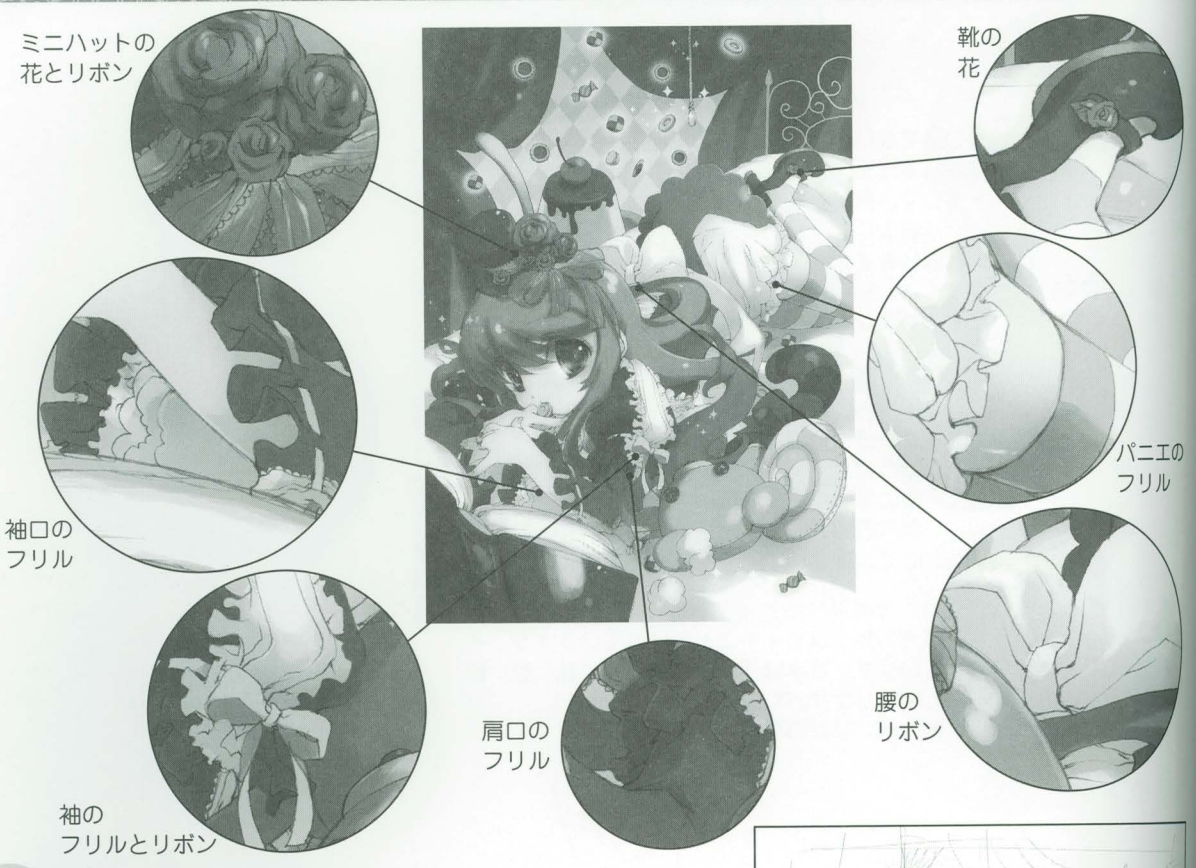
花中央部のこの曲線が描けると、とてもバラらしくなる。

ひとこと

フリルやレースが沢山詰まった洋服のデザインは本当にかわいらしいですね！
今回は特にお花について少々語らせて頂きましたが、「花を描くのは苦手」とお考えの方結構いらっしゃるようにお見受けします。花は自然界で完成されたデザインなので是非画面に華やぎを与える一助として描いて下さい！花びらの枚数はフィボナッチ数と黄金角（137.5 度）を意識すると綺麗に描けますよ～。秩序正しく美しい数列はデザインとして学ぶことが本当に多いですね……。それでは皆様もエンジョイお絵かきです！

Title 秘密のお部屋

Illustrator さがのあおい



イラストのポイントは？

靴をはいたまま、ベッドの上でお菓子を食べる！　なんて、怒られちゃうようなコトも、秘密のお部屋だったら？といった、女の子の憧れの世界を描いてみました。

ロリータを描く上で気をつけていることは？

線画…フリルがフワッフワになるように、勢いとリズムをつけて楽しく描いています。しぐさや表情も、少しだけ色っぽくなるように気をつけました……が、できているかどうかは不明で……！（汗）

塗り…精一杯、かわいく＆美味しそうに見えるように、配色してみました。

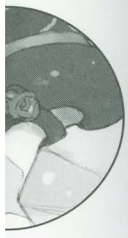
4つのテーマのうち、一番描きやすい（好き）なのはどれですか？　また理由は？

「フリル」です。いつもは線を迷い過ぎて描くのが遅いのですが、そこだけは勢いに乗って「えいっ！」と、描けるので（笑）。



ラフ

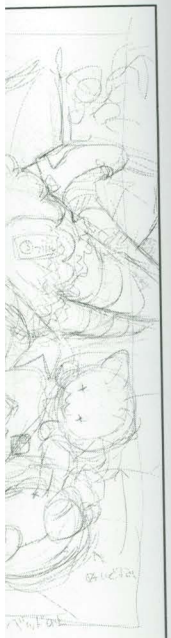
あおい





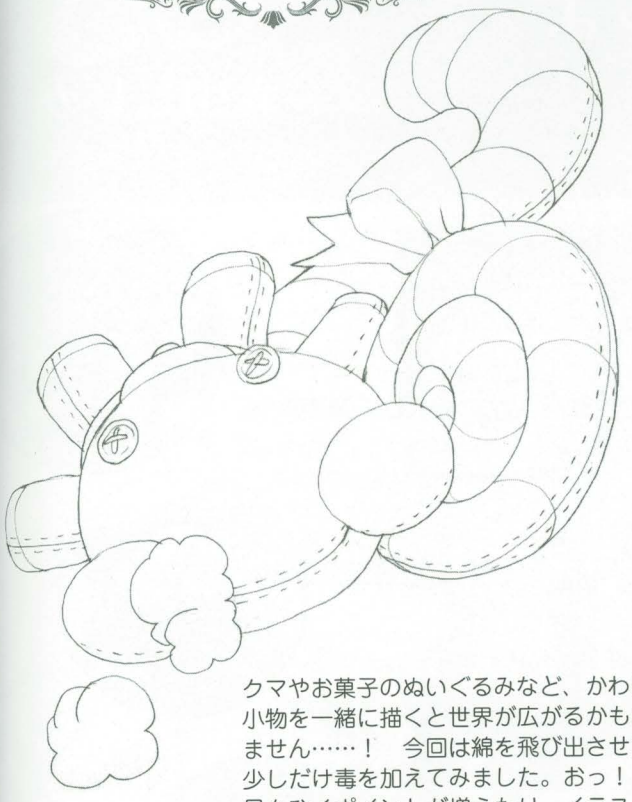
パニエの
フリル





ラフ

絵師のワンポイント講座

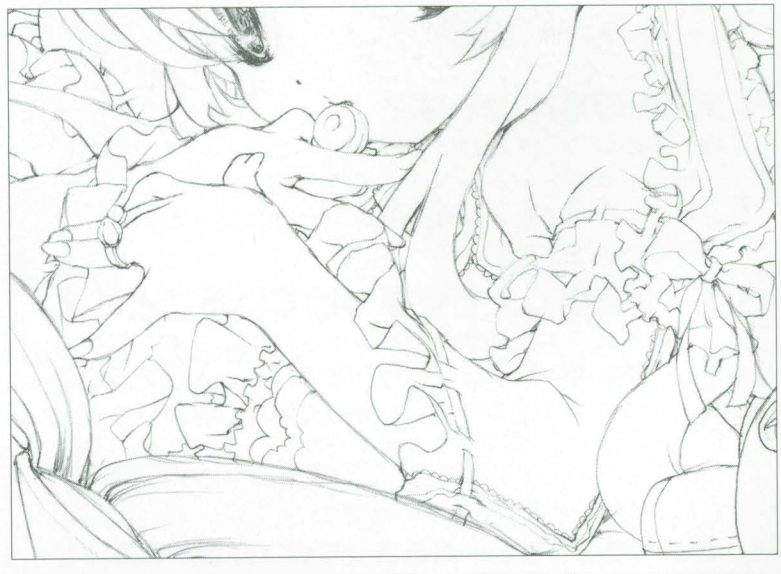


クマやお菓子のぬいぐるみなど、かわいい小物を一緒に描くと世界が広がるかもしれません……！　今回は綿を飛び出させて、少しだけ毒を加えてみました。おっ！　と、目をひくポイントが増えたり、イラストのニュアンスを伝える一部になったりします。



自由に世界を描けるイラストだからこそ、普段はできないことにチャレンジ！（笑）。かわいくかわいく……と念じながら描くと、思いが線にも伝わって下品にはならないと思います！

手や指先の表情まで、かわいく見えるように丁寧に描きます……！　とても個人的な感想なのですが、手を描くのが上手い人は、本当に絵が上手い人だと思います。なので、少しでも上手くなれるように頑張って練習中です……！

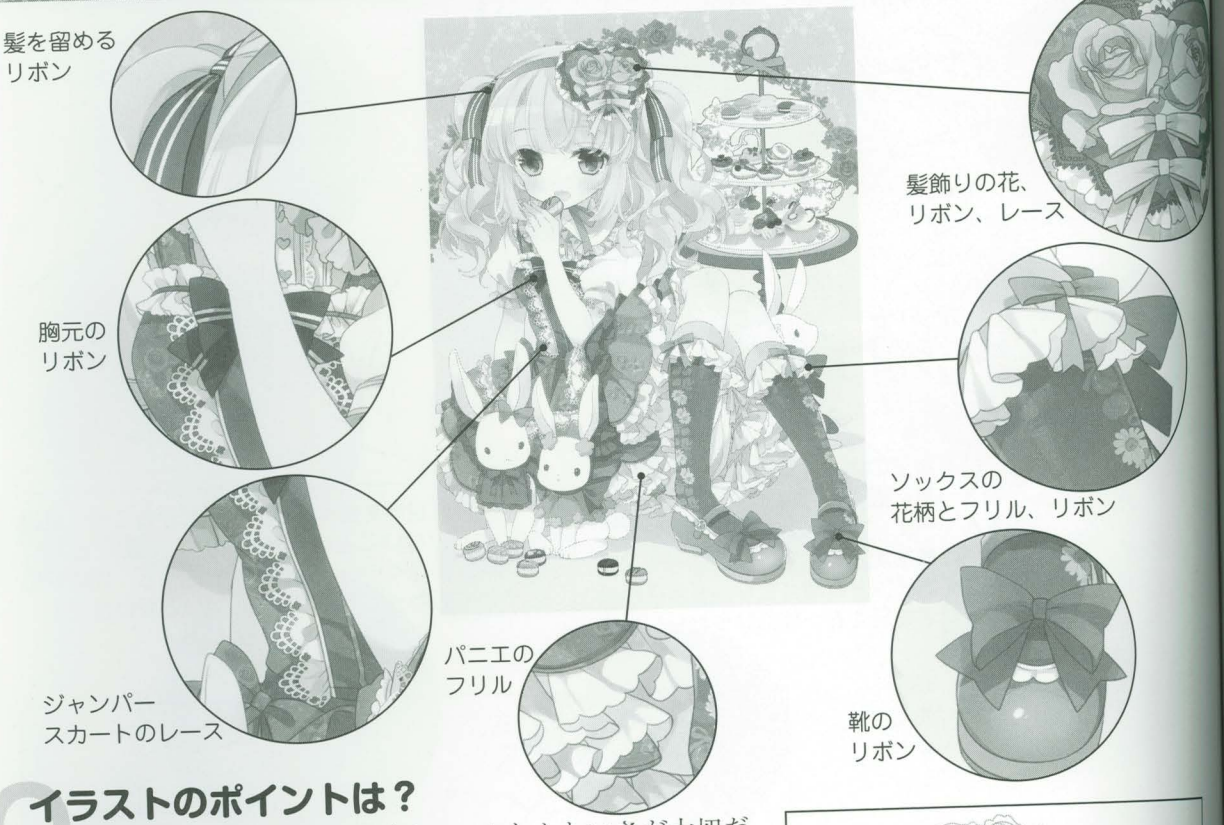


ひとこと

お題の４つのテーマが、どれもかわいくて、どのように織り込もうかな……と考えている間から、もうずっと楽しかったです。大好きなお菓子も織り込んでしまいました（笑）。ロリータファションは夢がたくさん詰まっていて、描くのも拝見するのも、ほんわかして大好きです。原稿が遅くなりまして、編集さんにはご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした（涙）

Title
うさぎさんといっしょ

Illustrator 森山しじみ



イラストのポイントは？

女の子のロリータ服は、ボリュームとかわいさが大切だと思ってフリル・レースをたくさん描いてみました。あとロリータの子とうさぎの組み合わせは好きなので、うさぎも描きました。

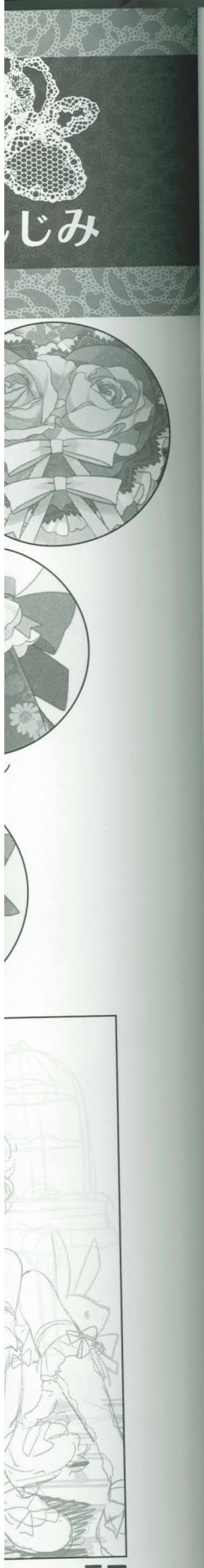
ロリータを描く上で気をつけていることは？

服のボリュームと全体のシルエットには、とても気をつかって描いています。ふんわりとボリュームがある洋服が多いので、負けないくらい髪型と頭につけるヘッドドレス・リボンなどのアクセサリー類にはボリュームを持たせるようにしています。洋服とのイメージを一緒にすると一体感も出るので一石二鳥です（笑）。

4つのテーマのうち、一番描きやすい（好き）なのはどれですか？　また理由は？

フリルとレースです。もともとボリュームのある服や洋服のワンポイントで書くことが多かったのですが、スカートの内側のペチコート部分のフリルを描くのが本当に好きです。塗るのはその分大変なのですが、塗り上がると見応えがあるので、描き甲斐はとってもあります。





ラフ

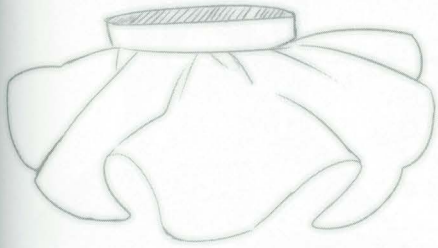
絵師のワンポイント講座

アイデアラフ

イメージはできていたのでさくさくと描けました。スカートの中のペチコートやドロワーズを見せたかったので、その部分が見えるポーズをとらせています。あとはうさぎと小物がポイントです。

フリルの描き方

簡単にボリュームのあるフリルの描き方です。

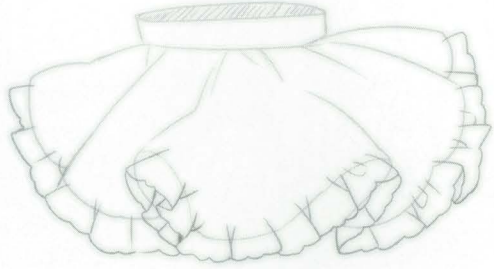


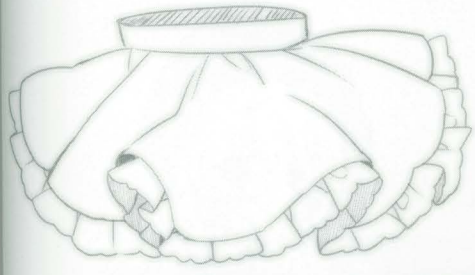
①ベース

基本となるスカートです。できるだけ空気を含ませた、ふわふわとした感じに描きます。このときに裏地が見える部分を描いておくと、のちのちにフリルが描きやすいです。

②実際にフリルを描いていきます。

①で裏地が見えていた部分は重なった感じに描くと服の空気感が出しやすいです。スカートとは別のレイヤーでごりごりもりもり描いていきます。スカートのレイヤーは不透明度を下げておくと作業しやすいです。

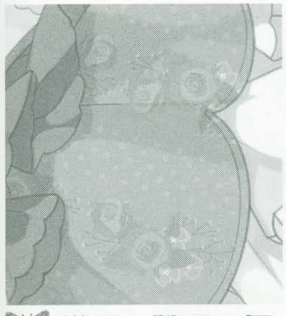




③仕上げ

余分な部分を消していきます。消すと完成です。今回は１段フリルですが、２段３段と重ねていくとボリュームが出てロリータ服がフリルっぽくなります。







洋服・靴下の柄

ロリータ服といえばやっぱりかわいい柄だと思います。今回は洋服に薔薇の柄・靴下にさくらんぼ柄を使っています。実際に描くのが難しい複雑な柄は、市販の素材集で気に入ったものを使っています。

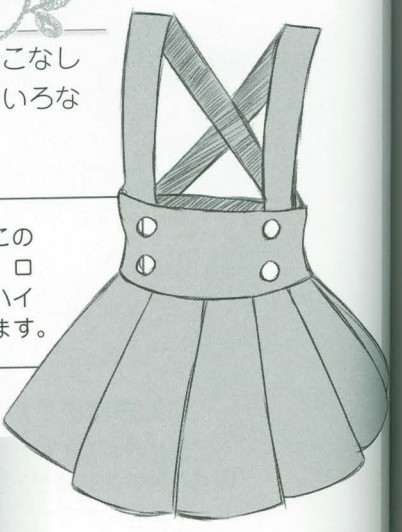
ひとこと

今回は萌えロリータ！　ということで女の子を目一杯かわいくなるようなものを色々と詰め込んでみました。ロリータ服は普段あまり衣装を参考にしたりしないのですが、いい機会かなと思い実際のお洋服を色々と調べて描かせていただきました。とっても楽しかったです。お洋服のサイトを見てると本当にかわいくて幸せな気分になりました……。フリルやレースを描くのが楽しくて、下描きではついついいっぱい描いてしまうのですが、いざ線画に起こして塗るとなるといつも大変で、唸りながら作業をしています。今回も盛大に唸りながらの作業でした（笑）。全体的にかわいい感じに仕上がったかな……と思うので、見て頂いた方にも気に入って頂けると嬉しいです。

コラム

同じアイテムで着まわしコーディネート

同じ洋服でも、他の洋服との合わせ方や着こなし方によって違う印象を与えられます。いろいろな組み合わせを探してみましょう。



今回着まわすのは、このジャンパースカート。ロリータタイプなのでハイウエストになっています。



ゴスロリスタイル

この本の定番であるゴスロリスタイル。ブラウスと合わせて胸元にリボンをつけるとシンプルなデザインのスカートでもシックな印象を与えます。



ガーリーカジュアル

カットソーの上にジャンパースカートをはいて、その上に大きめのふわふわニットのセーターを着ます。ロリータ度は低いですが、甘い女の子らしい印象です。



パンクロリータ

半袖の黒いカットソーの上にはいて、チョーカーやブレスレットなど大きめのアクセサリーをつけます。髪型もツインテールにして活発な印象です。

カバーイラストラフ



カバー採用イラストラフ
甘ロリ系。リボン、フリル、ヘッドドレスなどロリータファッションの要素が散りばめられています。しましまのニーソが特徴的です。



裏カバー採用イラストラフ
姫カットの髪と大きなリボンが特徴的。ロリータファッションによく合う傘をファッションアイテムとして持っています。

扉イラストラフ







甘ロリとゴスロリを対比させて扱っています。
一番右の採用されたラフは、白と黒を象徴するモチーフとして背景がチェス盤になっています。

採用！

あとがき

私が考えるロリータファッションの最大の魅力は、「女性としてのきれいさ、しなやかさ」と「少女としてのかわいらしさ、あどけなさ」が共存するところにあると思っています。

成長したボディラインからにじむセクシーさ、つまり、ふくらんだ胸やお尻、ウエストのくびれ、すらっと長くなった足などの女性らしさを持った女の子が、フリルがもりだくさん、リボンも大小さまざまなものがついた、まるでお人形さんのような服を着る。この一見アンバランスに感じるふたつの特徴が合わさることで、逆に新しい魅力をつくり出します。

特にロリータファッション独特の「甘さ」は、女の子のかわいらしさをぐんと引き立てるものになっています。

「はじめに」でも述べましたが、ロリータファッションは、本書の第2章「ロリータファッション着用次第」で示したような完全版から、第3章で紹介した「通常の服をロリータファッションに変化させよう」のように、少しだけロリータ風味を加えるものまで、いろいろな服に活用することができます。こうしなければいけない、という決まりはありません。

どうぞあなただけの、独自のロリータファッションをつくってみてください。

(萌) 表現探求サークル



絵の世界なら何でもあり！

愛らしいロリータファッションは、調べれば調べるほど「着用が大変な」お洋服であることがわかってきました。

でも、絵の世界なら大丈夫。キャラクターはたくさんの重ね着やフリルの山を軽快に着こなしてくれます。現実には取りつけ不可能なほどの大きなリボンやレースの束に埋もれていても、もっとゴージャスに着飾らせたくなってきます。

一重咲きだった原種のバラに、もっと多くの花びらの数やフリルを求めて品種改良を繰り返してきたように、美しいコスチュームとそれが似合う魅力的なキャラクター表現への探求は果てしなく続いていきます。



角丸つぶら

イラストレーターの紹介



曲本（まがもと）

Q7
http://toinana.sakura.ne.jp/

フリルやリボンいっぱいの女の子を描くのはとても楽しいですが、すごく集中力がいるのでとても大変でした。特にゴスロリは少女性の集大成みたいな「かわいい」の玉手箱なので、とにかくかわいいを意識して描いていました。読んでくださった方も「かわいい！」と思えるものを一緒に描きたくなってくれたら嬉しいです。
今回もたくさん勉強になりました、ありがとうございました！



天神うめまる（てんじん）

purichike
http://purichike.sakura.ne.jp/

こんにちは、天神うめまるです。ゴスロリ万歳！　フリル万歳！　フリルを描くときは、頭を無にしてだたひたすら布の流れを追いかけるのが気持ちいいです。



たはるコウスケ

Kartina Lab
http://wace.blog50.fc2.com/



世鳥アスカ（せとり）

唄の足跡
http://aska.holy.jp/

こんなにたくさんレースを描いたのは初めてでしたが、とても楽しかったです♪



hiroe

pokanica
http://pokanika.web.fc2.com/



宮月もそこ（みやつき）

CUTIE
http://takarai.jp/

フリルが大好きなこともあり描いていて楽しかったです！　新しい発見もあったので、これからもたくさん描いていこうと思います。



こはら深尋（みひろ）

Panoramica
http://koham.sakura.ne.jp/

かわいいアイテムでゴスロリの組み合わせは無限に広がると思います。ぜひお気に入りの組み合わせを見つけて、描いてみてください！



玉之けだま（たまの）

毛玉牛乳
http://cult.jp/keda/



紺野賢護（こんのけんご）

うにぐる
http://unitya.nobody.jp/



しろま

4696
http://460.boo.jp/
フリルを描くのが好きなので楽しく描かせていただきました！ありがとうございました！



平坂イネ（ひらさか）

:D9m
http://d9m.blog.fc2.com/



森山しじみ（もりやま）

sijimin
http://sijimin.com/



しまこ

ロリータは見るのも描くのも好きです。フリルたっぷりのロリータ……素敵です！　ありがとうございました。



ふじ

フリルやレースは細かくて描くのが大変ですが、女の子と合わせて描き終えたあとの達成感がたまらなく好きです！



さがのあおい

AQUA-BRAND
http://a-sagano.sakura.ne.jp/



いずみゆひな

Public bath
http://publicbath.sub.jp/
かわいいおなごは最高ですよね……！（*ノωノ）



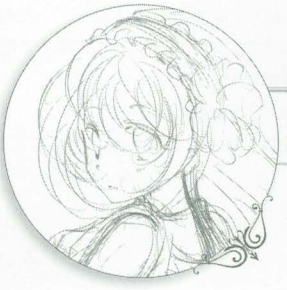
にもし

Molamola*
http://stellarsky.odaikansama.com/



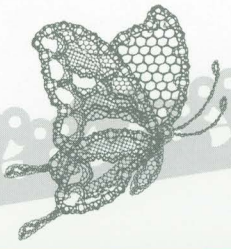
稀捺蒼樹（きなつそうじゅ）

CL-0-
http://kinakoex.web.fc2.com/
パッツン女子がたくさん描けて、とっても楽しかったです！ありがとうございました。



ときお

鏡茶屋
http://kagami-chaya.sakura.ne.jp/
スカートのフリルがなびいて、見えそうで見えない感じがすごく萌えます！



■著者

(萌)表現探求サークル

男性向け、女性向け問わずマンガやアニメ、ゲームなどが大好きな人たちの集まり。日々、萌えイラストをうまく描けるようになるための表現技法を模索中。本書においては、三次元の服の構造などを取り入れて、より魅力的な二次元のイラストを描けるようになることを目標として制作した。

角丸つぶら

物心ついてからずっとスケッチやデッサンに親しみ、中学と高校では美術部部長を務める。実質はマンガ研究会兼ガンダム懇談会と化していた美術部と部員を守護し、現在活躍中のゲームやアニメ関係のクリエーターを育成。自身は東京芸術大学美術学部で映像表現や現代美術全盛の中、油絵を学ぶ。

■スタッフ

●カバー＆本文デザイン
甲斐麻里恵

●編集
沖元友佳

●企画協力
久松緑
谷村康弘 ［ホビージャパン］

萌えロリータファッションの描き方
基本となるボディからコスチュームまで

2012年12月25日　初版発行

著　者　(萌)表現探求サークル／角丸つぶら

発行人　松下大介
発行所　株式会社ホビージャパン
〒151-0053　東京都渋谷区代々木2-15-8
電話　03-5304-7601（編集）
電話　03-5304-9112（営業）

印刷所　凸版印刷株式会社

乱丁・落丁（本のページの順序の間違いや抜け落ち）は購入された店舗名を明記して当社パブリッシングサービス課までお送りください。送料は当社負担でお取り替えいたします。但し、古書店で購入したものについてはお取り替え出来ません。
代行業者などの第三者に依頼して本書をスキャンすることは、たとえ個人や家庭内の利用であっても、著作権法上、認められておりません。
禁無断転載・複製
©Moe Hyogen Tankyu Circle , Tsubura Kadomaru / HOBBY JAPAN
Printed in Japan

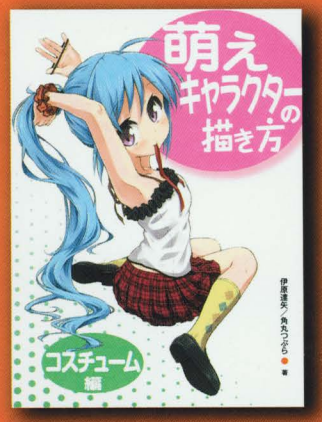
ISBN 978-4-7986-0521-0 C2371

［萌えキャラクターの描き方］

好 評 既 刊



萌えキャラクターの描き方
顔・からだ編
定価:1,905円（税別）



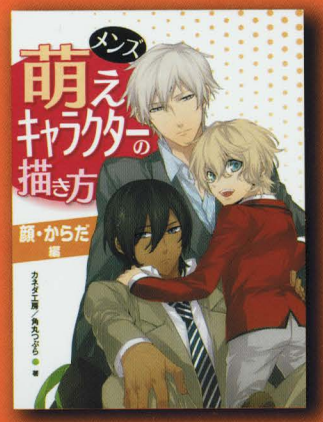
萌えキャラクターの描き方
コスチューム編
定価:1,905円（税別）



萌えキャラクターの描き方
しぐさ・感情表現編
定価:1,905円（税別）

［メンズ萌えキャラクターの描き方］

好 評 既 刊



メンズ萌えキャラクターの描き方
顔・からだ編
定価:1,905円（税別）